

仙台市博物館年報

第42号

平成26年度

目 次

こあいさつ

1. 展示	2
常設展示／国指定文化財の公開／特別展・企画展	
2. 資料の収集保管	45
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／収蔵資料一覧／当館収蔵指定文化財一覧	
3. 教育・普及	50
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携／広報／刊行物・グッズ等	
4. 調査・研究	66
5. 市史編さん事業	70
6. 国連防災世界会議における博物館の対応	75
7. 博物館施設改修工事について	75
8. 文化庁補助事業について	76
9. ボランティア	76
10. 友の会	79
11. 組織・予算・運営	80
仙台市博物館組織・事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会／ 仙台市史編さん委員会	
12. 利用状況	84
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況	
13. 条例・規則・要綱等	87
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／ 仙台市史編さん委員会設置要綱／ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
14. 仙台市博物館のあゆみ	94

ごあいさつ

平成26年度の仙台市博物館は、前年度に引き続き東日本大震災の復興を応援する企画が続きました。特別展として「東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年 法隆寺―祈りとかたち」を引き続き開催し、東日本大震災復興支援特別展「サントリー美術館 おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」、東日本大震災復興祈念特別展「奈良・国宝 室生寺の仏たち」、そして秋には特別展「樹木礼賛―日本絵画に描かれた木と花の美―」の計4回の特別展を開催いたしました。「おもしろびじゅつ」展ではデジタル機器を駆使し、「室生寺の仏たち」展では芸人によるトークショーを行うなど、それぞれの展覧会で新しい試みを行い好評でした。常設展では年4回の大規模な展示替えを行い、特集展示室では「伊達政宗の手紙」や「屏風絵特集」など、当館収蔵資料の特色を生かした展示を試みました。12月から翌年3月までは空調設備改修工事等のためやむを得ず休館いたしましたが、東北電力グリーンプラザで複製資料による展示を行いました。

また3月14日から18日まで行われた国連防災世界会議にちなみ、当館では「DAIMYO―仙台藩と伊達家の名品」を開催しました。ボランティア三の丸会の皆様にお手伝いいただき、国内外の会議参加者の方々に、仙台の歴史と美術をより具体的に知っていただけたのではないかと思います。

市史編さん事業は今年度が『仙台市史』の最後の刊行年となり、無事に『年表・索引』を刊行することができました。足かけ26年におよぶ大きな事業が完結したことは、実に感慨深いものがありますが、これもひとえに多くの皆様のご協力の賜物です。また震災後の被災資料救出の取り組み等も引き続き行いました。

教育普及事業につきましては、学校向けのプログラムを館内外で実施するとともに、PTA行事や各教育研究会への協力など、多方面にわたる学びの機会の充実に努めました。大学向けのキャンパスメンバーズ制度も充実し、大学の授業における博物館利用も少しずつ増えているところです。

『仙台市史』は平成26年度で刊行を終了いたしました。27年度以降は組織編成を見直し、市史編さん事業にともない収集した資料や蓄積された情報を生かし、さらに積極的に博物館活動を展開していく所存です。皆様のなお一層のご指導とご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 遠藤 俊行

1. 展 示

常設展示

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」が展示されたが、それ以外の期間には、大画面をもち、他の展示室では展示の制約を受ける屏風絵の展示や、新収蔵資料を含む伊達政宗書状の特集展示を行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、ユネスコ記憶遺産や国宝の「慶長遣欧使節関係資料」などを展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を集めて展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 平成26年度の常設展示

現在、9万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、季節ごとに年4回の展示替えを実施している。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。

また、特別展等の内容と連動して、常設展示を構成する場合もある。例えば「むかしの仙台」の「神仏への祈り」のコーナーにおいて、特別展「法隆寺」に合わせて、もと法隆寺伝来の百万塔（館蔵品）を展示し、「藩」の「仙台藩のようす」のコーナーでは、国連防災世界会議に合わせて、仙台藩の災害に関わる資料を展示し、さらに「近代都市へのあゆみ」の「近代都市仙台」のコーナーでは、特別展「樹木礼賛」に合わせて、仙台が杜の都と呼ばれるようになる過程に関わる資料を展示した。こうした連動型の展示は、館全体の展示に一体性をもたせるとともに、館蔵資料へのより深い理解を促す機会となっている。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録（抄録）」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、これまで当館では以下のような取り組みを進めてきた。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英文パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

特に今年度については、国連防災世界会議開催記念特別展示「DAIMYO」のキャプションや館内の案内表示において、一層の英文表記の充実を図った（詳細は75頁参照）。

(4) 今後の課題等

平成22年に常設展示室をリニューアルしてから5年が経過したことを踏まえ、展示内容や展示手法について振り返り、さらに充実を図っていく必要がある。

表1 平成26年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	旬の常設展2014春「春を楽しむ」ほか (2/11-5/25)	旬の常設展2014夏「片倉家特集」ほか (5/27-8/31)	旬の常設展2014秋「伊達家慶芥集と奥羽の戦国大名」ほか (9/2-11/30)	休館 (12/1-3/27)	国連防災世界会議特別展示 D A I M Y O - 仙台藩と伊達家の名品 (3/14-18、3/28-4/12)	
総合展示室	1 むかしの仙台	1 仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺跡の土器・石器	休館 (12/1-3/27)	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	
		2 縄文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と蔵子町下別当遺跡の土器ほか	上野遺跡の皮袋型土器と蔵子町下別当遺跡の土器ほか	高柳遺跡の土器と伊古田遺跡のジャンボ土偶ほか		上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか (鍛冶沢遺跡出土土器)	
		3 稲作の始まりと有力者の出現	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳) 仙台市内古墳出土資料ほか	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか		(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	
		4 中央政権の進出	茂ヶ崎横穴墓跡の玉類・与兵衛沼澤跡の棟平瓦ほか	茂ヶ崎横穴墓跡の玉類・与兵衛沼澤跡の棟平瓦ほか	郡山遺跡の関東系土器・陸奥国分寺跡の出土資料ほか		郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦 (貞観地震関係)ほか	
		5 陸奥国分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型		陸奥国分寺模型	
		6 武上の台頭	中世館跡の出土資料ほか	中世館跡の出土資料ほか	中世館跡の出土資料ほか		洞ノ口遺跡の出土資料	
		7 神仏への祈り	特別展示 奈良時代の百方塔と十八夜観世音堂の菩薩立像	陸奥国分寺の仏像	信仰の中の金工資料 11/10-11/30 中尊寺の美術		陸奥国分寺の仏像	
	2 伊達政宗、仙台へ	8 伊達氏の登場	政宗と秀吉	奥羽の戦国大名 9/2-11/30重文 慶集集 10/21-11/30重文 秀吉具足		伊達氏、仙台への道		
		9 仙台藩主、伊達政宗	2/11-4/20伊達政宗画像 (複製) 4/22-5/25重文政宗具足	5/27-11/30政宗具足 (複製)		伊達政宗画像		
	3 城	10 仙台城のすがた	遺品に見る仙台城	遺品に見る仙台城	城を建てる、城をなおす	遺品に見る仙台城		
		11 藩主と大人たち	忠宗をめぐる人々	藩主の文芸	仙台藩の奥方			
		12 武家のくらし	2/11-4/6 離調度 4/8- 武家の服飾	婚礼調度 (乗物と貝桶)	武家の服飾	武家の調度と衣装		
	4 藩	13 仙台藩のようす	仙台藩の軍と行列	仙台藩の領域 -9/21	9/23-11/30武器武具	仙台藩と災害		
		14 仙台藩の家臣たち	寛文事件	片倉家特集	仙台藩の狩り / 災害を生きた人々	寛文事件		
	5 町	15 城下町仙台	城下の中心地 芭蕉の辻	仙台北下の寺社	仙台北下の町方 肴町	城下の中心地 芭蕉の辻		
		16 町のくらし	春を楽しむ	夏の行事	東照宮祭礼	春を楽しむ		
		17 教育と文化	仙台藩の学問と思想家 (養賢堂 / 林子平)	仙台藩の学問と思想家 (大文字 / 林子平)	仙台藩の文化人と思想家 (乙二・日人他 / 林子平)	仙台藩の学問と思想家 (養賢堂 / 林子平)		
		18 新たな時代へ	土蔵左大夫の生涯	5/20- 仙台藩と軍備拡充	幕末人物伝 大槻習齋	仙台藩と外国		
	6 近代都市へのあゆみ	19 戊辰戦争と明治維新	仙台藩と戊辰戦争11	5/20- 仙台藩と戊辰戦争12	幕末明治を生きた人々	戊辰戦争の風刺画		
		20 近代都市仙台	教育・戦争と地域社会 (西南戦争 / 自由民権運動)	教育・戦争と地域社会 (教科書 / 軍都仙台)	「社の都」のルーツを探る	「芸指導所」被災地の文化財を守る		
特集展示室	東側ケース	国宝慶長遣欧使節関係資料 2/18-4/20	4/22-6/15 伊達政宗の手紙 (新収蔵資料)	6/17-9/7 国宝慶長遣欧使節関係資料	9/9-9/21 屏風絵1	特別展 「樹木礼賛」 (9/26-11/9)	11/12-11/30 屏風絵	大名の美意識 (女乗物など)
	西側ケース	仙台藩の武器・武具2/18-4/20 4代鉄騎4/22-7/21 宝荒神7/23-8/17 仙姫8/19-9/22	(展示替え日程 5/26、7/22、10/6)					
コレクションI	北側ケース (陶磁器)	切込焼	新井田コレクション (乾也) -9/25		閉室 (9/26-11/10)	11/11-11/30 食のうつわ 芝居と東北の古人形 茶杓茶筒 茶道具	館蔵のやきもの (切込焼など)	
	中央ケース	埋木細工	新井田コレクション (乾也) -9/25				館蔵のやきもの (乾山など)	
	奥室	山形の古人形と堤人形	三春人形と堤人形 -9/25				東北の古人形	
	西側ケース	埋木細工	新井田コレクション (乾也) -9/25				茶杓茶筒	
	南側ケース	茶道具	新井田コレクション (乾也) -9/25				茶道具	
浮世絵	2/18-6/8幕末・明治の錦絵58	6/10-9/7 幕末・明治の錦絵59	9/9-11/30 幕末・明治の錦絵60		幕末・明治の錦絵61	幕末・明治の錦絵61		
企画展示			特別展「おもしろびじゅつワンダーランド」 (4/26-6/1)	閉室 (6/2-9/25)	特別展 「樹木礼賛」 (9/26-11/9)	閉室 (11/10-11/30)	(図説使用)	
テーマI	仙台藩の武器・武具 前室						仙台藩の武器・武具	
	仙台藩の武器・武具 奥室							
テーマII	慶長遣欧使節 前室	特別展「法隆寺」 (3/1-4/13)	4/22-6/15国宝慶長遣欧使節関係資料など (ローマ市公民権証書 4/22-5/25)	閉室 (6/16-9/8)	9/9-11/30国宝慶長遣欧使節関係資料など (ローマ市公民権証書 10/21-11/30)		国宝慶長遣欧使節関係資料 (ローマ市公民権証書ほか)、坤輿万国全図など	
	慶長遣欧使節 奥室			閉室 (6/16-11/30)				
コレクションII			4/22-5/25 小曲曲江の絵画 5/27-6/22 菊田伊洲の絵画	閉室 (6/23-9/25)	特別展 「樹木礼賛」 (9/26-11/9)	閉室 (11/10-11/30)	9/14-18 仙台四大家	
プレイミュージアム		2/4-3/2 折りびなで桃の節句 3/1-4/13 特別展開連イベント「それぞれのミニ仏さま」	4/26-6/1 特別展開連イベント「おもしろゾートロープづくり」 6/7 変身タイム①	7/4-8/24 白描画に挑戦 7/8-8/3 短冊に願いを…	9/20 変身タイム② 9/26-11/9 特別展開連イベント「木のぬくもりを感じよう」		3/14-18 紋切り型で伊達家の家紋をつくらう	

常設展示展示資料目録（抄録）

1. コレクション名については一部略記した。
2. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料＝館蔵 伊達家寄贈文化財＝伊文
 仙台市教育委員会＝仙台市教委 世紀＝C
 コレクション＝C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2014.2/11～11/30

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
6. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. 両面加工石器（楕円形状） 野川遺跡 縄文草創期 1点
仙台市教委
8. 籠状石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
9. 籠状石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
10. 多縄文系土器片（絡糸体圧痕文・口縁部） 野川遺跡
縄文草創期 一括 仙台市教委
11. 多縄文系土器片（縄文圧痕文・口縁部） 野川遺跡
縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人のくらし

2014.2/11～11/30

1. 縄文土器深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
6. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
7. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委

8. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
9. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
10. 把手状裝飾付深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
11. 石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
12. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
13. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 石鏃 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
15. 鹿角製釣り針 大野田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 鹿角製銚 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
17. 鹿角製銚 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
18. 土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
19. 軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
20. 磨製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
21. 打製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
22. 足付石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
23. 凹み石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
24. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
25. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
26. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
27. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
28. ハート形土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
29. 土偶片 大野田遺跡 縄文後期前葉 12点 仙台市教委
30. 鍛冶沢遺跡出土土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
31. イノシシ形土製品 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
32. 鳥頭形突起付土器片 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委

稲作の始まりと有力者の出現

2014.2/11～11/30

1. 弥生土器壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
2. 弥生土器高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
3. 弥生土器甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
4. 竪杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 竪杵未製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
6. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
7. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
9. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
10. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
11. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
12. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
13. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
14. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委

15. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
16. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
17. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
18. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
19. ミニチュア土器 遠見塚古墳 古墳前期 5点 仙台市教委
20. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
21. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委
22. 人物埴輪 原遺跡 5C後半 1点 仙台市教委
23. 円筒埴輪 大野田1号墳 5C後半 1点 仙台市教委
24. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
25. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡(26次) 5C後半 1点 仙台市教委

中央政権の進出

2014.2/11～11/30

1. 材木列塀のクリ材 郡山遺跡 7C末～8C前半 2点 仙台市教委
2. 土師器坏(在地) 郡山遺跡 8C初頭 1点 仙台市教委
3. 土師器坏(畿内産) 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点 仙台市教委
4. 土師器坏(関東系) 郡山遺跡 7C中葉 1点 仙台市教委
5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点 仙台市教委
6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点 仙台市教委
7. 関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点 仙台市教委
8. 関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点 仙台市教委
9. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点 仙台市教委
10. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点 仙台市教委
11. 須恵器長頸瓶 茂ヶ崎横穴1号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
12. 須恵器大甕 茂ヶ崎横穴3号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
13. 須恵器平瓶 茂ヶ崎横穴20号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
14. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
15. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
16. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
17. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
18. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
19. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
20. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
21. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
22. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
23. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
24. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
25. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
26. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
27. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
28. 小玉(小) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 40点 仙台市教委
29. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
30. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
31. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
32. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
33. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
34. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
35. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
36. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
37. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点 仙台市教委
38. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
39. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
40. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
41. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
42. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
43. 宝相華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
44. 連珠文軒平瓦 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
45. 刻印瓦「物」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 仙台市教委

- | | | | |
|-----------------------------|---------|--------------------------|-------|
| 46. 刻印瓦「丸」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 | 仙台市教委 | 33. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 47. 刻印瓦「伊」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 | 仙台市教委 | 34. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 48. 刻印瓦「占」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 | 仙台市教委 | 35. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 49. 墨書土器「佛」 陸奥国分尼寺跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 36. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 50. 墨書土器「講院」 国分寺東遺跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 37. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 51. 水煙片 陸奥国分寺跡 奈良 1点 | 東北大学文学部 | 38. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 52. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 39. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 53. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 40. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 54. 鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 41. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 55. 鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 | 仙台市教委 | 42. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |

武士の台頭

2014.2/11～11/30

- | | | | |
|----------------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 常滑・大甕 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 50. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 2. 在地・小壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 51. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 3. 在地・片口鉢 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 52. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 4. 古瀬戸・合子 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 53. 呪符木筒 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 5. 古瀬戸・仏花瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 54. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 6. 瀬戸美濃・天目茶碗 洞ノ口遺跡 大窯Ⅲ期 1点 | 仙台市教委 | 55. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 7. 中国・青磁碗 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 56. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 8. 中国・青磁碗 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 57. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 9. 中国・青磁皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 58. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 10. 中国・青磁皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 59. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 11. 中国・青白磁合子 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 60. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 12. 中国・青白磁梅瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 61. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 13. 中国・青白磁梅瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 62. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 14. 中国・白磁・四耳壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 63. 銭種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 15. 中国・白磁・壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 64. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 16. 中国・白磁・小坏 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | 65. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 |
| 17. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 18. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 19. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 20. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 21. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 22. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 23. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 24. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 25. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 26. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 27. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 28. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 29. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 30. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 31. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |
| 32. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 | 仙台市教委 | | |

神仏への祈り

「奈良時代の百万塔と十八夜観世音堂の菩薩立像」

2014.2/11～5/25

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 百万塔 奈良 1基 | 伊澤家C |
| 2. 陀羅尼 奈良 1巻 | 伊澤家C |
| 3. 百万塔 奈良 1基 | 藤縄達夫氏寄贈 |
| 4. 陀羅尼 奈良 1巻 | 藤縄達夫氏寄贈 |
| 5. 菩薩立像 奈良 1軀 | 十八夜観世音堂保存会 |
- ※ No.2は2/11～2/28、No.3、4は3/1～5/25展示

「陸奥国分寺の仏像」 5/27～8/31

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 木造十二神将立像のうち丑神像 鎌倉 1体 | 陸奥国分寺 |
| 2. 木造十二神将立像のうち辰神像 鎌倉 1体 | 陸奥国分寺 |
| 3. 木造十二神将立像のうち巳神像 鎌倉 1体 | 陸奥国分寺 |
| 4. 木造十二神将立像のうち午神像 鎌倉 1体 | 陸奥国分寺 |

5. 木造十二神將立像のうち末神像 鎌倉 1体 陸奥国分寺

「信仰の中の金工資料」 9/23～11/9

- 1. 重要文化財 龍頭 平安 1頭 極楽寺
- 2. 重要文化財 銅鏡 羽黒山御手洗池出土 平安～鎌倉 5面 出羽三山神社
- 3. 重要文化財 銅鏡 鎌倉 2面 熊野那智神社

「中尊寺の美術」 11/11～11/30

- 1. 国宝 金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図 第八幀 平安 1幀 中尊寺大長寿院
- 2. 国宝 紺紙金銀字一切経 仏説雜藏経 平安 1巻 中尊寺大長寿院
- 3. 国宝 紺紙金字一切経 大般若経 卷第一二七・二四二 平安 2巻 中尊寺大長寿院
- 4. 国宝 漆塗経筥 平安 1口 中尊寺大長寿院
- 5. 国宝 礼盤 経蔵堂内具のうち 平安 1基 中尊寺大長寿院

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「政宗と秀吉」 2014.2/11～5/25

- 1. 木村宇右衛門覚書上 木村宇右衛門可親著 慶安5年頃 1冊 伊文
- 2. 伊達政宗書状 宛所不明 (天正18年)6月14日 1幅 伊文
- 3. 蒲生氏郷起請文 伊達左京大夫(政宗)宛 天正18年11月28日 1通 伊文
- 4. 豊臣秀吉朱印状 羽柴伊達侍従(政宗)宛 (天正19年)6月20日 1通 伊文
- 5. 岩出山要書図 江戸 1鋪 伊文
- 6. 貞山公治家記録巻18上(天正20年3月17日条) 元禄16年 1冊 伊文
- 7. 伊達政宗書状 おちこ宛(文禄2年)9月22日 1通 伊文
- 8. 石田三成書状 針(針生)民部太輔(盛信)宛 (文禄4年)7月25日 1幅 館蔵
- 9. 豊臣秀吉御説覚書(伊達政宗宛) 文禄4年8月24日 1通 伊文

「伊達政宗、仙台へ」 5/27～8/31

- 1. 蘆名止々斎(盛氏)書状 米沢(伊達輝宗)宛 (天正4年)9月13日 1通 伊文
- 2. 松井友閑書状 伊達左京大夫(輝宗)宛 (天正3年)10月25日 1通 伊文
- 3. 織田信長書状 遠藤内匠助(基信)宛 (天正3年)10月25日 1通 斎藤報恩会蔵
- 4. 伊達輝宗書状(小笠原)宗林斎宛 (天正7年)10月21日 1幅 館蔵

5. 柴田勝家書状 遠藤山城守(基信)宛

(天正9年)9月19日 1通 斎藤報恩会蔵

6. 祖先行軍之図 江戸 1幅 館蔵

7. 伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆 江戸初期 1幅 伊文

8. 北条氏照書状 伊達殿(政宗)宛 (天正17年)7月29日 1通 伊文

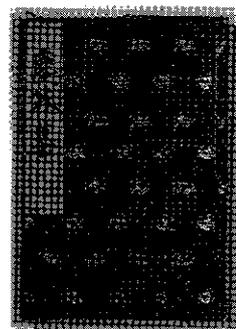
原田左馬助(宗時)宛 (天正17年)7月29日 1通 伊文

9. 徳川家康書状 伊達左京大夫(政宗)宛 (天正19年)正月12日 1通 伊文

10. 徳川家康書状 片倉小十郎(景綱)宛 (天正19年)正月12日 1幅 片倉家資料

「伊達家塵芥集と奥羽の戦国大名」 9/2～11/30

- 1. 重要文化財 塵芥集(村田本) 天文5年4月14日 1冊 伊文



1. 重要文化財 塵芥集

2. 棟役日記 天文4年3月吉日 1冊 伊文

3. 段銭帳 天文7年9月3日/天正14年9月17日写 1冊 伊文

4. 伊達種宗画像(伊達家歴代面真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文

5. 仙道絵図 江戸 1幅 伊文

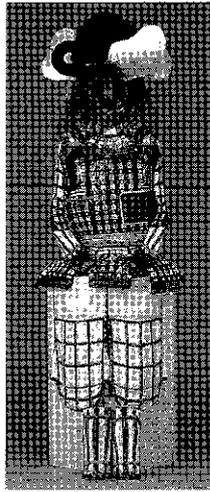
6. 伊達政宗書状 中島伊勢守(宗求)宛 (天正18年)4月21日 1幅 館蔵

7. 伊達政宗書状 浅弾口(浅野弾正少弼長吉)宛 (天正19年)2月9日 1巻 伊文

8. 豊臣秀吉朱印状 羽柴伊達侍従(政宗)宛 (天正19年)6月20日 1通 伊文

9. 重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領 桃山 1領 伊文

※ No.6、9は10/21～11/30、No.7、8は9/2～10/19展示



9. 重要文化財 銀伊予礼白糸威胴丸具足

仙台藩主、伊達政宗

2014.2/11 ~ 5/25

1. 伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵

5/27 ~ 8/31

1. 黒漆五枚胴具足（複製）（原資料）桃山 1領 館蔵

9/2 ~ 11/30

1. 黒漆五枚胴具足（複製）（原資料）桃山 1領 館蔵

3 城

仙台城のすがた

「遺品にみる仙台城」 2014.2/11 ~ 5/18

1. 和歌詠草「入そめて」 伊達政宗筆 江戸初期 1幅 伊文
2. 金銅菊唐草文八双金具 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
3. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明末~清初 5点 仙台市教委
4. 祥瑞蔓草紋変形皿片 仙台城本丸跡出土 明末 8点 仙台市教委
5. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
6. 繪図屏風 慶長15年 2曲1隻 藤縄達夫氏寄贈
7. 伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆 原本は江戸前期 1幅 館蔵
8. 青葉城御本丸之図 明治26年 1点 館蔵
9. 仙台城下図 文化11年以降 1鋪 館蔵
10. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
11. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈

12. 煙管 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
13. 懐中鏡 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
14. 文鎮 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
15. 慶長一分金 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈
16. 墨 16C末~17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
17. 墨 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
18. えんぴつ（複元品） 江戸初期 2点 館蔵
※ No.6は2/11 ~ 4/20、No.7は4/22 ~ 5/18展示

「遺品に見る仙台城」 5/20 ~ 8/31

1. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
2. 扇面図屏風 慶長15年 6曲1双のうち1隻 伊文
3. 金銅菊唐草文八双金具 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
4. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
5. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1点 館蔵
6. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明代末期~清代初期 5点 仙台市教委
7. 祥瑞蔓草紋変形皿片 仙台城本丸跡出土 明代末期 8点 仙台市教委
8. 青磁陰刻牡丹紋皿 仙台城本丸跡出土 17C前期 1点 仙台市教委
9. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
10. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
11. 煙管 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
12. 懐中鏡 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
13. 文鎮 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
14. 慶長一分金 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈
15. 墨 16C末~17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
16. 墨 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
17. えんぴつ（複元品） 江戸初期 2点 館蔵
18. 国分千代御城之事 江戸 1通 千田文彦氏蔵
19. 三体詩鈔 二之上 雪心素隠 寛永14年 13冊のうち1冊 館蔵
※ No.6は2/11 ~ 4/20、No.7は4/22 ~ 5/18展示

「城を建てる、城をなおす」 9/2 ~ 11/30

1. 伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆 原本は江戸前期 1幅 伊文
2. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点 仙台市教委
3. 五七桐紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
4. 三引両紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
5. 九曜紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
6. 貞山公治家記録 慶長5年11月13日条 1冊 伊文
7. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈

8. 煙管 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
 9. 懐中鏡 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 10. 文鎮 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 11. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 12. 慶長一分金 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈
 13. 墨 16C末～17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 14. 墨 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 15. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
 16. 江戸幕府老中奉書写 宝永4年9月27日 1通 伊文
 17. 仙台城普請奉窺候絵図 宝永4年9月7日 1鋪 伊澤家C
 18. 江戸幕府老中奉書写 元禄15年7月18日 1通 伊文
 19. 江戸幕府老中奉書 元禄15年7月18日 1通 館蔵
 20. 白石城普請窺候絵図 元禄15年7月2日 1通 館蔵
 21. 仙台藩江戸上屋敷絵図 18C 1鋪 千葉雪子氏寄贈
 22. 千田家勤功書 江戸中期 1綴 千田文彦氏寄贈
 23. 萩に鹿図屏風 伊達政宗詩歌書込み 寛永5年 4曲1双 館蔵

※No.16～22は9/2～10/5、No.23は10/7～11/30展示

藩主と夫人たち

「忠宗をめぐる人々」 2014.2/11～5/25

1. 伊達忠宗・天麟院(五郎八姫)和歌色紙 江戸前期 1幅 伊文
 2. 陽徳院書状(伊達光宗宛)(年未詳)16日 1幅 伊文
 3. 陽徳院画像 岡倉秋水模写蘭洲彝徳原図 明治26年模写 1幅 伊文
 4. 伊達忠宗書状 伊達綱宗宛(年未詳)8月5日 1幅 伊文
 5. 伊達政宗書状 伊達忠宗宛 寛永2年10月25日 1通 伊文
 6. 伊達政宗自筆書状 振姫宛(元和6年)9月9日 1通 伊文
 7. 伊達忠宗書 伊達綱宗宛(明暦4年)7月10日 1通 伊文

「藩主の文芸」 5/27～8/31

1. 藤原俊成・定家像 伊達吉村 江戸中期 1幅 伊文
 2. 和歌詠草 毎家有春 後柏原天皇 室町 1幅 伊文
 3. 長齡石硯図 伊達吉村 享保4年11月 1巻 館蔵
 4. 塩竈松島之記 伊達吉村 宝永元年10月26日 1巻 伊文
 5. 茶杓 伊達吉村(筒書「松しま竹 隣松軒」) 江戸 1口 伊文
 6. 茶杓 伊達吉村(筒書「広かひさき」) 享保7年4月7日 1口 伊文

「仙台藩の奥方」 9/2～11/30

1. 雲松院画像 忠岡三千子 江戸中期 1幅 伊文
 2. 江戸愛宕下屋敷絵図 享保20年10月 1幅 荻田耕造氏寄贈
 3. 雲松院ほか奥方和歌詠草 徳川温子(利根姫)ほか(伊達吉村写) 元文3年正月5日 1点 伊文

4. 御老女中浜野ほか二名連署起請文 寛保元年3月19日 1通 伊文
 5. 伊達重村・観心院和歌短冊 伊達重村・近衛年子 江戸中期 1幅 伊文
 6. 御奥方格式 天明7年 10冊のうち2冊 伊文

武家のくらし

「雛調度と化粧道具」 2014.2/11～4/6

1. 雛人形 江戸 2点 個人蔵
 2. 葵紋竹菱蒔絵雛調度のうち 厨子棚、黒棚、書棚、碁盤、将棋盤、双六盤、挟箱一对、箆筥 10代斉宗夫人(徳川) 踏姫 江戸後期 計8件 館蔵
 3. 葵紋橘蒔絵櫛台(小道具共) 13代慶邦後室(徳川) 八代姫 江戸後期 1式 館蔵

「武家の服飾」 4/8～5/25

1. 重要文化財 帯 三沢初子所用 江戸前期 6筋 伊文
 2. 黒呉縞地竹に雀紋火事装束(羽織・胸当) 江戸後期 1具 館蔵
 3. 白麻地松竹梅車に唐団扇文様帷子 江戸後期 1領 個人蔵

「婚礼調度～乗物と貝桶」 5/27～8/31

1. 松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶 七代藩主伊達重村夫人惇君所用 江戸中期 1合 伊文
 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物 十代藩主伊達斉宗夫人踏姫所用 江戸後期 1挺 館蔵

「武家の服飾」 9/2～11/30

1. 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 江戸前期 1領 菅野家資料
 2. 半袴 江戸 1具 個人蔵
 3. 白綸子地団扇に梅文様振袖 江戸 1領 館蔵
 4. 浅葱絹地直衣 江戸後期 1領 館蔵
 5. 鑑直垂 江戸後期 1具 館蔵
 6. 黒絹地白葵葉文頭巾 江戸後期 1枚 館蔵
 7. 千代田の大奥 おたち退 楊洲周延画 明治29年 大判3枚続 大宮司C

※No.1～3は9/2～10/26、No.4～7は10/28～11/30

4 藩

仙台藩のようす

「仙台藩の軍と行列」 2014.2/11～5/25

1. 御軍役御定 享保12年正月 5冊のうち1冊 伊文
 2. 御備立惣御人数委細之書付ほか(享保12年正月) 5冊のうち1冊 伊文
 3. 天保六年伊達斉邦江戸登城行列図 明治31年 1巻 石原C
 4. 嘉永四年練兵行軍之図 江戸後期 1冊 館蔵

5. 白石城の図 小関雲陽 明治41年 1幅 片倉家資料
 6. 毛槍（白鳥毛）の鞘 江戸 1点 橋本信次郎氏寄贈

「仙台藩の領域」 2014/5/27～9/21

1. 御分領中御郡絵図 江戸 1冊 館蔵
 2. 領内境日記 上・下（享保12年頃） 2冊 伊文
 3. 仙台藩奉行連署宛書写 奥山大学ほか3名
 寛文2年8月15日 1通 片倉家資料
 4. 覚間沢境絵図 寛永19年6月15日 1鋪 伊文
 5. 伊沢之内相去村・和賀之内鬼柳村新境絵図
 寛永19年6月10日 1鋪 伊文

「仙台藩の武器・武具」 9/23～11/30

1. 鉄錆塗五枚胴（伝鈴木元信所用） 桃山 1領
 鈴木氏格寄贈
 2. 仙人図象嵌火繩銃 江戸 1挺 伊文
 3. 亀甲蟹牡丹紋鞍鏡 江戸中期 1組 伊文
 4. 赤羅紗地梅鉢紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
 5. 黒羅紗地九曜紋火事装束 江戸中期 1領 大山勝義氏寄贈
 ※ No.4は9/23～10/26、No.5は10/28～11/30展示

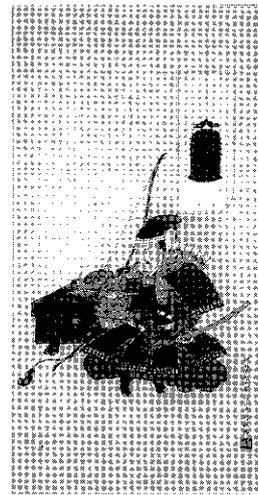
仙台藩の家臣たち

「寛文事件」 2014.2/11～5/25

1. 仙台藩一門連署起請文（万治3年）7月29日 1通 伊文
 2. 伊達兵部・田村右京連署血判起請文 立花飛驒（忠茂）宛
 万治3年11月21日 1通 伊文
 3. 伊達兵部処罰罪人書付写 寛文11年3月4日 1冊 伊文
 4. 伊達安芸口上覚書 原本・寛文11年 1冊 伊文
 5. 伊達宗重画像（三忠臣像のうち）江戸後期
 3幅のうち1幅 松川マサ氏寄贈
 6. 浮世絵「当間鬼寛・仁木弾正・山名宗全・渡辺外記左エ門・
 細川勝元」三代歌川豊国画 弘化4年～嘉永5年
 大判3枚続 大宮司C
 7. 浮世絵「早苗烏伊達闇書」豊原国周画 明治9年
 大判3枚続 大宮司C
 8. 浮世絵「伽羅先代萩」歌川国芳画 嘉永元年～嘉永6年
 大判3枚続 大宮司C
 ※ No.7は2/11～3/16、No.8は3/18～5/25展示

「片倉家特集」 5/27～8/31

1. 片倉景綱肖像 猪野謙山筆 明治 1幅 片倉家資料
 2. 深蕨抄 江戸 1冊 片倉家資料
 3. 片倉代々記 江戸 1冊（42冊の内） 片倉家資料
 4. 伊達政宗書状 片倉備中（景綱）宛（慶長7年）12月晦日
 1幅 片倉家資料
 5. 片倉小十郎（重長）書状 針生民部（盛信）宛
 （慶長20年）5月14日 1幅 館蔵
 6. 大坂夏の陣 道明寺合戦首帳 慶長20年5月 1冊
 菅野家資料



1. 片倉景綱肖像

7. 伊達忠宗書状 片倉小十郎（重綱）宛
 （寛永14年）9月5日 1幅 片倉家資料
 8. 片倉家中指小旗之図 江戸 1冊 片倉家資料
 9. 伊達慶邦書状（片倉宗景宛）文久元年8月5日 1通
 片倉家資料
 10. 胆振国幌別御支配所出張万記録 本沢浩斎 明治2年 1冊
 片倉家資料

「仙台藩の狩り／仙台藩の災害（災害を生きた人々）」 9/2～11/30

1. 鷹術目録 佐藤助左衛門尚信／佐藤忠次 安永9年5月
 1通 目黒卓英氏寄贈
 2. 鷹業種能壽并阿蘭陀業能書 江戸 1冊 目黒卓英氏寄贈
 3. 御鷹之書（宝暦11年4月8日） 1綴 伊文
 4. 鷲鳥図 狩野古信 江戸中期 1幅 伊文
 5. 鴨猟之図 伊達吉村 江戸中期 1幅 館蔵
 6. 鷹鈴板之図 菊田栄羽 宝暦3年 1点 伊文
 7. 備荒草木図 建部清庵 明和8年 1冊 三原良吉C
 8. 安政二年八月三日地震被害調写 安政2年8月8日 1綴
 伊文
 9. 本吉郡北方津波状況調 石森幸左衛門 安政3年11月 1通
 伊文
 10. 天明飢死図集 鈴木三伯 天明5年 1冊 館蔵

5 町

城下町仙台

「城下の中心地 芭蕉の辻」 2014.2/11～5/25

1. 芭蕉の辻建物図 文政10年 1鋪 館蔵
 2. 『二十四輩巡拝図会后篇卷之四』より芭蕉の辻 了貞著・
 竹原春泉斎画 文化6年刊 1冊 個人蔵
 3. 錦絵芭蕉の辻（複製）作者不詳 原資料：江戸後期 4枚
 館蔵
 4. 仙台鹿の子（写本） 江戸 1冊 尚文館C
 5. 芭蕉の辻へ掲げられた檄文写 慶応4年9月 1通 個人蔵

6. 芭蕉の辻図(複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原良吉 C
 7. 芭蕉辻伊勢佐桃見世当図 曜斎国輝画 明治初期 3枚続
 阿部次郎 C
 8. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 3点 館蔵

「仙台城下の寺社」 5/27～8/31

1. 明治元年仙台城市之図 明治 1面 館蔵
 2. 貞山公治家記録 卷二十一 慶長12年10月24日条 1冊
 伊文
 3. 大崎八幡由来記 松原探水筆 享保元年 1巻
 大崎八幡宮蔵
 4. 「仙台神社絵図」のうち東照宮 江戸後期 1帖 伊文
 5. 仙台東照宮別当三号授与状写 毘沙門堂門主前大僧正公海筆
 承応3年3月17日 1通 伊文
 6. 仙府神社仏閣案内記 仙台伊勢屋半右衛門刊 文政元年刊
 1冊 尚文館 C
 7. 伊達綱村釈迦堂建立本願覚書 (年未詳) 3月4日 1通
 伊文
 8. 伊達綱村画像 無明浄明筆・香邦道蓮賛 享保4年 1幅
 伊文
 9. 山号・寺号「両足山大年禅寺」 伊達綱村筆
 元禄10年2月18日 1幅 猪苗代翁・弼氏寄贈
 10. 両足山志 昂峰海皓筆 享保19年 1冊 伊文

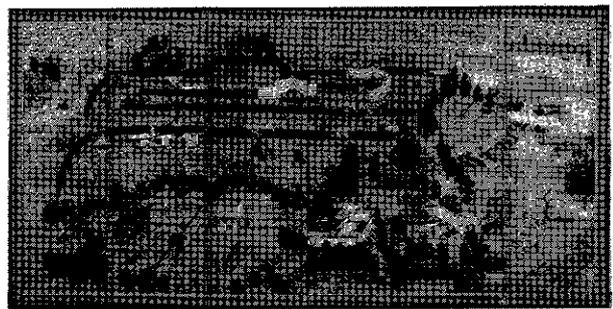
「仙台城下の町方 肴町」 9/2～11/30

1. 仙台城下図 寛政元年頃 1鋪 片倉家資料
 2. 肴商売御用捨由来書 江戸中期以降 1通 米川家文書
 3. 肴町元検断平与右衛門由緒書上 享保14年8月 1通
 米川家文書
 4. 五十集物肴町入荷調 江戸 1通 伊文
 5. 仲間申合達書留 大久保屋与五右衛門所持 安永6年 1冊
 三原良吉 C
 6. 「御修覆帳」より肴町御日肴所 安永年間 1冊
 東北大学工学研究科蔵
 7. 東照宮祭礼渡物図 「大漁繁栄之躰 肴町梅三」 明治 1枚
 三原良吉 C
 8. 仙台招魂祭山鉾ノ図 楊斎延一画・山良八発行 明治25年
 3枚続 三原良吉 C

町のくらし

「春を楽しむ」 2014.2/11～5/25

1. ぼんぼり祭り図 遠藤日人筆 江戸後期 1幅 館蔵
 2. 花もどり図 遠藤日人筆 文政10年 1幅 館蔵
 3. 「奥州仙台名所尽集」より山榴岡 江戸後期 1巻 大宮司 C
 4. ぼんぼり槍の瓢箪 年月日不詳 2点 足立孔 C
 5. 木下駒 江戸 1点 三原良吉 C
 6. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
 7. 仙台中行事絵巻 江戸後期 1巻 三原良吉 C
 8. 榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎 C



8. 榴ヶ岡花見図屏風

9. 徳利付蒔絵野弁当 江戸末期 1組 甲田 C
 10. 枇杷文指樽 江戸後期 1対 増子征氏寄贈
 ※ No.1～7は2/11～4/6、No.8は4/8～5/25展示

「夏の行事」 5/27～8/31

1. 仙府年中往来 燕石斎薄墨版 江戸後期 1冊 阿部次郎 C
 2. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
 3. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
 4. 七夕飾り 大正 7点 菅野邦夫氏寄贈
 5. 七夕の絵葉書「仙台 肴町七夕祭ノ光景」 大正 1点 館蔵
 6. 七夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪華版 東一番町」 昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵
 7. 七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」
 昭和20年代 1点 館蔵
 8. 「仙台中行事絵巻」より藩主狼煙御覧・水練御覧の図
 江戸後期 1巻 三原良吉 C
 9. 栗山公治家記録 卷五 安政2年 1冊 伊文
 10. 「奥州仙台名所尽集」より宮城野 江戸後期 1巻 大宮司 C

「東照宮祭礼」 9/2～11/30

1. 東照宮祭礼渡物絵図 「源氏若紫之體 北目町相原屋太兵衛」
 江戸後期 1枚 三原良吉 C
 2. 東照宮祭礼渡物絵図 「舜帝より禹王珠玉錫(賜)り音楽を奏する躰」 大町四丁目小西屋 江戸後期 1枚 三原良吉 C
 3. 東照宮祭礼渡物絵図 「八幡太郎義家安倍貞任を見顕し給ふ躰 川原町沢口安左衛門」 江戸後期 1枚 三原良吉 C
 4. 東照宮祭礼渡物絵図 「坂上田村麿鷹野に出給ふ躰 国分町伏見屋長兵衛」 江戸後期 1枚 三原良吉 C
 5. 仙台東照宮祭礼小絵図 江戸中期～後期 3枚 館蔵
 6. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原良吉 C
 7. 渡物札 江戸後期 2枚 三原良吉 C
 8. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案 得可主屋次右衛門
 浅井忠内 文政11年6月 1通 三原良吉 C
 9. 勝相撲 遠藤日人筆 江戸後期 1幅 館蔵
 10. 「仙台藩法禁」より芝居見物難成出之事 江戸後期 1冊
 11. 嘉永三年相撲番付 嘉永3年 1枚 三原良吉 C

教育と文化

「仙台藩の学問と思想家」 2014.2/11 ~ 5/25

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 山崎闇斎肖像 大槻平泉賛 天保8年 1幅 伊文
2. 養賢堂の図(複製) 江戸後期 1冊
館蔵(原資料・宮城県図書館蔵)
3. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
4. 理氣鄙言 桜田欽斎著 文化元年序 1冊 中村C
5. 水滴 江戸後期 3点 館蔵

林子平の思想と交友

6. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
7. 輿地国名訳 林子平筆写 安永6年 1冊 藤塚家資料
8. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
9. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
10. 林子平書状 藤塚式部宛(寛政4年)6月1日 1通
中村C
11. アイヌの煙草入れ(胴乱・腰籠) 江戸 1点 藤塚家資料
12. 報賽歌 林子平筆 寛政3年 1幅 藤塚家資料
13. 林子平辞世拓本 江戸 1幅 中村C

「仙台藩の学問と思想家」 5/27 ~ 8/31

仙台藩の天文学

1. 獅山公治家記録 正徳四年二月七日条(遠藤盛俊入門)
田辺希文・見玉秀基編 宝暦8年 1冊 伊文
 2. 伊達世臣家譜(戸板氏) 田辺希元撰 寛政4年 1冊 伊文
 3. 潮汐図説 高野立斎著 寛延2年 1冊 尚文館C
 4. 天文図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵
- 林子平の人生と思想
5. 坪碑 林子平著・程赤城跋 安永7年頃 1巻 中村C
 6. 仙台市指定文化財 蘭人制作支那図 林子平筆写
安永7年 1枚 中村C
 7. 阿蘭陀船図説(複製) 天明2年版・明治26年印刷複製
1枚 館蔵
 8. 仏語訳三国通覧図説 クラプロート訳 1832年刊 1冊
館蔵
 9. 海国兵談 林子平著 天明7年写 1冊 館蔵
 10. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵

「仙台藩の文化人と思想家」 9/2 ~ 11/30

仙台藩ゆかりの文化人

1. 俳人百家撰 緑亭川柳編・歌川国輝画 嘉永8年 1冊
尚文館C
2. 松窓句集 松窓乙二著 文政6年 1冊 尚文館C
3. 俳諧三十六句仙 足了庵禾月尼序 嘉永6年 1冊
阿部次郎C
4. 釣奇一覧 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C
5. 仙台領高名競 角力見立 一騎作 仙台昔話会復刻
文政12年発行・昭和15年復刻 1枚 三原良吉C

6. 宿場の図 遠藤日人筆 文政11年 1幅 館蔵
 7. 蛙相撲図 遠藤日人筆 天保4年 1幅 館蔵
- 林子平の思想と交友

8. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
9. 藤塚家家譜 藤塚式部筆 安永4年 1冊 藤塚家資料
10. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写 安永7年 1冊
藤塚家資料
11. 阿蘭陀船図説(複製) 天明2年版・明治26年印刷複製
1枚 館蔵
12. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
14. 林子平辞世拓本 江戸 1幅 中村C

新たな時代へ

「玉蟲左太夫の生涯」 2014.2/11 ~ 5/18

1. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正 1面 玉蟲誼氏寄贈
2. 玉蟲左太夫書状 兄宛 弘化3年12月28日 1通
玉蟲誼氏寄贈
3. 入北記 玉蟲左太夫筆 安政4年 1冊 玉蟲誼氏寄贈
4. 航米日録 玉蟲左太夫筆 江戸末期 1冊 館蔵
5. 人心ヲ和シ上下一致ニセンコトヲ論ス 玉蟲左太夫筆
江戸末期 1冊 玉蟲誼氏寄贈
6. 玉蟲左太夫意見書(伊達慶邦宛)(元治元年)9月27日
1通 伊文
7. 玉蟲左太夫書状 作左衛門宛(明治元年)11月4日 1通
玉蟲誼氏寄贈

「仙台藩と軍備拡充」 5/20 ~ 8/31

1. 大槻俊斎書状 大槻竜之進宛(弘化3年)5月朔日 1通
館蔵
2. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控(安政3年7月) 1通
伊文
3. 開成丸進水図写 熊耳耕年写 原図:小野寺鳳谷画 近代
1幅 菊田定郷C
4. 騎兵体歩兵体散兵大訓練之図 月岡芳年画 慶応3年
3枚続 大宮司C
5. 免許指揮太鼓目録 渋谷平八宛 慶応3年 1巻 個人蔵
6. 日程記 大童信太夫筆 慶応3年8月 1冊 個人蔵
7. ヴァン・リードの領収書(慶応4年)4月29日 1通
個人蔵
8. 蒸気船黒龍丸支払金証書 仙台藩 大童信太夫筆
慶応4年4月 1通 個人蔵

「幕末人物伝 大槻習齋」 9/2 ~ 11/30

1. 山水図 大槻習齋筆 文政8年6月 1幅 菊田定郷C
2. 養賢堂版 小学 嘉永3年 2冊 安倍謙一氏寄贈
3. 片倉宗景他三名連署申渡書草稿(安政4年)5月 1通
伊文

4. 梁山公治家記録 五 安政2年4月6日条 1冊 伊文
5. 開成丸題字 大槻習齋筆 1巻 亀田兵治C
6. 開成丸養賢堂御貸渡書簡 大槻習齋筆 村田善次郎宛
安政5年11月27日 1通 亀田兵治C
7. 大槻習齋書状 善次郎宛 12月20日 1通 古汀C
8. 七言絶句「眼底群兒孰大兒」 大槻習齋筆 1幅
玉蟲誼氏寄贈
9. 大槻格次中庸和解 元治元年6月23日 1冊 伊文

6 近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

「仙台藩と戊辰戦争」 2013.12/3～2014.5/18

1. 会津追討ニ付仙台様御出陣被御行列図 慶応4年4月 1巻
板垣英夫氏寄贈
2. 会津戦闘絵図 慶応4年4月19日 1冊 菅野家資料
3. 白河口戦闘絵図(複製) 明治 1幅 館蔵
4. 五月朔日於白川表戦争之節討死手負之輩名前調
慶応4年5月1日 1冊 甲田辰氏寄贈
5. 伊達慶邦書状控 松平喜徳宛 (慶応4年)8月8日 1通
伊文
6. 松平喜徳カ書状 伊達慶邦宛 (慶応4年)8月12日 1通
伊文

「仙台藩と戊辰戦争」 5/20～8/31

1. 伊達慶邦肖像 印藤真橋筆 明治13年 1面 伊文
2. 錦旗 慶応4年 1旗 伊文
3. 伊達慶邦建言書下書 慶応4年2月 1通 伊文
4. 鎮撫総督会津討入達書 伊達慶邦宛 慶応4年3月26日
1通 伊文
5. 伊達慶邦布告控 慶応4年5月 1通 伊文
6. 陶製砲弾 慶応4年 19点 庄司博氏寄贈

「幕末明治を生きた人々」 9/2～11/30

1. 松平容保和歌短冊 江戸末期～明治 1幅 大久保C
2. 秋月梯次郎書 江戸末期～明治 1幅 大久保C
3. 土方歳三書状 小島宛 年月日未詳 1幅 大久保C
4. 墨梅図賛 山内豊信筆 江戸末期～明治 1幅 石原C
5. 後藤象二郎書 江戸末期～明治 1幅 大久保C
6. 坂本龍馬書状 三吉慎蔵宛 年月日未詳 1巻 大久保C

近代都市仙台

「教育・戦争と地域社会」 2014.2/11～5/25

西南戦争の勃発

1. 西郷隆盛書 明治 1幅 大久保C
2. 警部補辭令 石母田琢磨宛 明治10年6月19日 1通
石母田久氏寄贈

3. 慰勞金下賜証書 石母田琢磨宛 明治10年10月6日 1通
石母田久氏寄贈
4. 征討御會議之図 楊州斎周延画 明治10年 3枚統
大宮司C
5. 鹿児島紀聞之内(田原坂) 鮮斎永濯画 明治10年 3枚統
尚文館C
6. 西郷城山戦死図 楊州斎周延画 明治10年10月 3枚統
館蔵
7. 西南戦争を取材する福地桜痴(「教導立志基」から)
小林清親画 明治18年 1枚 阿部次郎C
自由民権運動の展開
8. 講習余誌出版願並許可書 明治10年2月 1綴 小野家資料
9. 講習余誌 明治10年創刊 1冊 小野家資料
10. 進取雑誌 明治13年2月創刊 1冊 安久津家資料
11. 本立社日記 明治 1冊 逸見順子氏寄贈
12. 国会開設哀願書 若生精一郎 明治13年12月 2点
逸見順子氏寄贈
13. 東北改進黨盟約 明治15年 1冊 安久津家資料
14. 対物宮城之最 菅野長平編集・出版 明治15年7月22日
1枚 三原良吉C
15. 憲法発布式之図 楊州斎周延画 明治22年 3枚統 館蔵
16. 大日本帝国議會御幸之図 楊州斎周延画 (明治23年々)
3枚統 館蔵

「教育・戦争と地域社会」 5/27～8/31

教科書にみる仙台・宮城

1. 世界国尽 福沢諭吉訳・慶應義塾蔵板
明治2年版・明治4年再刻 1冊 荒町小学校寄贈
2. 啓蒙手習の文 福沢諭吉編・慶應義塾出版・尚古堂発行
明治4年 1冊 荒町小学校寄贈
3. 小学読本日本史略 市岡正一著・弘学館蔵 明治8年 2冊
荒町小学校寄贈
4. 小学習字手本(いろは・漢字) 師範学校編・文部省刊
明治7年改正 2冊 荒町小学校寄贈
5. 小学読本 出版人二日町益友社須田平左衛門、
国分町伊勢安右衛門・菅原安兵衛 明治7～10年 1冊
尚文館C
6. 日本地誌略 東京師範学校編・文部省刊 明治7年～9年
1冊 尚文館C
7. 校正宮城県地誌提要 全 宮城師範学校編・宮城県学務課出
版 明治17年 1冊 尚文館C
8. 尋常小学地理書 文部省著・発行 昭和13年 1冊
郷右近馨氏寄贈

「軍都」仙台

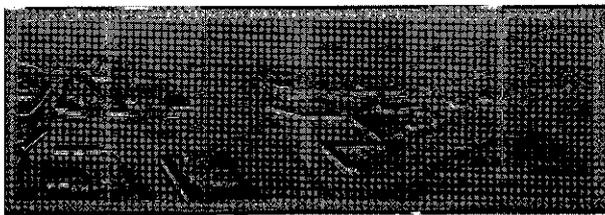
9. 仙台鎮台辞令 明治18年1月29日付 1通 館蔵
10. 仙台招魂祭山鉾ノ図 楊斎延一画・横山良八印刷・発行
明治25年 3枚統 大宮司C
11. 陸軍御用の仙台大町大平商店の団扇 明治40年頃 1点
川村節子氏寄贈

12. 戦時農園の手引 情報局編集 昭和19年発行 1冊
石母田家資料
13. 第二師団凱旋之図 菅野覚太郎画 明治29年 1面
三原良吉 C
14. 河内兵營之図 松浦勝也印刷、三沢好吉発行 明治30年
1面 三原良吉 C
15. 六合社図 近代 1面 三原良吉 C
16. 釈迦堂・歩兵第四聯隊全図 玉虫龍之進画・彫刻、
三沢好吉発行 明治30年 1面 三原良吉 C

「杜の都」のルーツを探る 9/2～11/30

杜の都の原風景

1. 仙台北下図屏風 吉成東温筆 慶応元年 6曲1隻
三原良吉 C



1. 仙台北下図屏風

2. 木村宇右衛門覚書下 木村宇右衛門可親著 慶安5年頃
1冊 伊文
3. なみだのたね 濱田景長筆 大正4年 1冊 個人蔵
- 杜の都の誕生
4. 『仙台』 小倉博著、仙台市教育会発行 大正13年 1冊
館蔵
5. 『仙台市民読本 全』 仙台市教育会著・発行 昭和10年
1冊 館蔵
6. 第二師団遠望之図 奥山無門筆 大正6年 1面
奥山栄五郎氏寄贈
7. 清水小路（現仙台駅南）にあった旧藩士の屋敷（油絵）
※パネル 石田常福筆 明治後期 1点 瑞鳳寺蔵
8. 愛宕山から見た仙台の市街地（絵葉書）※パネル
明治末期 1点 館蔵
9. 愛宕山から見た仙台の市街地（ガラス乾板の写真）
※パネル 昭和10年 1点 館蔵
- 杜の都の継承と復興
10. 青葉通の植樹セレモニー（写真）※パネル
昭和25年4月3日 1点 仙台市戦災復興記念館蔵
11. 青葉通（大町頭付近）と西公園（写真）※パネル
昭和28年 1点 仙台市戦災復興記念館蔵
12. 仙台市公会堂から見た定禅寺通（写真）※パネル
昭和34年頃 1点 仙台市戦災復興記念館蔵
13. 青葉通のケヤキ並木 ※パネル 平成18年5月 1点
14. 定禅寺通のケヤキ並木 ※パネル 平成18年5月 1点

特集展示室

国宝「慶長遣欧使節関係資料」

2014. 2/18～4/20

1. 支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）原因は1615年頃
1面 館蔵
2. セビリア市宛伊達政宗書状（和文）※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
3. ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
5. 支倉常長書状 ※複製 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
7. 『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
8. 支倉常長画像（銅版画）サデルル作 1616～17年頃 1枚
館蔵
9. 支倉常長画像（銅版画）1616～17年頃 1枚 館蔵
10. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
11. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
12. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
13. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
14. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
15. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
16. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料）19C 1面 館蔵
17. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
18. 国宝 テカ及び袋 17C 1具 館蔵
19. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
20. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
21. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
22. 国宝 鏡 17C 1双・1隻 館蔵
23. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
24. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
25. 国宝 ローマ市公民権証書 ※複製 原本は1615年11月
1通 館蔵

6/17～9/7

1. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年 1帖
支倉哲男氏寄贈
2. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛 慶長13年 1面
支倉家資料
3. 伊達政宗書状（茂庭石見宛）（慶長17～18年頃）1幅 館蔵
4. 支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）原因は1615年頃
1面 館蔵
5. セビリア市宛伊達政宗書状（和文）※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵

6. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) ※複製
 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
7. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) ※複製
 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
8. 支倉常長書状 ※複製 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅 館蔵
9. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
 1615年刊 1冊 館蔵
10. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
 1617年刊 1冊 館蔵
11. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616～17年頃 1枚 館蔵
12. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵
13. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
14. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
15. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
16. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
17. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
18. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
19. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
20. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
21. 国宝 テカ及び袋 17C 1具 館蔵
22. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
23. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
24. 国宝 ローマ市公民権証書 ※複製
 原本は1615年11月 1通 館蔵
25. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
26. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵

仙台藩の武器・武具

2014.2/18～5/25

1. 鉄錆地五枚胴具足 4代藩主伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
 2. 黒漆五枚胴具足 青木寛太夫所用 安政3年 1領 青木和子氏寄贈
 3. 金梨地菊桐紋刀掛 江戸中期 1架 伊文
 4. 仙人図象嵌火縄銃 江戸 1挺 伊文
 5. 茶縞地蟹牡丹紋章羽織・袴 江戸後期 1具 ナンシー・大山氏寄贈
 6. 浅葱変綾地波濤文具足下 江戸後期 1領 ナンシー・大山氏寄贈
 7. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領 伊文
- ※ No.1は4/22～7/21、No.5は2/18～4/6、No.6は4/8～5/10、No.7は5/12～5/25展示

5/27～9/21

1. 鉄錆地五枚胴具足 4代藩主伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文

2. 黒漆五枚胴具足 菅野正左衛門重成所用 江戸後期 1領 菅野壽雄氏寄贈
 3. 孔雀蒔絵鞍轡 蒔絵 松立斎 江戸 1組 伊文
 4. 火縄銃「東雲」銃筒木田定幸作 江戸 1口 館蔵
 5. 緋羅紗地波文様火事羽織 江戸後期 1領 館蔵
 6. 緋羅紗地北斗七星模様陣羽織 江戸後期 1領 佐藤正人氏寄贈
 7. 朱鍍漆紫糸素懸威胴丸具足 三宝荒神形兜付 伝上杉謙信所用 室町末期 1領 館蔵
 8. 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 江戸前～中期 1領 伊文
 9. 黒漆瓦札萌葱糸威胴丸具足 伝仙姫所用 江戸前期 1領 伊文
 10. 鉄錆塗五枚胴 伝鈴木元信所用 桃山 1領 鈴木氏格寄贈
 11. 赤羅紗地梅鉢紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
- ※ No.1は4/22～7/21、No.2は5/27～8/17、No.5は5/27～6/22、No.6は6/24～7/27、No.7は7/23～8/17、No.8は7/29～8/31、No.9は8/19～9/21、No.10は8/19～9/21、No.11は9/2～9/21展示

伊達政宗の手紙

2014.4/22～6/15

1. 戦の興奮冷めやらぬ政宗 伊達政宗書状
 中島伊勢守宗求宛 (天正16年) 閏5月16日 1幅 大石晃大氏寄贈
2. 秀吉のことで頭がいっぱい 伊達政宗書状
 鬼庭石見守綱元宛 (天正17年末～18年初頃) 1通 個人蔵
3. 連絡・調整は大事な仕事 伊達政宗書状
 茂庭石見守綱元宛 (慶長10年代) 1通 鈴木周次氏寄贈
4. 茂庭綱元は連絡・調整役の要 伊達政宗書状
 茂庭石見守綱元宛 (慶長年間) 13日 1幅 岩田ひろ子氏寄贈
5. 息子の病が快方に向かっているぞ! 伊達政宗書状
 茂庭石見守綱元宛 (元和年間) 28日 1幅 鈴木周次氏寄贈
6. 小姓頭の夜勤番にひとこと 伊達政宗書状
 蟻坂善兵衛仲久ほか3名宛 (慶長10年代) 1通 個人蔵
7. 小姓たちの髪型を注意する 伊達政宗書状
 蟻坂善兵衛仲久ほか3名宛 (元和8年～寛永4年頃) 5月18日 1幅 個人蔵
8. 口約束でも守らないと 伊達政宗書状
 蟻坂善兵衛仲久宛 (寛永元年) 9月17日 1幅 個人蔵
9. 普請場所の調査に行ってい 伊達政宗書状
 蟻坂善兵衛仲久宛 (年月未詳) 3日 1幅 個人蔵
10. 病状はいかに 伊達政宗書状
 只野作十郎勝吉宛 (年月未詳) 3日 1幅 小林澄子氏寄贈
11. 幕臣を屋敷にお招きする 伊達政宗書状
 某宛 (元和10年カ) 正月19日 1幅 宇野はな江氏寄贈
12. ちょっと寄ってください 伊達政宗書状
 細川玄蕃頭興元宛 (慶長末～元和初期) 即刻 1幅 宇野はな江氏寄贈

- 13. うちの家臣にするからご安心を 伊達政宗書状
土御門左衛門佐久脩宛 (元和3年) 9月18日 1幅
宇野はな江氏寄贈
- 14. 心配しています 伊達政宗書状
池田三之介長純宛 (寛永9年) 9月24日 1幅
宇野はな江氏寄贈
- 15. 鷹狩り情報、教えます 伊達政宗書状
松平新太郎(池田光政)宛 (年未詳) 1月6日 1幅
宇野はな江氏寄贈
- 16. お手紙ありがとう 伊達政宗書状
牟宇姫宛 (元和7~8年頃) 1幅 個人蔵
- 17. 江戸へ行く前にぜひ会いたかった 伊達政宗書状
牟宇姫宛 (寛永8年11月) 6日 1幅 個人蔵
- 18. お心遣いありがとう 伊達政宗書状
牟宇姫宛 (年月未詳) 23日 1幅 齋藤隆氏寄贈

- 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 4. ローマ市街図 16C末 1面 館蔵
- 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 11. 支倉常長書状 ※複製 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅 館蔵

屏風絵

2014.9/9~9/21

- 1. 吉野龍田図屏風 松原探水筆 江戸中期 6曲1双 伊文
- 2. 秋草に鹿図屏風 狩野安信筆 江戸前期 1隻 伊文
- 3. 大織冠図屏風 江戸中期~後期 1双 伊文

- 12. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年 1帖 支倉哲男氏寄贈
- 13. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛 慶長13年 1面 支倉家資料

11/12~11/30

- 1. 元禄模様 熊耳耕年筆 昭和8年 2曲1双 館蔵
- 2. 西行銀猫図 熊耳耕年筆 明治~昭和 2曲1隻 館蔵

- 14. 伊達政宗書状(茂庭石見宛)(慶長17~18年頃) 1幅 館蔵
- 15. 坤輿万国全図 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵
- 16. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 17. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 18. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 19. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
- 20. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 21. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 22. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
- 23. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
- 24. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
- 25. 国宝 ローマ市公民権証書 1615年11月 1通 館蔵
- 26. 国宝 ローマ市公民権証書 ※複製 原本は1615年11月1通 館蔵
- 27. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵
- 28. 国宝 マント及びズボン 17C 1具 館蔵
- 29. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
- 30. 国宝 鏡 17C 1双・1隻 館蔵
- 31. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
- 32. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
- 33. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
- 34. 国宝 テカ及び袋 17C 1具 館蔵
- 35. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵



2. 西行銀猫図 熊耳耕年筆

- 3. 竹林七賢図 嶮崎縉斎筆 安政4年 6曲1隻 館蔵
- 4. 山水図 佐久間鉄園筆 大正8年 6曲1双 館蔵
- 5. 宮城十二景 遠藤速雄筆 大正 6曲1双 伊澤家C

テーマ展示室II

慶長遣欧使節

2014.4/22~6/15

- 1. 支倉常長像(1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃 1面 館蔵

9/9~11/30

- 1. 支倉常長像(1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃 1面 館蔵
- 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵

- | | |
|---|---|
| 3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面
館蔵 | 10. 埋木細工 白鳥飾り付ペーパーナイフ 石垣博作 昭和
1点
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 4. ローマ市街図 16C末 1面
館蔵 | 11. 埋木細工 角形ペン皿 赤木鶴之助作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊
館蔵 | 12. 埋木細工 サラダフォーク・スプーン 石垣博作 昭和
1対
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊
館蔵 | 13. 埋木細工 千鳥形菓子鉢 小竹健勇作 昭和 1合
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 7. 支倉常長画像(銅版画) サデレル作 1616~17年頃 1枚
館蔵 | 14. 埋木細工 葉形茶托 橘川正雄氏作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚
館蔵 | 15. 埋木細工 菱形茶托 石垣博氏作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面
館蔵 | 16. 埋木細工 雅形筆置 平間金作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年9月4日 1面
館蔵 | 17. 埋木細工 亀置物 小竹彰作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈 |
| 11. 支倉常長書状 ※複製 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵 | 18. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 銘「天保六年十月吉日
仙台加美郡宮崎村之内切籠ニ而湯倉ヨリ出ル石ヲ以製之」
底銘「湯倉製」「英長画」 1口 個人蔵 |
| 12. 国宝 短剣 17C 2口
館蔵 | 19. 白磁ふくら雀手塩皿 切込焼 3枚 古賀C |
| 13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面
館蔵 | 20. 染付ふくら雀手塩皿 切込焼 3枚 古賀C |
| 14. 国宝 十字架像 17C 1口
館蔵 | 21. 染付人物文辣蕪形徳利 切込焼 1口 館蔵 |
| 15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具
館蔵 | 22. 染付蓋物 切込焼 銘「御役所持用 安政七年」 1合
古賀C |
| 16. 国宝 ロザリオ 17C 5連
館蔵 | 23. 染付葡萄文コップ 大正切込焼 底銘「岩窯 宮崎
陸前 ジャパン」 1口 古賀C |
| 17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片
館蔵 | 24. 甕 堤焼 1口 館蔵 |
| 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面
館蔵 | 25. 甕 堤焼 1口 館蔵 |
| 19. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面
館蔵 | 26. 甕 堤焼 1口 館蔵 |
| 20. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面
館蔵 | 27. 甕 堤焼 1口 館蔵 |
| 21. 国宝 ローマ市公民権証書 ※複製 原本は1615年11月
1通 館蔵 | 28. 甕 堤焼 1口 館蔵 |
| | 29. 壺 堤焼 1口 館蔵 |
| | 30. 壺 堤焼 1口 館蔵 |

コレクション展示室I

焼物

「埋木細工」「切込焼」 2014.2/11~5/25

- 埋木細工 鳳凰置物 小竹健勇作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木文庫 大正頃 1合 安斎千代氏寄贈
- 埋木細工 鹿角形ネクタイ掛 小竹彰作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 角形花立・花台 竹田勇作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 茶盆 石垣博作 昭和 1面
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 葉形銘々皿 黒川吉右衛門作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 肉池 相沢剛作 昭和 1合
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 水鳥飾り付貴重品入 小竹孝作 昭和 1合
仙台埋木細工同業会寄贈
- 埋木細工 髪飾り 相沢剛作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈

「三浦乾也のやきもの」 5/27~9/25

- 唐子蓋置 三浦乾也 銘「乾也」 1点 新井田C
- 秋草文茶巾筒 三浦乾也 銘「乾也」 1点 新井田C
- 乾也玉簪 三浦乾也 彫銘「天禄堂乾也」 1点 新井田C
- 秋草文根掛 三浦乾也 銘「乾也」 1連 新井田C
- 絵替小玉 三浦乾也 銘「乾也」 1連 新井田C
- 青磁琵琶文根掛 三浦乾也 彫銘「乾也」 1点 新井田C
- 大黒天簪 三浦乾也 銘「乾也」 1点 新井田C
- 金襴手中差 三浦乾也 銘「天禄堂」「乾也」 1点
新井田C
- 梅形寄蓋物 三浦乾也 中央底銘「乾也」 1組 新井田C
- 花卉文絵替葉形向付 三浦乾也 腰銘「乾也」 5点
新井田C
- 蓮形柄香炉 三浦乾也 底彫銘「明治十七年六月天禄堂乾也」
1点 新井田C

12. 茶碗象眼煙管入 雪花文煙管付 三浦乾也 茶碗銘「乾也」・「天祿堂」 縮緬彫銘「乾也」他 1点 新井田 C	14. 蛸唐草文らっきょう徳利 切込焼 江戸 1口 館蔵
13. 陶製経筒写花入 三浦乾也 底彫銘「乾也」 箱蓋表墨書「乾也 経つつ」 蓋裏墨書「明治十八年己酉 五月六十五翁天祿堂乾也造」 1点 新井田 C	15. 金唐草文石皿 清時代か 2口 館蔵
14. 菊文茶碗 五代目尾上菊五郎好 三浦乾也 底印銘「乾也」 1点 新井田 C	16. 石皿 清時代か 2枚 館蔵
15. 雪松文四方鉢 三浦乾也 底銘「乾也」 1点 新井田 C	17. アラビア文字入大皿 中国 漳州窯 明末清初 1口 館蔵
16. 月に萩文黒楽茶碗 三浦乾也 腰銘「乾也」 1点 新井田 C	18. 甕 堤焼 1口 館蔵
17. 色紙春駒御福人形 三浦乾也 裾銘「乾也」 1点 新井田 C	19. 甕 堤焼 1口 館蔵
18. 破笠細工具尽盆 5点 新井田 C	20. 甕 堤焼 1口 館蔵
19. 桐松象眼秋草文蒔絵盆 柴田是真・三浦乾也合作 底陶板貼付銘「乾也」・金蒔絵銘「是真」 1点 新井田 C	21. 甕 堤焼 1口 館蔵
20. 松文煙管入 印籠・縮緬付 三浦乾也 印籠底銘「天祿堂乾也」 1点 新井田 C	22. 甕 堤焼 1口 館蔵
21. 都鳥文言問団子皿 三浦乾也 4枚底印銘「乾也」「言問」 1枚は無銘 箱蓋表墨書「隅田川都鳥の皿」 蓋裏墨書 「明治三十四年五月八日妻貞子と共に向鳥の桜の新樹を 見にもしける時言問団子やの楼上にてこれをもとむ」 5点 新井田 C	23. 壺 堤焼 1口 館蔵
22. 松竹梅文土風炉 三浦乾也 腰銘「乾也」 箱蓋表墨書「乾也造雪中松竹梅風炉」 1点 新井田 C	24. 壺 堤焼 1口 館蔵
23. 白蔵主 三浦乾也 印銘「乾也」 箱蓋表墨書「白蔵主」 蓋裏墨書「乾也造 朱文円印『乾也』」 1点 新井田 C	
24. 老子像 三浦乾也 背面「太上老君」 底銘「墨水天祿堂乾也造」 箱蓋裏墨書「於墨水天祿堂乾也 造 黒文楕円印『乾也』」 1点 新井田 C	
25. 甕 堤焼 1口 館蔵	
26. 甕 堤焼 1口 館蔵	
27. 甕 堤焼 1口 館蔵	
28. 甕 堤焼 1口 館蔵	
29. 甕 堤焼 1口 館蔵	
30. 壺 堤焼 1口 館蔵	
31. 壺 堤焼 1口 館蔵	
「館蔵のやきもの - 食のうつわ」 11/11 ~ 11/30	
1. 流水菖蒲蛇籠文入隅角形鉢 志野焼 江戸 1口 館蔵	
2. 青磁鮑形皿 古伊万里(有田) 江戸 5枚 館蔵	
3. 青磁菊花形皿 古伊万里(有田) 江戸 5枚 館蔵	
4. 染付松虎図菊形皿 中国 明末清初 3口 館蔵	
5. 染付草花鳥文皿 中国 明末清初 3口 館蔵	
6. 染付芙蓉手草花文皿 肥前 江戸前期~中期 3口 館蔵	
7. 刷毛目三鳥茶碗 朝鮮 1口 館蔵	
8. 粉引茶碗 朝鮮 李朝 1口 館蔵	
9. 色絵注連縄文碗 京都・粟田焼 江戸 1口 館蔵	
10. 赤楽茶碗 銘「唐人」 川上太白 江戸中期 1口 館蔵	
11. 絵替長皿形向付 三浦乾也 6枚 館蔵	
12. 五彩花鳥文碗 中国 景德鎮窯 明末以降 3口 館蔵	
13. 錦手波に麒麟文角形皿 肥前 江戸前期 3口 館蔵	
「山形の古人形と堤人形」 2014.2/11 ~ 5/25	
1. 相良人形 太鼓打ち 江戸後期 1点 足立孔 C	
2. 相良人形 鯛つかみ 江戸後期 1点 足立孔 C	
3. 相良人形 亀抱き童子 江戸後期 1点 足立孔 C	
4. 相良人形 俵持ち 江戸後期 1点 足立孔 C	
5. 相良人形 犬乗り 江戸後期 1点 足立孔 C	
6. 相良人形 犬抱き 江戸後期 1点 足立孔 C	
7. 相良人形 童子 江戸後期 1点 足立孔 C	
8. 相良人形 舟遊び 江戸後期 1点 足立孔 C	
9. 相良人形 這い子 江戸後期 1点 足立孔 C	
10. 相良人形 馬子 江戸後期 1点 足立孔 C	
11. 相良人形 母と子 江戸後期 1点 足立孔 C	
12. 相良人形 坐美人 江戸後期 1点 足立孔 C	
13. 相良人形 三味線弾き 江戸後期 1点 足立孔 C	
14. 相良人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵	
15. 相良人形 てまり 江戸後期 1点 館蔵	
16. 相良人形 まんじゅう喰い 江戸後期 1点 館蔵	
17. 相良人形 かめ割 江戸後期 1点 館蔵	
18. 相良人形 鯛乗り 江戸後期 1点 館蔵	
19. 相良人形 亀かつぎ 江戸後期 1点 館蔵	
20. 相良人形 お多福 江戸後期 1点 館蔵	
21. 相良人形 福助 江戸後期 1点 館蔵	
22. 相良人形 かぶと持ち 江戸後期 1点 館蔵	
23. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点 足立孔 C	
24. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 足立孔 C	
25. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 足立孔 C	
26. 堤人形 坐美人 江戸後期 1点 足立孔 C	
27. 堤人形 火焰太鼓 江戸後期 1点 足立孔 C	
28. 堤人形 三味線弾き 江戸後期 1点 足立孔 C	
29. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 館蔵	
30. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 館蔵	
31. 堤人形 太鼓持ち 江戸後期 1点 館蔵	
32. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵	
33. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵	
34. 堤人形 瓢かつぎ 江戸後期 1点 本出 C	
35. 堤人形 瓢持ち 江戸後期 1点 本出 C	

- 36. 堤人形 瓢乗り犬 江戸後期 1点 本出 C
- 37. 堤人形 鯛抱き 江戸後期 1点 本出 C
- 38. 鶴岡人形 犬乗り童子 明治 1点 足立孔 C
- 39. 鶴岡人形 象乗り唐子 明治 1点 足立孔 C
- 40. 鶴岡人形 三番叟 明治 1点 足立孔 C
- 41. 鶴岡人形 太鼓打ち 明治 1点 足立孔 C
- 42. 鶴岡人形 遊び仲間 明治 1点 足立孔 C
- 43. 鶴岡人形 子負い 明治 1点 足立孔 C
- 44. 鶴岡人形 龍王 明治 1点 足立孔 C

「三春人形と堤人形」 5/27～9/25

- 1. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 館蔵
- 2. 堤人形 坐美人 江戸後期 1点 館蔵
- 3. 堤人形 犬ひき花魁 江戸後期 1点 本出 C
- 4. 堤人形 武将 江戸後期 1点 本出 C
- 5. 堤人形 傘持ち 江戸後期 1点 本出 C
- 6. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 本出 C
- 7. 堤人形 見立琴高仙人 江戸後期 1点 本出 C
- 8. 堤人形 衣通姫 江戸後期 1点 本出 C
- 9. 堤人形 猫抱き花魁 江戸後期 1点 本出 C
- 10. 堤人形 花車 江戸後期 1点 本出 C
- 11. 堤人形 道成寺 江戸後期 1点 本出 C
- 12. 堤人形 三味線弾き 江戸後期 1点 本出 C
- 13. 堤人形 石橋 江戸後期 1点 本出 C
- 14. 堤人形 敦盛 江戸後期 1点 足立孔 C
- 15. 堤人形 佐佐木高綱 江戸後期 1点 足立孔 C
- 16. 堤人形 唄稽古 江戸後期 1点 足立孔 C
- 17. 堤人形 夕涼み 江戸後期 1点 足立孔 C
- 18. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 本出 C
- 19. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 本出 C
- 20. 三春人形 打出小槌 江戸後期 1点 本出 C
- 21. 三春人形 春駒 江戸後期 1点 本出 C
- 22. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 本出 C
- 23. 三春人形 三味線持ち 江戸後期 1点 本出 C
- 24. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 本出 C
- 25. 三春人形 神功皇后と竹内宿禰 江戸後期 1点 本出 C
- 26. 三春人形 静御前と狐忠信 江戸後期 1点 本出 C
- 27. 三春人形 三番叟 江戸後期 1点 本出 C
- 28. 三春人形 白拍子 江戸後期 1点 本出 C
- 29. 三春人形 藤娘 江戸後期 1点 本出 C
- 30. 三春人形 道成寺 江戸後期 1点 本出 C
- 31. 三春人形 傘をさす女 江戸後期 1点 本出 C
- 32. 三春人形 花魁 江戸後期 1点 本出 C
- 33. 三春人形 武将 江戸後期 1点 本出 C
- 34. 三春人形 高砂 江戸後期 1点 本出 C
- 35. 三春人形 騎馬武者 江戸後期 1点 本出 C
- 36. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 本出 C

「芝居と東北の古人形」 11/11～11/30

- 1. 相良人形 静御前 江戸後期 1点 館蔵

- 2. 相良人形 口上 江戸後期 1点 館蔵
- 3. 相良人形 八重垣姫 江戸後期 1点 館蔵
- 4. 相良人形 勘平 江戸後期 1点 本出 C
- 5. 堤人形 勘平 江戸後期 1点 館蔵
- 6. 堤人形 顔世御前 江戸後期 1点 館蔵
- 7. 堤人形 勘平 江戸後期 1点 本出 C
- 8. 堤人形 石橋 江戸後期 1点 本出 C
- 9. 堤人形 弁慶 江戸後期 1点 本出 C
- 10. 堤人形 狐忠信 江戸後期 1点 本出 C
- 11. 堤人形 八重垣姫 江戸後期 1点 本出 C
- 12. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 本出 C
- 13. 堤人形 和藤内 江戸後期 1点 本出 C
- 14. 堤人形 静御前 江戸後期 1点 本出 C
- 15. 堤人形 八重垣姫 江戸後期 1点 個人蔵
- 16. 三春人形 春駒 江戸後期 1点 本出 C
- 17. 三春人形 藤娘 江戸後期 1点 本出 C
- 18. 三春人形 道成寺 江戸後期 1点 本出 C
- 19. 三春人形 義経 江戸後期 1点 本出 C
- 20. 三春人形 和藤内 江戸後期 1点 本出 C
- 21. 三春人形 弁慶 江戸後期 1点 本出 C
- 22. 花巻人形 斧定九郎 江戸後期 1点 本出 C
- 23. 花巻人形 大星由良之助 江戸後期 1点 本出 C
- 24. 花巻人形 片岡伝五右衛門 江戸後期 1点 本出 C
- 25. 花巻人形 義経 江戸後期 1点 本出 C
- 26. 花巻人形 顔世御前 江戸後期 1点 本出 C
- 27. 花巻人形 和藤内 江戸後期 1点 本出 C
- 28. 浮世絵 豊原国周画 歌舞伎座所作事 道成寺
明治23年 大判3枚続 大宮司 C
- 29. 浮世絵 豊原国周画 源義経〔市川団十郎〕・
静御前〔岩井半四郎〕・狐忠信〔尾上菊五郎〕
明治14年 大判3枚続 大宮司 C
- 30. 浮世絵 豊原国周画 五常軍甘輝〔市川左団次〕・
和藤内三官〔河原崎権之助〕・甘輝妻錦祥女〔岩井半四郎〕・
鄭芝龍一官妻〔中村翫雀〕 明治5年 大判3枚続 大宮司 C
- 31. 浮世絵 豊原国周画 仮名手本忠臣蔵 第十一段目大切
両国橋引揚之図 明治3年 大判3枚続 大宮司 C
- 32. 浮世絵 豊原国周画 武田勝頼〔沢村田之助〕・
八重垣姫〔中村芝翫〕・濡衣〔沢村訥升〕
慶応2年 大判3枚続 大宮司 C

茶道具

「茶道具など」 2/11～5/25

- 1. 割木瓜形水指 備前焼 1合 館蔵
- 2. 白磁桜形向付 有田焼 江戸中期 5口 伊文
- 3. 白磁印花飛鳥文鉢 定窯白磁 北宋～金 1口 ゴトウ C

「冬の茶道具」 11/11～11/30

- 1. 短檠 江戸後期 1基 伊文
- 2. 孔雀座簞 江戸 館蔵

3. 七草鳴鶴因時絵茶箱銘「太郎月」 蒔絵：松立齋 江戸後期
1合 館蔵

浮世絵

「幕末・明治の錦絵58」 2014.2/18～6/8

1. 当世五人女 溪斎英泉画 文化12～天保13年 竪大判1枚
和泉 C
2. 梅がはる 三代歌川豊国画 嘉永年間 大判3枚続
大宮司 C
3. 初春の賑ひ かん菊や娘おたの・三筋の権治・橋の羽左八・
イ菱の芝蔵・九字菱の彦三 歌川国明画 文久元年
大判3枚続 大宮司 C
4. 絵巻物五十四帖 花散里 二代歌川国貞画 文久2年
大判3枚続 大宮司 C
5. 風俗三十二相 かいたさう 嘉永年間おかみさんの風俗
月岡芳年画 明治21年 竪大判1枚 阿部次郎 C
6. 徳川時代貴婦人之図 お花見 橋本周延画 明治
大判3枚続 山谷 C
7. 宇治川大合戦 歌川国芳画 天保年間 大判3枚続
大宮司 C
8. 仁田四郎忠常、富士の人穴中に竜女と出会うの図
歌川国芳画 弘化年間 大判3枚続 大宮司 C
9. 一名奥州浄瑠璃源氏十二段 橋本貞秀画 弘化年間
大判3枚続 大宮司 C
10. (文明四年八月二日、山崎の合戦において細川勝元、
山名宗全に勝利する図) 橋本貞秀画 嘉永年間
大判3枚続 大宮司 C
11. (上杉・武田直接対決にて山本勘助勇戦ののち討死の図)
橋本貞秀画 嘉永年間 大判3枚続 大宮司 C
12. 土左衛門伝吉〔松本幸四郎〕・八百やお七〔岩井兼三郎〕・小
性の吉三〔岩井紫若〕 歌川国貞画 文政9年 大判3枚続
大宮司 C
13. あそ次郎〔坂東三津五郎〕・みゆき〔沢村田之助〕・
こし元〔中村松江〕 歌川豊国画 (文化13年) 大判3枚続
大宮司 C
14. 片岡仁左衛門の此下東吉久吉・沢村田之助の狩野の雪姫・
坂東彦三郎の松永大膳久秀・沢村訥升の狩野之助直信・
坂東亀蔵の佐藤虎之助正清 歌川芳虎画 文久2年
大判3枚続 大宮司 C
15. 笹野権三〔河原崎権十郎〕・助太夫娘八重梅〔沢村田之助〕・
白井権八〔坂東彦三郎〕 二代歌川国貞画 文久3年
大判3枚続 大宮司 C
16. 当世高名鑑 上杉謙信〔市川団十郎〕・和田正行〔中村芝翫〕
豊原国周画 明治15年 大判3枚続 阿部次郎 C
17. 魚づくし ひらめ・めばる 歌川広重画 天保年間
横大判1枚 阿部次郎 C
18. 魚づくし 鮑・さより 歌川広重画 天保年間
横大判1枚 阿部次郎 C

19. 魚づくし かながしら・木の葉かれい 歌川広重画
天保年間 横大判1枚 阿部次郎 C
20. 魚づくし こち 歌川広重画 天保年間 横大判1枚
阿部次郎 C
21. 忠孝仇討図会 合法ヶ辻 歌川広重画 弘化・嘉永年間
竪大判1枚 阿部次郎 C
22. 五節句の異名 弥生 歌川広重画 弘化・嘉永年間
竪大判1枚 阿部次郎 C
23. 狐に三日月 小林清親画 明治 横大判1枚 和泉 C
24. 柘榴に葡萄 小林清親画 明治 横大判1枚 和泉 C

「幕末・明治の錦絵59」 6/10～9/7

1. 龍宮玉取姫之図 歌川国芳画 嘉永6年 大判3枚続
和泉 C
2. 文治三年奥州高館合戦 白衣川白竜昇天 歌川芳艶画
安政4年 大判3枚続 大宮司 C
3. 和漢百物語 入雲龍公孫勝 月岡芳年画 慶応元年
竪大判1枚 大宮司 C
4. 局岩藤〔坂東彦三郎〕・中老尾上〔沢村訥升〕・
仕女おはつ〔沢村田之助〕 歌川豊国画 文久2年
大判3枚続 大宮司 C
5. 月雪花鈍画掛額 風神・お多福弁天・雷神 歌川豊国画
万延元年 大判3枚続 和泉 C
6. 通俗西遊記 羅刹女 月岡芳年画 元治元年 竪大判1枚
大宮司 C
7. 富士之人穴源究之図 年信Ⅱ画 明治18年 大判3枚続
阿部次郎 C
8. 破奇術頼光袴垂為擲 歌川芳艶画 安政5年 大判3枚続
大宮司 C
9. 水滸伝豪傑鏡 浪子燕青 歌川芳春画 安政3年
竪大判1枚 大宮司 C
10. 水滸伝豪傑鏡 花和尚魯智深 歌川芳春画 安政3年
竪大判1枚 大宮司 C
11. 小間物商才次郎 後々壱坊主秋心〔尾上菊五郎〕・
こし元小萩〔中村福助〕 豊原国周画 明治20年
大判3枚続 大宮司 C
12. 児雷也・大蛇丸・つなて 歌川豊国画 安政2年
大判3枚続 大宮司 C
13. 新形三十六怪撰 鬼若丸池中に鯉魚を窺ふ図 月岡芳年画
明治22年 竪大判1枚 館蔵
14. 新形三十六怪撰 節婦の霊瀧に掛る図 月岡芳年画
明治25年 竪大判1枚 大宮司 C
15. 今様美人 拾二景 両国橋 溪斎英泉画 文政年間
竪大判1枚 阿部次郎 C
16. 東都呉服屋三幅対 溪斎英泉画 文政元～天保13年間
竪大判1枚 阿部次郎 C
17. 沢むら曙山 歌川豊国画 文化後期 竪大判1枚 和泉 C
18. 両国夕涼ノ光景 歌川豊国画 嘉永期 大判3枚続
阿部次郎 C

19. 陸奥国千鳥のたま河 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続
大宮司 C
20. 山海遊覧之内光君飽取る図 歌川芳虎画 明治元年
大判3枚続 大宮司 C
21. 七曜之内 月 角田川の秋の月 楊洲周延画 明治29年
大判3枚続 大宮司 C
22. 東海道五拾三次(狂歌入) 二川 歌川広重画 天保年間
横中判1枚 林 C
23. 東海道五拾三次(狂歌入) 七山 歌川広重画 天保年間
横中判1枚 林 C
24. 東海道 十九(蔦吉版) 五十三次之内 江尻 歌川広重画
弘化~嘉永年間 横中判1枚 阿部次郎 C
25. 名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋 歌川広重画 安政4年
竪大判1枚 阿部次郎 C
26. 名所江戸百景 逆井のわたし 歌川広重画 安政4年
竪大判1枚 阿部次郎 C
27. 名所江戸百景 市中繁栄七夕祭 歌川広重画 安政4年
竪大判1枚 阿部次郎 C
28. 名所江戸百景 糺町一丁目山王祭ねり込 歌川広重画
安政3年 竪大判1枚 阿部次郎 C
29. 名所江戸百景 鉄炮洲稲荷湊神社 歌川広重画 安政4年
竪大判1枚 阿部次郎 C
30. 富士三十六景 伊豆の山中 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
- 「幕末・明治の錦絵60」 9/8 ~ 11/30
1. 富士三十六景 目録 歌川広重画 安政5年 竪大判1枚
阿部次郎 C
2. 富士三十六景 東都隅田堤 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
3. 富士三十六景 武蔵小金井 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
4. 富士三十六景 武蔵越がや在 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
5. 富士三十六景 東都飛鳥山 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
6. 富士三十六景 上総鹿楚山 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
7. 富士三十六景 武蔵多満川 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
8. 富士三十六景 東海道左り不二 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
9. 富士三十六景 駿河三保之松原 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
10. 富士三十六景 東都目黒夕日が岡 歌川広重画 安政5年
竪大判1枚 阿部次郎 C
11. 近江八景 粟津晴嵐 歌川広重画 安政5年 竪大判1枚
阿部次郎 C
12. 東海道 四十七(蔦吉版) 五十三次之内 関 歌川広重画
弘化~嘉永年間 横中判1枚 阿部次郎 C

13. 江戸名所 亀戸梅屋舗 歌川広重画 弘化~嘉永年間
横大判1枚 阿部次郎 C
14. 江戸名所 よし原仲の町桜の紋日 歌川広重画 天保年間
横大判1枚 阿部次郎 C
15. 東都名所 あすかやま花盛 歌川広重画 天保年間
横大判1枚 阿部次郎 C
16. 江戸名所之内 隅田堤雨中之桜 歌川広重画 天保年間
横大判1枚 阿部次郎 C
17. 東都名所 亀戸藤花 歌川広重画 天保年間 横大判1枚
阿部次郎 C
18. 新形三十六怪撰 蘭丸蘇鐵之怪ヲ見ル圖 月岡芳年画
明治35年 竪大判1枚 大宮司 C
19. 三国志長坂橋の図 歌川国芳画 嘉永5年 大判3枚続
大宮司 C
20. 通俗三国志之内 仲達孔明図 歌川国芳画 嘉永5年
大判3枚続 大宮司 C
21. 太平記兵庫合戦 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続大宮司 C
22. 水滸伝俳優鏡 百八人ノ内 花和尚魯智深 市川米升
歌川国貞II画 慶応元年 竪大判1枚 阿部次郎 C
23. 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番続之内1 歌川国芳画
文政10年頃 竪大判1枚 大宮司 C
24. 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番続之内2 歌川国芳画
文政10年頃 竪大判1枚 大宮司 C
25. 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番続之内3 歌川国芳画
文政10年頃 竪大判1枚 大宮司 C
26. 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番続之内4 歌川国芳画
文政10年頃 竪大判1枚 大宮司 C
27. 奴小まん〔尾上梅幸〕・庄兵衛〔中村歌右衛門〕
歌川豊国画 文化12年 大判2枚続 阿部次郎 C
28. 正木庄三郎・人形屋幸右衛門・東間三郎右衛門・
伊織妻染ノ井・早瀬源治郎 歌川豊国画III画 安政元年
大判3枚続 大宮司 C
29. 仕丁次郎又・しづの女おむら・善吉夢の姿 歌川豊国画III画
安政元年 大判3枚続 大宮司 C
30. 玉やの嫁おえん・出村新兵衛・三国小女郎・玉屋新兵衛
歌川豊国画III画 安政元年 大判3枚続 大宮司 C
31. 葛の葉狐 市川団十郎 月岡芳年画 明治24年
大判3枚続 谷山 C
32. 大久保彦左衛門 盃登城の場〔市川団十郎〕 豊原国周画
明治26年 大判3枚続 大宮司 C

※ No.19 ~ 32は9/8 ~ 9/25展示

コレクション展示室II

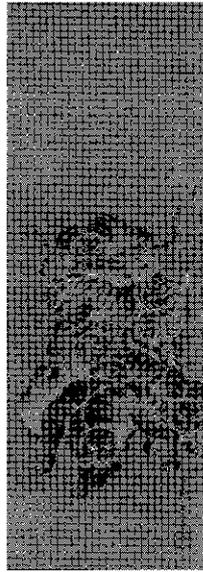
「小池曲江の絵画」2014.4/22 ~ 5/25

1. 松に綬帯鳥図 松林山人筆 江戸後期 1幅 館蔵
2. 白鷺図 小池曲江筆 寛政6年 1幅 ゴトウ C
3. 孔雀図 小池曲江筆 寛政10年 1幅 石原 C
4. 孔雀図屏風 小池曲江筆 享和3年 6曲1双 館蔵
5. 孔雀図 小池曲江筆 寛政6年 1幅 館蔵

- 6. 蘭亭曲水図 小池曲江筆 文化4年 1幅 亀田兵治 C
- 7. 武陵桃源図 小池曲江筆 文政10年 1幅 館蔵
- 8. 羅漢に龍図 小池曲江筆 天保8年 1幅 館蔵
- 9. 塩竈松島図巻 小池曲江筆 文化7年 1巻 館蔵

「菊田伊洲の絵画」 2014.5/27～6/22

- 1. 蝶図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 佐藤明 C
- 2. 虎図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治 C



2. 虎図 菊田伊洲筆

- 3. 魁星図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵
- 4. 南蛮屏風(南蛮人交易図) 菊田伊洲筆 江戸後期 6曲1双 館蔵
- 5. 江戸藩邸芝口上屋敷庭園図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 伊文
- 6. 入船図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵
- 7. 雨中山水図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治 C
- 8. 漁楽図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵

国連防災世界会議開催記念特別展示「DAIMYOー仙台藩と伊達家の名品」 2015.3/14～3/18、3/28～4/12

総合展示室

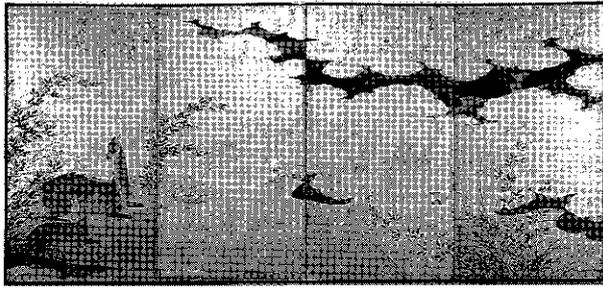
- 1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡(下層) 後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
- 2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡(下層) 後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
- 3. 石刃 上ノ原山遺跡(上層) 後期旧石器後半(2.0～1.5万年前) 1点 仙台市教委
- 4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡(上層) 後期旧石器後半(2.0～1.5万年前) 3点 仙台市教委
- 5. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡(上層) 後期旧石器後半(2.0～1.5万年前) 4点 仙台市教委
- 6. スクレイパー 上ノ原山遺跡(上層) 後期旧石器後半(2.0～1.5万年前) 4点 仙台市教委

- 7. 両面加工石器(楕円形状) 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
- 8. 籠状石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
- 9. 籠状石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
- 10. 多縄文系土器片(絡糸体圧痕文・口縁部) 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委
- 11. 多縄文系土器片(縄文圧痕文・口縁部) 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委
- 12. 縄文土器深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
- 13. 縄文土器浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 14. 縄文土器注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 15. 革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 16. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 17. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 18. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 19. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 20. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 21. 把手状裝飾付深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
- 22. 石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
- 23. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 24. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 25. 石鏃 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
- 26. 鹿角製釣り針 大野田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 27. 鹿角製鉋 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
- 28. 鹿角製鉋 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
- 29. 土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
- 30. 軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
- 31. 磨製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
- 32. 打製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 33. 足付石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 34. 凹み石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
- 35. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
- 36. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
- 37. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
- 38. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点 仙台市教委
- 39. ハート形土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
- 40. 土偶片 大野田遺跡 縄文後期前葉 12点 仙台市教委
- 41. 鍛冶沢遺跡出土土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
- 42. イノシシ形土製品 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
- 43. 鳥頭形突起付土器片 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
- 44. 弥生土器壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
- 45. 弥生土器高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
- 46. 弥生土器甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委

47. 竖杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点	仙台市教委	83. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
48. 竖杵未製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点	仙台市教委	84. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
49. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	85. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
50. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	86. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
51. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	87. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
52. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	88. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
53. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	89. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
54. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	90. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
55. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	91. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
56. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	92. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
57. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	93. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
58. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	94. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
59. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	95. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
60. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	96. 小玉(小) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 40点	仙台市教委
61. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	97. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
62. ミニチュア土器 遠見塚古墳 古墳前期 5点	仙台市教委	98. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
63. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点	仙台市教委	99. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
64. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点	仙台市教委	100. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
65. 人物埴輪 原遺跡 5C後半 1点	仙台市教委	101. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
66. 円筒埴輪 大野田1号墳 5C後半 1点	仙台市教委	102. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
67. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点	仙台市教委	103. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
68. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡(26次) 5C後半 1点	仙台市教委	104. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
69. 材木列塚のクリ材 郡山遺跡 7C末～8C前半 2点	仙台市教委	105. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
70. 土師器環(在地) 郡山遺跡 8C初頭 1点	仙台市教委	106. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
71. 土師器環(畿内産) 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委	107. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
72. 土師器環(関東系) 郡山遺跡 7C中葉 1点	仙台市教委	108. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
73. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委	109. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
74. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委		
75. 関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委		
76. 関東系土器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委		
77. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委		
78. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委		
79. 須恵器長頸瓶 茂ヶ崎横穴1号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委		
80. 須恵器大甕 茂ヶ崎横穴3号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委		
81. 須恵器平瓶 茂ヶ崎横穴20号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委		
82. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委		

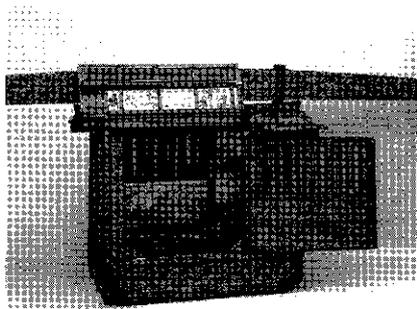
110.	偏行唐草文軒平瓦	陸奥国分寺跡	奈良	1点	仙台市教委	155.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
111.	宝相華文軒丸瓦	陸奥国分寺跡	平安	1点	仙台市教委	156.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
112.	連珠文軒平瓦	陸奥国分寺跡	平安	1点	仙台市教委	157.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
113.	刻印瓦「物」	陸奥国分尼寺跡	奈良～平安	1点	仙台市教委	158.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
114.	刻印瓦「丸」	陸奥国分尼寺跡	奈良～平安	1点	仙台市教委	159.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
115.	刻印瓦「伊」	陸奥国分尼寺跡	奈良～平安	1点	仙台市教委	160.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
116.	刻印瓦「占」	陸奥国分尼寺跡	奈良～平安	1点	仙台市教委	161.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
117.	墨書土器「佛」	陸奥国分尼寺跡	平安	1点	仙台市教委	162.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
118.	墨書土器「講院」	国分寺東遺跡	平安	1点	仙台市教委	163.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
119.	水煙片	陸奥国分寺跡	奈良	1点	東北大学文学部	164.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
120.	棟平瓦	与兵衛沼窯跡	平安	1点	仙台市教委	165.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
121.	棟平瓦	与兵衛沼窯跡	平安	1点	仙台市教委	166.	短刀(拵付)	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
122.	鬼瓦	与兵衛沼窯跡	平安	1点	仙台市教委	167.	短刀	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
123.	鬼瓦	与兵衛沼窯跡	平安	1点	仙台市教委	168.	鎌	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
124.	常滑・大甕	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	169.	馬具(轡)	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
125.	在地・小壺	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	170.	馬具(轡)	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
126.	在地・片口鉢	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	171.	板碑	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
127.	古瀬戸・合子	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	172.	板碑	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
128.	古瀬戸・仏花瓶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	173.	板碑	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
129.	瀬戸美濃・天目茶碗	洞ノ口遺跡	大窯Ⅲ期	1点	仙台市教委	174.	木製五輪塔	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
130.	中国・青磁碗	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	175.	地藏菩薩木像	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
131.	中国・青磁碗	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	176.	呪符木簡	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
132.	中国・青磁皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	177.	洪武通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
133.	中国・青磁皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	178.	洪武通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
134.	中国・青白磁合子	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	179.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
135.	中国・青白磁梅瓶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	180.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
136.	中国・青白磁梅瓶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	181.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
137.	中国・白磁・四耳壺	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	182.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
138.	中国・白磁・壺	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	183.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
139.	中国・白磁・小坏	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	184.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
140.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	185.	永楽通寶	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
141.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	186.	錢種不明	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委
142.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	187.	鬼瓦	東光寺遺跡	中世	1点	仙台市教委
143.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	188.	鬼瓦	東光寺遺跡	中世	1点	仙台市教委
144.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	189.	木造不動明王立像	鎌倉	1体		陸奥国分寺
145.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	190.	木造毘沙門天立像	鎌倉	1体		陸奥国分寺
146.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	191.	木造十二神将立像のうち寅神	鎌倉	1体		陸奥国分寺
147.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	192.	木造十二神将立像のうち申神	鎌倉	1体		陸奥国分寺
148.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	193.	伊達祖宗画像(伊達家歴代画真)	長谷川養辰筆			
149.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委		享保9年	1面			伊文
150.	土師質土器・皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	194.	重要文化財 塵芥集	村田本	天文5年4月14日	1冊	
151.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委						伊文
152.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	195.	伊達晴宗画像(伊達家歴代画真)	長谷川養辰筆			
153.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委		享保9年	1面			伊文
154.	土師質土器・小皿	洞ノ口遺跡	中世	1点	仙台市教委	196.	晴宗公采地下賜録	天文22年	1冊		伊文
						197.	伊達輝宗画像(伊達家歴代画真)	長谷川養辰筆			
							享保9年	1面			伊文
						198.	織田信長書状 伊達(輝宗)殿(天正元年)12月28日				
							1通				伊文
						199.	伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆	江戸初期	1幅		伊文

200.	放駒の陣貝 桃山 1具	伊文		241.	枇杷文指樽 江戸後期 1対	増子征氏寄贈
201.	伊達政宗書状 宛所不明(天正18年6月14日) 1幅	伊文		242.	論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊	尚文館C
202.	徳川家康領知覚書 大崎少将(伊達政宗)宛 慶長5年8月22日 1巻	伊文		243.	書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊	安倍謙一氏寄贈
203.	伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅	伊文		244.	論語 天保15年手写カ 1冊	阿部次郎C
204.	仙台城修復窺候絵図 宝永4年9月7日 1鋪	伊澤C		245.	水滴 江戸後期 3点	館蔵
205.	江戸幕府老中奉書 寛文13年9月15日 1通	伊文		246.	大舜命契図 東東洋筆 江戸後期 1幅	伊文
206.	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵(本丸広間部分) 江戸 1巻	館蔵		247.	河図図 東東洋筆 文化14年 1幅	館蔵
207.	櫓図屏風 慶長15年 2曲1隻	館蔵		248.	林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊	尚文館C
208.	扇面図屏風 慶長15年 6曲1双のうち1隻	伊文		249.	漢土加留多 18C 6枚	藤塚家資料
209.	金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振	館蔵		250.	阿蘭陀加留多 18C 2枚	藤塚家資料
210.	金製ブローチ 江戸初期 1点	館蔵		251.	アイヌの煙草入れ(胴乱・腰籠) 18C 1点	藤塚家資料
211.	懐中鏡 江戸初期 1面	館蔵		252.	世界之図 林子平筆写 安永4年 1鋪	中村C
212.	煙管 江戸初期 2本	館蔵		253.	三國通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊	猪苗代弼氏寄贈
213.	鉛筆 江戸初期 2点	館蔵		254.	仏語訳三國通覧図説 クラプロート訳 1832年刊 1冊	館蔵
214.	美濃伊賀矢筈水指 17C前半 1点	仙台市教委		255.	海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊	館蔵
215.	九曜紋軒丸瓦 17C 1点	仙台市教委		256.	林子平辞世拓本 江戸後期 1幅	中村C
216.	五七桐紋軒丸瓦 17C 1点	仙台市教委		257.	環海異聞(写本) 大概玄沢・志村弘強著 天保4年	館蔵
217.	金箔押菊丸瓦 17C前半 1点	仙台市教委		258.	瓦版「蒸気船之図」 江戸後期 1枚	館蔵
218.	仙台城絵図 江戸中期 1幅	館蔵		259.	伊達慶邦意見書控 伊達慶邦 嘉永6年7月 1綴	伊文
219.	花樹に貝尽し蒔絵調度 伝 香の前所用 江戸前期 1式	館蔵		260.	アメリカ船石巻渡来図巻一 江戸末期 1巻	館蔵
220.	門窓繋春日野蒔絵見台 江戸中期 1基	館蔵		261.	アメリカ船員を描いたスケッチ 安政2年 4面のうち2面	阿部次郎C
221.	萌黄綾地葛に鯉模様小袖 伝 浦江の局所用 江戸後期 1領	館蔵		262.	玉蟲左大夫肖像 庄子勇筆 大正 1面	玉蟲諠氏寄贈
222.	貞山公治家記録(慶長津波部分) (慶長16年10月28日~11月3日) 1冊	館蔵		263.	英単語帳 玉蟲左大夫筆 江戸末期 1冊	玉蟲諠氏寄贈
223.	義山公治家記録(慶安元年7月13日) 1冊	館蔵		264.	航米日録 玉蟲左大夫筆 万延元年 1冊	玉蟲諠氏寄贈
224.	天明飢死図集 鈴木三伯 天明5年 1冊	館蔵		265.	曉斎百狂 どぶけ百万遍 河鍋曉斎画 元治元年 大版3枚続	阿部次郎C
225.	享和壬戌洪水記 鈴木三伯 享和2年 1帖	館蔵		266.	四天王鬼賊退治 江戸末期 2枚続	館蔵
226.	まびきの図 1点			267.	夏の夜虫合戦 慶応4年5月 2枚続	館蔵
227.	伊達氏重臣連署血判起請文 万治3年11月21日 1通	伊文		268.	むつの花 子供の戯 歌重 明治元年 大版3枚続	館蔵
228.	原田甲斐宗輔画像 1幅	個人蔵		269.	『日本一タウトの日記』一九三三 ブルーノ・タウト著、 篠田英雄訳(岩波書店刊) 1975年刊 合本1冊	笹間氏寄贈
229.	早苗鳥伊達聞書(パネル) 明治 1点			270.	松島図 ブルーノ・タウト筆 昭和8年 1枚	笹間氏寄贈
230.	伊達安芸宗重画像(三忠臣像から) 江戸後期 1幅	松川マサ氏寄贈		271.	照明具(昭和) 2基	館蔵
231.	伊達安芸宗重書状(子息宛)(寛文11年)3月26日 1通	個人蔵		272.	漆手板 玉虫塗・麥玉虫塗 産業工芸試験所東北支所制作 昭和30年 2枚	館蔵
232.	伊達の黒箱 江戸前期 1点	伊文		273.	伊達政宗書状 牟宇姫宛(元和7~8年頃カ) 1幅	個人蔵
233.	芭蕉の辻建物図 文政10年 1鋪	館蔵		274.	伊達政宗書状 牟宇姫宛(寛永8年11月カ) 6日 1幅	個人蔵
234.	明治元年現状仙台城市之図 熊耳耕年写 昭和10年写 1巻	館蔵		275.	江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆 寛政年間 1基	勝又紳一郎氏寄贈
235.	奥州仙台名所尽集 芭蕉の辻 江戸後期 1巻	三原良吉C		特集展示室「大名の美意識」		
236.	芭蕉の辻図(複製) 熊耳耕年画 近代 1面	三原良吉C		1. 萩に鹿図屏風 伊達政宗詩歌書き込み 寛永5年 4曲1双		
237.	芭蕉辻伊勢佐挑見世当図 曜斎国輝画 明治初期 3枚続	阿部次郎C		館蔵		
238.	芭蕉の辻の建物の瓦 近代 3点	館蔵				
239.	榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1双	阿部次郎C				
240.	徳利付蒔絵野弁当 江戸末期 1組	甲田C				



1. 秋に鹿図屏風

2. 菊花図屏風 伊達政宗詩歌書き込み 寛永5年 4曲1隻 館蔵
3. 伊達吉村画像 伊達吉村筆 江戸中期 1幅 伊文
4. 長松院(伊達吉村夫人)画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
5. 周茂叔愛蓮図 伊達吉村筆 江戸中期 1幅 伊文
6. 隣松集 伊達吉村筆 享保3年閏10月 7冊のうち 伊文
7. 六所玉河和歌御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文
8. 長齡石硯記 伊達吉村筆 享保4年11月 1巻 館蔵
9. 重要文化財 帯 三沢初子所用 黒緋子地梅文様帯 江戸前期 6筋のうち 伊文
10. 重要文化財 帯 三沢初子所用 白緋子地桔梗文様帯 江戸前期 6筋のうち 伊文
11. 重要文化財 帯 三沢初子所用 薄浅葱緋子地桔梗文様帯 江戸前期 6筋のうち 伊文
12. 浄眼院様御小袖入日記 正徳2年4月26日 1枚 伊文
13. 吉野懐紙 文禄3年2月29日 3巻のうち2巻 館蔵
14. 雲松院画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
15. 菱紋菊蒔絵耳盤・台輪 六代藩主伊達宗村夫人利根姫所用 江戸中期 1具 伊文
16. 観心院画像 土井利徳筆 江戸中期 1幅 伊文
17. 松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶 七代藩主伊達重村夫人惇君所用 江戸中期 1合 伊文
18. 信恭院画像 手戸盛之筆 江戸後期 1幅 伊文
19. 竹菱梅菱紋蒔絵女乗物 十代藩主伊達齊宗夫人鑑姫所用 江戸後期 1梃 館蔵



19. 竹菱梅菱紋蒔絵女乗物

テーマⅠ展示室「仙台藩の武器・武具」

1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山~江戸 1領 伊文



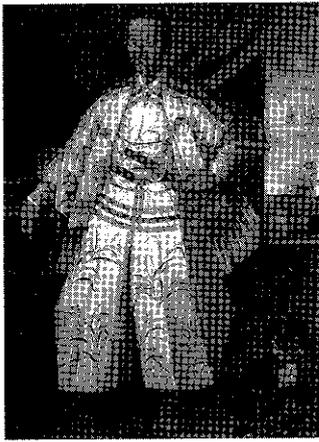
1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足

2. 黒漆五枚胴具足 伊達綱宗所用 江戸前期 1領 伊文
3. 金小札五枚胴具足 伊達吉村所用 江戸中期 1領 伊文
4. 紺糸威胴丸具足 伊達慶邦所用 元治2年 1領 伊文
5. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領 伊文
6. 紫羅背板地水玉模様陣羽織 江戸前期~中期 1領 伊文
7. 太刀 銘「宝寿」南北朝 1口 志村修氏寄贈
8. 刀 無銘(伝月山) 室町 1口 佐藤敬二郎氏寄贈
9. 剣 山城大掾藤原国包 寛永18年 1口 館蔵
10. 四十八間総覆輪筋兜 室町中期 1頭 伊文
11. 金塗軍配団扇 室町 1握 伊文
12. 白猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
13. 矢 江戸 3本 伊文
14. 水牛製胴乱 伊達政宗所用菅野重成拝領 江戸初期 1具 菅野壽男氏寄贈
15. 鼈甲製口薬入 伊達政宗所用菅野重成拝領 江戸初期 1具 菅野壽男氏寄贈
16. 朱漆雪薄紋鞍 伝伊達政宗所用 桃山 1組 伊文
17. 火繩銃「東雲」銃筒木田定幸作 江戸 1組

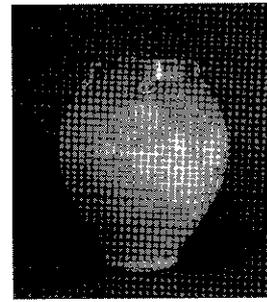
※ No.5は3/14 ~ 18展示

テーマⅡ展示室「慶長遣欧使節」

1. 支倉常長像(1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃 1面 館蔵
2. 草花文蒔絵螺鈿洋櫃 桃山 1口 館蔵
3. 鮫皮貼洋櫃 江戸初期 1口 館蔵
4. 草花鳥獸文蒔絵螺鈿書篋筒 桃山 1口 館蔵
5. 悲しみのマリア像 17C 1面 館蔵
6. 坤輿万国全図 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵
7. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
8. セピリア市宛伊達政宗書状(和文) ※複製 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵



1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写)



1. 白磁四耳壺

- 9. ローマ市街図 16C 末刊 1面 館蔵
- 10. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著 1615年刊 1冊 館蔵
- 11. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵
- 12. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 13. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 14. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文) ※複製 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 15. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文) ※複製 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 16. 支倉常長書状 ※複製 勘三郎宛 原本は元和4年(1618) 1幅 館蔵
- 17. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 18. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
- 19. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 20. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
- 21. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 22. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 23. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
- 24. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 25. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
- 26. 国宝 レリカロ 17C 1口 館蔵
- 27. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
- 28. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
- 29. 国宝 ローマ市公民権証書 1615年11月 1通 館蔵
- 30. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
- 31. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
- 32. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
- 33. 国宝 鏡 17C 1双・1隻 館蔵
- 34. 国宝 マント及びズボン 17C 2点1具 館蔵
- 35. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵

コレクション展示室 I

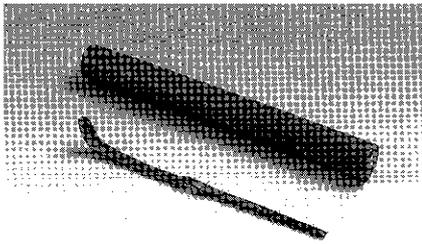
「館蔵のやきもの」

- 1. 白磁四耳壺 中国 唐時代(8C) 1口 ゴトウ C

- 2. 白磁印花飛鳥牡丹文鉢 中国 北宋~金(12C) 1口 ゴトウ C
- 3. 鏤絵山水図四方鉢 尾形乾山 宝永2年(1705) 1口 個人蔵
- 4. 染付山水文大皿 占伊万里(有田) 江戸(19C) 1口 伊文
- 5. 赤染茶碗 紫野真応大観(250世・1643-1708) 江戸前期(17~18C) 1口 佐藤宗鶴 C
- 6. 染付団龍菊流水文角皿 古伊万里(有田) 柿右衛門様式 江戸(17~18C) 2口 伊文
- 7. 染付唐子寿老人文德利 切込焼 江戸後期(19C) 1口 古賀 C
- 8. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 江戸後期(19C) 1口 個人蔵
- 9. 乾山写鶴文黒染茶碗 三浦乾也 19C 1口 新井田 C
- 10. 甕 埴焼 1点 館蔵
- 11. 甕 埴焼 1点 館蔵
- 12. 甕 埴焼 1点 館蔵
- 13. 酒甕 埴焼 1点 館蔵
- 14. 壺 埴焼 1点 館蔵
- 15. 壺 埴焼 1点 館蔵
- 16. 壺 埴焼 1点 館蔵

「茶道具」

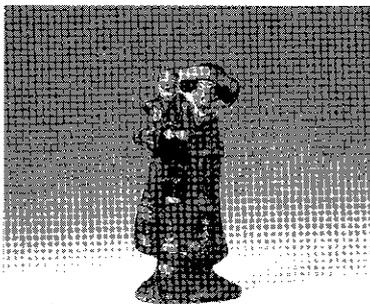
- 17. 赤染茶椀 銘「唐人」川上不自 江戸中期 1口 有井 C
- 18. 鶴時絵香合 室町 1合 伊文
- 19. 山水人物図水牛蓋置 江戸 1口 伊文
- 20. 白磁桜形向付 有田焼 江戸中期 5口 伊文
- 21. 茶杓箆筥 江戸中期 1基 伊文
- 22. 茶杓箆筥のうち 伊達政宗作茶杓 深樋 伊達政宗作 江戸前期 1本 伊文
- 23. 茶杓箆筥のうち 伊達忠宗作茶杓 逆樋 伊達忠宗作 江戸前期 1本 伊文
- 24. 茶杓箆筥のうち 伊達綱宗作茶杓 ごま竹 伊達綱宗作 宝永5年12月 1本 伊文
- 25. 茶杓箆筥のうち 伊達綱村作茶杓 白竹無景 伊達綱村作 江戸中期 1本 伊文
- 26. 茶杓箆筥のうち 伊達吉村作茶杓 鞍馬山竹 伊達吉村作 享保7年2月15日 1本 伊文
- 27. 茶杓箆筥のうち 伊達吉村作茶杓 広貝先 伊達吉村作 享保7年 1本 伊文



22. 茶杓箆筒のうち 伊達政宗作茶杓 深樋

「東北の古人形」

- | | |
|---------------------------|-------|
| 28. 三春人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 29. 三春人形 鯛乗り金太郎 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 30. 三春人形 太鼓打ち 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 31. 三春人形 相撲 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 32. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 33. 三春人形 雛 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 34. 三春人形 雛 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 35. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 36. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 37. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 38. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 39. 三春人形 五人囃子 小鼓 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 40. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 41. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 42. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 43. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 | 本出 C |



43. 堤人形 政岡

- | | |
|-----------------------|-------|
| 44. 堤人形 坐美人 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 45. 堤人形 雛 男雛 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 46. 堤人形 雛 女雛 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 47. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 48. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 49. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 50. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 51. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点 | 足立孔 C |
| 52. 花巻人形 雛 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 53. 花巻人形 雛 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 54. 花巻人形 小鼓 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 55. 花巻人形 衝立美人 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 56. 花巻人形 子守 江戸後期 1点 | 本出 C |

- | | |
|-------------------------|------|
| 57. 花巻人形 馬子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 58. 花巻人形 唐子 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 59. 花巻人形 花車 江戸後期 1点 | 本出 C |
| 60. 相良人形 雛 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 61. 相良人形 雛 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 62. 相良人形 地謡 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 63. 相良人形 小鼓 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 64. 相良人形 鯛かつぎ 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 65. 相良人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 66. 相良人形 鯛乗り 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 67. 相良人形 将棋乗り 江戸後期 1点 | 館蔵 |

「浮世絵」

- | | |
|--|--------|
| 68. 夜の梅 歌川国芳画 弘化期 大判3枚続 | 大宮司 C |
| 69. 夜の桜 歌川国芳画 弘化期 大判3枚続 | 大宮司 C |
| 70. 弥生之夜桜 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続 | 大宮司 C |
| 71. 忠国娘白縫・御曹司為朝 歌川国芳画 安政元年
大判3枚続 | 大宮司 C |
| 72. 市川升五郎・大谷馬平・市川海老蔵・岩井半四郎
歌川国芳画 天保期 大判3枚続 | 林 C |
| 73. 岩井半四郎のけわい坂の少将・坂東三津五郎の小林の朝日奈・
沢村訥升の五郎時宗 歌川国芳画 天保期 大判3枚続 | 大宮司 C |
| 74. 江戸名所 亀戸梅屋敷 歌川広重画 嘉永5～安政5年
横大判1枚 | 阿部次郎 C |
| 75. 東海道五十三次(狂歌) 石部 歌川広重画
天保11～嘉永4年 横中判1枚 | 林 C |
| 76. 東海道五十三次 十二 三島 歌川広重画 嘉永年間
横中判1枚 | 阿部次郎 C |
| 77. 東都名所 吉原仲の町桜之図 歌川広重画
天保11～嘉永4年 横大判1枚 | 阿部次郎 C |
| 78. 東都名所 新吉原 歌川広重画 天保11～嘉永4年
横大判1枚 | 阿部次郎 C |
| 79. 日本名勝図会 吉野山 小林清親画 竪大判1枚 明治30年
阿部次郎 C | |
| 80. 東京名所三十六戯撰 亀井戸 昇斎一景画 竪大判1枚
未詳 | 大宮司 C |
| 81. 坂東三津五郎の岩ふじ・岩井半四郎のおはつ・瀬川菊之丞の
おのへ 歌川豊国I画 文政期 大判3枚続 | 阿部次郎 C |
| 82. 東都御殿山花見之図 歌川豊国II画 文政末～天保前期
大判3枚続 | 阿部 C |
| 83. 赤沢甚内〔松本幸四郎〕・宇佐美市五郎〔中村芝翫〕・
菊のやの小万〔瀬川菊之丞〕 歌川国貞I画 文政11年
大判3枚続 | 大宮司 C |
| 84. 西国順礼実ハ景清〔市川团十郎〕・
ちちふ順礼実ハ重忠〔坂東三津五郎〕・
坂東順礼実ハ三保野〔岩井籙三郎〕 歌川国貞I画
文政10年 大判3枚続 | 阿部 C |

85. 局岩藤〔海老蔵〕・おはつ〔岩井杜若〕・
中老尾上〔市川団蔵〕 歌川国貞Ⅰ画 天保8年
大判3枚続 大宮司C
86. 當世五人女のうち 一 溪斎英泉画 竪大判1枚 未詳
和泉C
87. 當世五人女のうち 二 溪斎英泉画 竪大判1枚 未詳
和泉C
88. 子供踊尽 歌川国芳画 未詳 大判3枚続 和泉C
89. 花盛琴棋書画 落合芳幾画 元治元年 大判3枚続
大宮司C
90. 東名所隅田川 梅若之古事 月岡芳年画 明治16年
大判3枚続 大宮司C
91. 風俗三十二相 かいたさう 嘉永年間おかみさんの風俗
月岡芳年画 明治21年 竪大判1枚 阿部次郎C
92. 美人七陽花 従五位柳原愛子 月岡芳年画 明治11年
竪大判1枚 和泉C
93. 新吉原江戸町金瓶楼今紫座敷三曲之図 歌川芳虎画
明治4年 大判3枚続 大宮司C
94. 帝国議會賑之図 永島春暁画 明治23年 大判3枚続
大宮司C

コレクション展示室Ⅱ「仙台四大画家」

1. 柳に黑白図 東東洋筆 江戸後期 1幅 館蔵
2. 蘆間吹笛図 東東洋筆 江戸後期 1幅 館蔵
3. 鷹図 東東洋筆 文政12年 1幅 館蔵
4. 観音・龍虎図 東東洋筆 天保10年 3幅対 伊澤家C
5. 花鳥雜画卷 東東洋筆 文化3年 1巻 館蔵
6. 孔雀図 小池曲江筆 寛政6年 1幅 館蔵
7. 蘭亭曲水図 小池曲江筆 文化4年 1幅 亀田兵治C
8. 女三の宮図 小池曲江筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
9. 桐に鳳凰図 小池曲江筆 天保10年 1幅 館蔵
10. 鶯鳥図 菅井梅閑筆 文化9年 1幅 館蔵
11. 勝画楼望月・五大堂観日図 菅井梅閑筆 江戸後期 双幅
伊澤家C
12. 溪亭午翠図 菅井梅閑筆 天保元年 1幅 伊澤家C
13. 富嶽図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
14. 雨中山水図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
15. 虎図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C



6. 孔雀図 小池曲江筆

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに17館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
2. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
3. 重要文化財 太刀（銘備州長船住義光・建武四年十二月） 1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵
4. 重要文化財 瑞巖寺本堂障壁画 10面
宮城県 瑞巖寺蔵
5. 重要文化財 観瀾亭障壁画 檜楨図6面のうち2面
宮城県 松島町蔵

特別展・企画展

特別展

東日本大震災復興祈念・新潟県中越地震復興10年
「法隆寺 一祈りとかたち」

会 期 平成26年3月1日(土)～4月13日(日)

開催日数 25年度：26日間(3月1日～3月31日)

26年度：12日間(4月1日～4月13日)

合 計：38日間

観覧者数 25年度：19,038人(1日平均732人)

26年度：16,440人(1日平均1,370人)

合 計：35,478人(1日平均934人)

観 覧 料 一般1,300円(前売1,100円)、
高校・大学生1,000円、小・中学生600円
※10人以上の団体各100円引き、()内
は前売り料金

主 催 「法隆寺一祈りとかたち」仙台展実行委
員会(仙台市博物館、河北新報社、T B
C東北放送)、法隆寺

後 援 毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、
仙台リビング新聞社、NHK 仙台放送局、
仙台放送、ミヤギテレビ、KHB 東日本
放送、Date fm、ラジオ3 FM76.2、IBC
岩手放送、テレビユー山形、テレビユー
福島

監 修 水野敬三郎氏(東京藝術大学名誉教授・
新潟県立近代美術館名誉館長)

特別協力 朝日新聞社

協 力 日本通運、塩竈港運送

特別協賛 清月記

協 賛 大伸社、富士通

法隆寺は、天智天皇9年(670)の落雷により全焼したと『日本書紀』に記されており、その再建には約40年を要した。その間、金堂中央には釈迦三尊像、東の間には薬師如来像と聖徳太子に関わる仏像が安置され、同寺は太子信仰寺院としての性格を強めていく。以後、法隆寺は各時代を通じて多くの信仰を集め、1993年に日本で初めて世界文化遺産に登録された。

本展では、法隆寺が大火災から復興して1300年を迎える歴史を踏まえ、法隆寺宝物をはじめとする様々な美術品を一堂に紹介した。また、岡倉天心以

来、宝物の保存と継承に携わってきた東京藝術大学(東京美術学校)関係者が同寺へ奉納した絵画や工芸品をあわせて展示した。

なお、本展は仙台市博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟県立近代美術館の3会場で開催する巡回展であり、当館が最初の会場であった。

展示構成

第1部：美と信仰—法隆寺の仏教美術

第2部：法隆寺と東京美術学校

第3部：法隆寺と近代日本美術

印刷物

ポスター B2判 1,800枚、B3判 770枚

チラシ A4判 130,000枚

割引券 150,000枚

図録 A4判(共通) 216ページ



A4チラシ

展示資料目録

* ●は国宝、◎は重要文化財、■は秋田県指定文化財

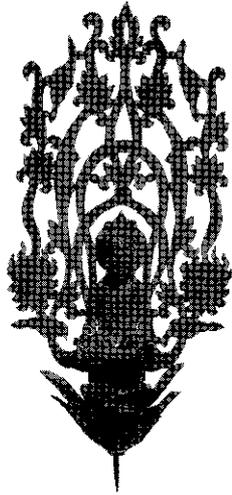
* 所蔵の記載のないものはすべて法隆寺蔵

特別出品 壁画片 法隆寺若草伽藍跡出土 飛鳥（7世紀）

13点

1. 美と信仰—法隆寺の仏教美術

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. ◎菩薩立像 飛鳥（7世紀） | 1 軀 |
| 2. 鑄出如来三尊像 飛鳥（7世紀） | 1 面 |
| 3. ◎天人（金堂天蓋附属）飛鳥（7世紀） | 1 軀 |
| 4. ◎鳳凰（金堂天蓋附属）飛鳥（7世紀） | 1 軀 |
| 5. 持国天立像 飛鳥（7世紀） | 1 軀 |
| 6. 多聞天立像 飛鳥（7世紀） | 1 軀 |
| 8. ◎阿弥陀三尊像 奈良（8世紀） | 3 軀 |
| 9. ●地藏菩薩立像 平安（9世紀） | 1 軀 |

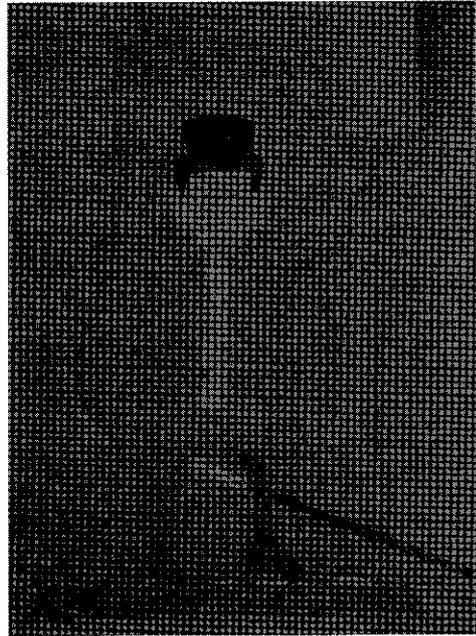


3. ◎天人（金堂天蓋附属）



9. ●地藏菩薩立像

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 13. ◎薬師如来坐像 平安（12世紀） | 1 軀 |
| 14. ◎観音菩薩立像（伝金堂阿弥陀来脇侍） 鎌倉 貞永3年 | 1 軀 |
| 15. 聖徳太子立像（二歳像）鎌倉（14世紀） | 1 軀 |
| 16. ◎聖徳太子立像（孝養像）鎌倉（14世紀） | 1 軀 |
| 17. ◎舞楽面 平安～鎌倉（10～13世紀） | 5 面 |
| 18. ◎法華曼荼羅 平安（12世紀） | 1 幅 |
| 19. 聖徳太子像（水鏡御影） 鎌倉（14世紀） | 1 面 |
| 20. 聖徳太子四天王図 鎌倉～南北朝（14世紀） | 1 幅 |
| 21. 飾金具（金堂天蓋付属） 飛鳥（7世紀） | 2 枚 |
| 22. 灌頂幡垂飾 飛鳥（7世紀） | 2 連 |
| 23. 獅子鎮柄香炉 奈良（8世紀） | 1 柄 |
| 25. ◎金銅鉢 奈良（8世紀） | 1 口 |
| 26. 響銅香水壺 奈良（8世紀） | 1 口 |
| 27. 響銅鉢 奈良（8世紀） | 3 口 |
| 28. 響銅皿 奈良（8世紀） | 1 口 |
| 29. ◎布薩水瓶 鎌倉～南北朝（14世紀） | 1 口 |
| 30. 文櫃木厨子 奈良（8世紀） | 1 基 |
| 31. ◎布薩手洗 南北朝 建武5年 | 1 口 |
| 35. 黄地平絹幡（戊子年銘） 飛鳥 持統天皇2年 | 1 旒 |
| 36. 綾幡足残欠 飛鳥～奈良（7～8世紀） | 4 条 |
| 37. 幡足残欠 飛鳥～奈良（7～8世紀） | 6 条 |
| 38. 百万塔・陀羅尼 奈良（8世紀） | 5 基 |



19. 聖徳太子像（水鏡御影）

2. 法隆寺と東京美術学校

40. ◎星曼荼羅 平安(12世紀) 1幅
41. ◎五尊像 鎌倉(13世紀) 1幅
44. ◎聖徳太子勝鬘經講讃図 鎌倉(13世紀) 1面
45. 釈迦十六羅漢図 鎌倉(14世紀) 1幅
46. 不動明王二童子像 鎌倉(14世紀) 1幅
47. ◎蓮池図 鎌倉(13世紀) 2曲1隻
48. 阿弥陀三尊像 鎌倉～南北朝(14世紀) 1幅
49. 赤童子像 南北朝～室町(14～15世紀) 1幅
50. ◎十六羅漢図 鎌倉(13世紀) 8曲1双のうち1隻
51. 聖徳太子像(摂政像) 森鳳聲 大正15年 1軀
52. 聖徳太子像(摂政像) 高村光雲 昭和2年 1軀
54. 聖徳太子像(摂政像) 平櫛田中 彫刻 前田青邨 彩色
昭和36年 1軀
55. 定胤和上像 高村光雲 昭和5年 1軀
56. 華籠 牧光弘 大正10年 1枚
57. 華瓶 香取秀真 昭和15年 2口
58. 火舎 香取秀真 昭和15年 1口
59. 如意 清水南山 大正10年 1柄
60. 香合 清水南山 昭和8年 1口
61. 香合 六角紫水 大正10年 1口
62. ■法隆寺金堂壁画模写 鈴木空如 昭和7年～昭和11年頃
5幅 大仙市
63. 法隆寺金堂壁画模写 第6号大壁(阿弥陀浄土図)部分
阿弥陀如来像:新井政明、勢至菩薩像:高橋新三郎、
観音菩薩像:藁谷実 昭和57年度 3面 台東区

3. 法隆寺と近代日本美術

65. 聖徳太子像 安田靫彦 大正9年 1幅
67. 聖徳太子図 菊池契月 制作年不詳 1幅
静嘉堂文庫美術館
69. 上宮皇子 安村行雲 明治43年 1幅
東京藝術大学大学美術館
70. 来迎 武井輝三 大正6年 3幅 東京藝術大学大学美術館
72. 山背王入滅図 生田花朝 昭和初期 1幅
75. 聖徳太子像 大村西崖 明治26年 1軀
東京藝術大学大学美術館
76. 聖霊会行列図 文豊 大正10年 1幅
77. 法隆寺夢殿 中川紀元 昭和8年頃 1面 中野美術館
79. 法隆寺夕景図(法隆寺暮色) 平塚運一 昭和17年 1面
81. 夢殿桜 中庭煖華 昭和27年 2曲1隻 個人蔵
82. 残照 後藤純男 昭和47年 1面 東京国立近代美術館
85. 観世音菩薩 荒井寛方 昭和19年頃 1幅 栃木県立美術館
86. 観世音菩薩 太田聰雨 昭和30年頃 1幅 宮城県美術館
87. 炎上 吉岡堅二 昭和51年 1面 東京国立近代美術館

※番号は展示図録によるものであり、記載のない作品は当館では
展示していない。

東日本大震災復興支援特別展

「サントリー美術館 おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」

会 期 平成26年4月26日(土)～6月1日(日)

開催日数 33日間

観覧者数 16,572人(1日平均502人)

観 覧 料 一般・大学生600円、
高校生300円、小・中学生無料

主 催 東日本大震災復興支援特別展「おもしろ
びじゅつワンダーランド in 東北」実行
委員会(仙台市博物館、サントリー美術
館)

共 催 河北新報社

後 援 毎日新聞仙台支局、朝日新聞社仙台総局、
読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、
仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本
放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2

本展覧会はサントリーグループの東日本大震災復興支援活動の一環として行ったものであり、サントリー美術館と仙台市博物館が共同で開催したものである。

日本の美術をもっと身近に感じていただきたいという思いから、「花見」「賑わい」「吉祥文様」などをテーマに、サントリー美術館が所蔵する日本美術の優品45件を展示し、デジタル技術を取り入れて、より親しみやすい展覧会となるよう試みた。

コンピューター・グラフィクスを使って作品の中に入り込み、デジタル動画を楽しんだり、タブレット端末を使って、鍋島の器をデザインしたりするなど、デジタル技術とアナログ技法を融合させた参加・体験型の展示構成であった。

中学生以下を無料観覧とし、被災地の小学生を対象にバスツアーを実施するなど、子どもたちへの支援プログラムも実施した。

観覧者からは参加・体験型の展示を通して、日本美術を楽しく鑑賞することができたと好評であった。

展示構成

第I章 お花見へようこそ!「花下遊楽図屏風」

第II章 「お花見」グッズを探せ!

第III章 ネズミだって宴会大好き「鼠草紙絵巻」

第IV章 ダンス!ダンス!ダンス!「舞踊図」

第V章 五艘船に乗ってみよう!

第VI章 鍋島のデザインに挑戦!

印刷物

ポスター B2判 1,500枚、B3判 500枚

チラシ A4判 90,000枚

展示マップ A3版2つ折り 25,000部



B2ポスター

関連行事

(1) 記念講演会

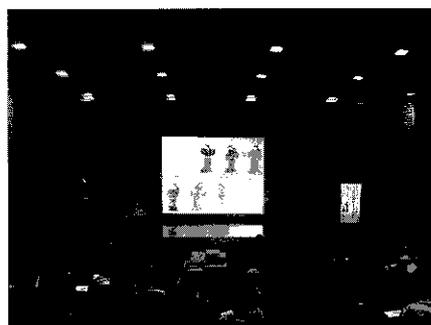
「なるほどびじゅつ講座

—吉祥文様のルーツを探る—」

5月17日(土) 13:30～14:30

博物館ホール 参加115人

講師: 柴橋大典氏(サントリー美術館学芸員)



記念講演会

(2) 親子向けワークショップ

「屏風をつくろう！」

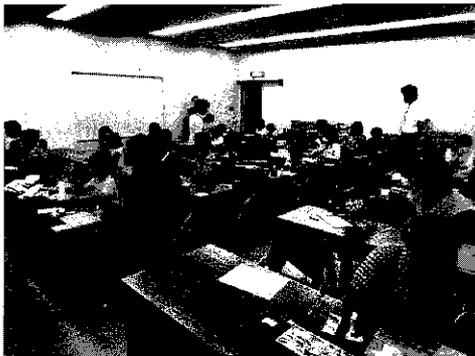
5月31日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加42人

(子ども24人、保護者18人)



屏風の鑑賞



屏風の製作

(3) プレイミュージアムイベント

「おもしろゾートロープづくり」

4月26日(土)～6月1日(日)

プレイミュージアム 参加1,039人

(子ども843人、大人196人)

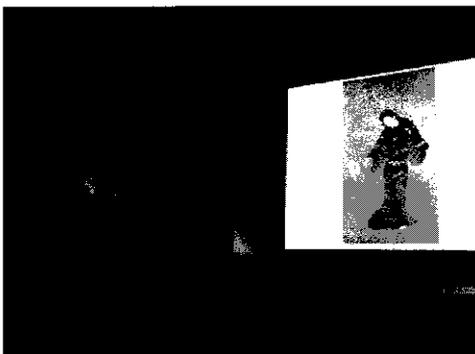
(4) 友の会広報セミナー

5月12日(月) 参加84人

(5) ミュージアムセミナー

4月26日(土)、4月30日(水) 実施

参加 39人(教員32人、ボランティア7人)



ミュージアムセミナーの様子



ミュージアムセミナーの様子

(6) 被災校支援プログラム

① 東六郷小学校 4月28日(月) 実施

参加 28人(児童20人、引率教諭8人)

ゾートロープづくりを体験後、特別展、常設展を見学。

② 荒浜小学校 5月1日(木) 実施

参加 5人(児童3人、引率教諭2人)

特別展、常設展を見学後、仙台城跡まで案内。

③ 中野小学校 5月22日(木) 実施

参加 38人(児童35人、引率教諭3人)

ゾートロープづくりを体験後、特別展、常設展を見学。

④ 東松島市立赤井小学校 5月27日(火) 実施

参加 68人(児童63人、引率教諭5人)

ゾートロープづくりを体験後、特別展、常設展を見学。



ゾートロープづくりの様子



見学の様子

(7) 各種団体・学校等への展示解説 9件

参加 427人

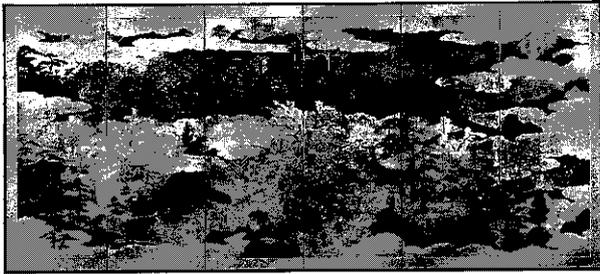
展示資料目録

*◎は重要文化財、○は重要美術品

*所蔵の記載のないものはすべてサントリー美術館蔵

1 お花見へようこそ！「花下遊楽図屏風」

1. 花下遊楽図屏風 天木宗仲 桃山（17世紀） 6曲1双



1. 花下遊楽図屏風（右隻） 天木宗仲筆

2 「お花見」グッズを探せ！

2. 御所車桜蒔絵提重 江戸（19世紀） 1具
3. 紫陽花橋螺鈿蒔絵重箱 江戸（17世紀） 1具
4. 切子蓋付三段重 江戸切子 江戸（19世紀） 1組
5. 亀貝尽螺鈿蒔絵盃・鴛鴦波螺鈿蒔絵盃台 永田友治 江戸（18世紀） 1具
6. 切子三ツ組盃・盃台 江戸切子 江戸（19世紀） 1組
7. 色絵菊文透盃台 尾形乾山 江戸（18世紀） 1口
8. 朱漆塗盃 江戸（18～19世紀） 5口
9. 縹蒔絵德利 江戸（17世紀） 1合
10. 菊秋草蒔絵德利 江戸（17世紀） 2合
11. 色絵梅枝垂桜文德利 京都・古清水（御菩薩） 江戸（18世紀） 1口
12. 色絵松竹梅文六角德利 京都・古清水 江戸（18世紀） 1口
13. 薩摩切子藍色被栓付瓶 薩摩切子 江戸（19世紀） 1合
14. 薩摩切子藍色被脚付杯 薩摩切子 江戸（19世紀後半） 1組
15. 桐紋蒔絵膳 桃山（16世紀末） 1基
16. 桐紋蒔絵七重椀 桃山（16～17世紀） 1組（7口）
17. 鈴虫蒔絵湯桶 江戸（17世紀） 1口
18. 葡萄栗鼠菓鶏沈金太鼓樽 桃山（16世紀） 1基
19. 牡丹沈金八角食籠 江戸（17世紀） 1合
20. 縹螺鈿蒔絵六角食籠 桃山（17世紀） 1具
21. 桜蒔絵三味線 江戸（19世紀） 1棹
22. 団扇蒔絵小鼓胴 弥左衛門銘 江戸（16～17世紀） 1丁
23. 神楽蒔絵小鼓胴 江戸（17世紀） 1丁
24. 管絃蒔絵小鼓胴 江戸（17～18世紀） 1丁
25. 織部南蛮人燭台 美濃 桃山（17世紀） 1基

3 ネズミだって宴会大好き「鼠草紙絵巻」

26. 鼠草子絵巻 室町（16世紀） 5巻のうち第3巻

4 ダンス！ダンス！ダンス！「舞踊図」

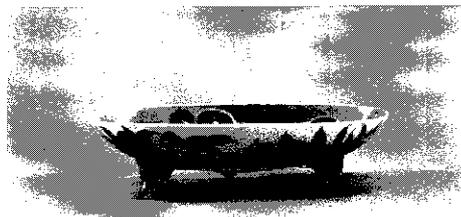
27. ○舞踊図 江戸（17世紀） 6面

5 五艘船に乗ってみよう！

28. ◎色絵五艘船文独楽形大鉢 備前・有田 江戸（18世紀） 1口

6 鍋島のデザインに挑戦！

29. ◎染付松樹文三足大皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
30. 染付雲雷文大皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
31. 色絵梅流水文大皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
32. 色絵石榴文大皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
33. 色絵桜柴垣文大皿 備前・鍋島藩窯 江戸（18世紀） 1枚
34. 色絵組紐文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
35. 薄瑠璃染付花文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17世紀） 1枚
36. 色絵毘沙門亀甲文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
37. 色絵椿文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
38. 青磁染付七壺文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
39. 色絵糸巻文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
40. 色絵南天文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 5枚のうち1枚
41. 色絵龍田川文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
42. 色絵蒲公英文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
43. 色絵牡丹文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚
44. 染付唐花文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17世紀） 1枚
45. 色絵唐花文皿 備前・鍋島藩窯 江戸（17～18世紀） 1枚



29. ◎染付松樹文三足大皿 備前・鍋島藩窯

東日本大震災復興祈念特別展

「奈良・国宝 室生寺の仏たち」

会 期 平成26年7月4日(金)～8月24日(日)
前期：7月4日(金)～7月27日(日)
後期：7月29日(火)～8月24日(日)

開催日数 45日間

観覧者数 76,812人(1日平均1,707人)

観 覧 料 一般1,400円(前売1,200円)、
大学・高校生1,100円、小・中学生700円
※10人以上の団体各100円引き

主 催 大本山室生寺、「奈良・国宝室生寺の仏たち」実行委員会(仙台市博物館、日本経済新聞社、河北新報社、仙台放送)

後 援 文化庁、宮城県、宮城県教育委員会、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2、福島テレビ、岩手めんこいテレビ、さくらんぼテレビ

協 賛 セコム、大伸社、日本製紙、杜の都信用金庫

協 力 あいおいニッセイ同和損害保険、飛鳥園、岡村印刷工業、金澤製作所、公益財団法人土門拳記念館、善衛商事、大光電機、ニコンイメージングジャパン

女人禁制とされた高野山に対し、古くから女性の信仰を受け入れてきた室生寺は、「女人高野」の名で知られている。その草創は奈良時代にさかのぼり、興福寺僧・賢璟による創建が伝えられている。その後、室生寺は天台宗・真言宗の影響を受けながら独自の信仰を集めた。

厳かなたたずまいを見せる平安仏や、五重塔や金堂といった国宝建築や弥勒堂などの重文建築が現存する境内も平安時代の伽藍の様子をそのままに伝えており、そうした室生寺の魅力は、写真家・土門拳に代表される多くの人々の心をとらえてきた。

1998年秋、この五重塔が台風で倒れた木によって大きな損傷を受けたが、全国の方々からの励ましを受けて修理が進められ、2000年に元の美しい姿を取り戻した。

本展は、こうした室生寺の歴史や修復の経緯をふ

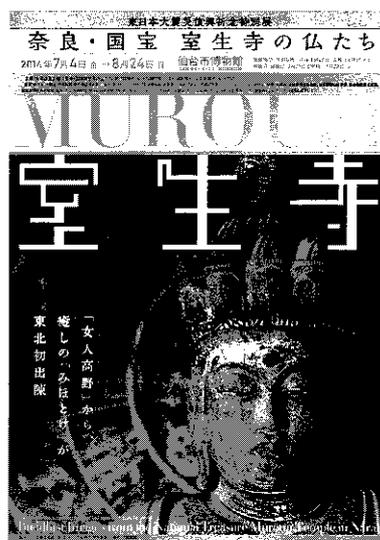
まえ、東日本大震災からの復興の一助となることを祈念して開催した。十一面観音菩薩立像(国宝)などの金堂の諸像や弥勒堂の釈迦如来坐像(国宝)をはじめ、室生寺にまつわる仏教美術の名品を展示した。

展示構成

- 第1室(プロローグ) 国宝・釈迦如来坐像と密教の室内空間
- 第2室 写真家の聖地—室生寺を見つめた写真家たち—
- 第3室 室生寺の信仰と寺宝
- 第4室 金堂の諸仏

印刷物

- ポスター B2判 1,830枚、B3判 720枚
- チラシ A4判 140,000枚
- 割引券 183,000枚
- 図録 B5判 176ページ



B2ポスター

記念行事・関連行事

(1) 開会式・内覧会

7月3日(木) 16:30～18:00

参加157人



開会式の様子

(2) 記念講演会・トークショー

① 「仏像大使 みうらじゅんさん&いとうせいこうさん
トークショー」

7月4日(金) 18:00～19:00

博物館ホール 参加149人

講師：みうらじゅん氏(イラストレーター)

いとうせいこう氏(作家、クリエイター)

② 「室生寺の歴史と信仰—十一面観音とともに—」

7月5日(土) 13:30～14:30

博物館ホール・ロビー 参加319人

講師：網代智明氏(大本山室生寺座主)



記念講演会

③ 「室生寺の仏像と歴史」

7月19日(土) 13:30～15:00

博物館ホール・ロビー 参加252人

講師：井上一稔氏(同志社大学教授)

④ 「写真家の聖地 室生寺」

8月2日(土) 13:30～15:00

博物館ホール・ロビー 参加214人

講師：三好和義氏(写真家)

⑤ 「室生寺の歴史」

8月3日(日) 13:30～14:30

博物館ホール・ロビー 参加208人

講師：小田修史氏(大本山室生寺執事長)

(3) しろ・まち講座

「展覧会のみどころ 室生寺の仏たちを中心に」

7月12日(土) 13:30～15:00

博物館ホール・ロビー 参加249人

講師：酒井昌一郎(当館学芸員)

(4) ミュージアムセミナー

7月5日(土)

参加57人(教員44人、ボランティア13人)

7月9日(水)

参加26人(教員18人、ボランティア8人)

(5) 友の会広報セミナー

7月7日(月) 参加158人



展示風景

(6) 各種団体・学校等への展示解説

18件 参加635人

展示資料目録

*●は国宝、◎重要文化財、■は県指定文化財

*所蔵の記載のないものはすべて室生寺蔵

1. 密教の伝統と秘宝

1-1 いにしえの室生寺

1. ◎一山図 鎌倉 建治3年(1277)(正和3年〔1314〕写)
1枚 前期 称名寺蔵、神奈川県立金沢文庫保管

2. ◎一山図 鎌倉(13～14世紀) 1枚 後期
称名寺蔵、神奈川県立金沢文庫保管

3. ◎一山年分度者奏状(大和国司解文) 鎌倉
承平7年(937)(正安3年〔1301〕写) 1帖 通期
称名寺蔵、神奈川県立金沢文庫保管

4. ◎室生山仏隆寺鐘銘 鎌倉 貞観5年(863)
(建保4年〔1216〕写) 1通 通期
称名寺蔵、神奈川県立金沢文庫保管

5. 一秘記 江戸 寛文11年(1671) 1巻 通期

6. 室生寺縁起 江戸 延享4年(1747)頃 1巻 通期

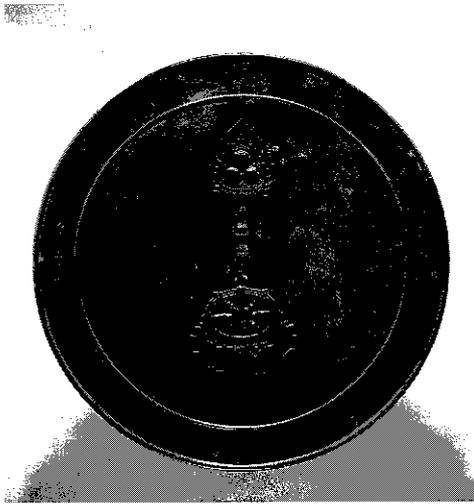
7. 「弘法大師空海坐像」版木 江戸(17～19世紀) 1枚 通期
室生寺蔵(拓本は元興寺文化財研究所蔵)

8. 「如意宝珠・善女龍王像・弘法大師空海像」版木
江戸(17～19世紀) 1枚 通期
室生寺蔵(拓本は元興寺文化財研究所蔵)

9. 「和州室生山之図」版木 江戸(17～19世紀) 1枚 通期
室生寺蔵(拓本は元興寺文化財研究所蔵)

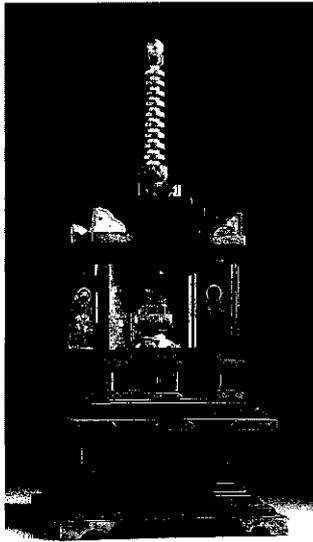
1-2 室生寺の舎利信仰

10. ◎大神宮御正体 鎌倉 弘安11年(1288) 1面 通期



10. ◎大神宮御正体

11. ■宝篋印塔形舎利厨子 室町(16世紀) 1基 通期
 12. 持蓮華形舎利容器 桃山 天正19年(1591) 1柄 通期
 13. 如意宝珠曼荼羅 室町(16世紀) 1幅 前期



11. ■宝篋印塔形舎利厨子



13. 如意宝珠曼荼羅

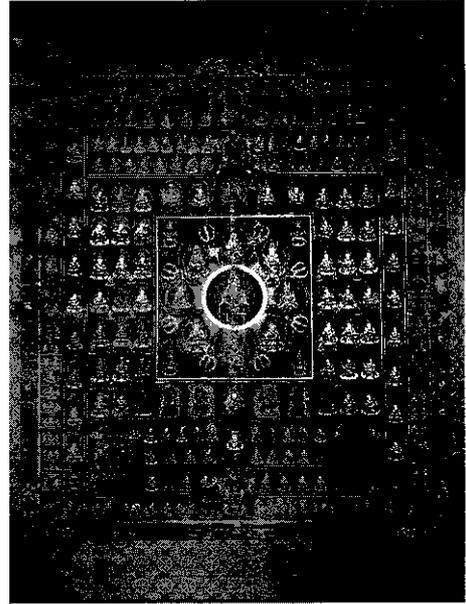
14. 善女龍王像 鎌倉(14世紀) 1幅 後期
 15. 楞塔 室町(15世紀) 37,387基のうち27基 通期

1-3 さまざまな寺宝と仏画

16. 紺紙金字大般若経 卷第五百五 平安(12世紀) 1卷 通期
 17. 大般若経 鎌倉(13世紀) 595帖のうち1帖 通期
 18. 釈迦三尊十六善神図 鎌倉(14世紀) 1幅 前期
 19. 弥勒菩薩像 中国・元(14世紀) 1幅 後期
 20. 鬼面独結杵 鎌倉(13世紀) 1口 通期
 21. 華鬘 室町(15世紀) 11面のうち1面 通期
 22. 釣燈籠 桃山 慶長4年(1599) 1基 通期
 23. 南蛮屏風 江戸(17世紀) 6曲1隻 通期

2. 伝法灌頂の儀式

24. 両界曼荼羅 室町(15世紀) 2幅 前期:胎蔵界、後期:金剛界



24. 両界曼荼羅のうち胎蔵界曼荼羅

25. ◎両部大壇具 鎌倉(14世紀) 華形大壇2基、金銅法具2具 前期:胎蔵界、後期:金剛界
 26. ◎磬(両部大壇具付属) 鎌倉(14世紀) 2面 通期
 27. ■真言八祖像 鎌倉(14世紀) 8幅のうち4幅 前後期各4幅
 28. 十二天像 室町(16世紀) 12幅 前後期各6幅



27. ■真言八祖像のうち 空海

3 変化自在の十二神将

29. ◎十二神将立像 鎌倉（13世紀） 12軀 通期

4 厳かな慈悲の諸仏

30. ●釈迦如来坐像 平安（9世紀） 1軀 通期

31. ◎地藏菩薩立像 平安（10世紀） 1軀 通期

32. ◎薬師如来立像 平安（10世紀） 1軀 通期

33. ◎菩薩立像（伝文殊菩薩像） 平安 10世紀 1軀 通期

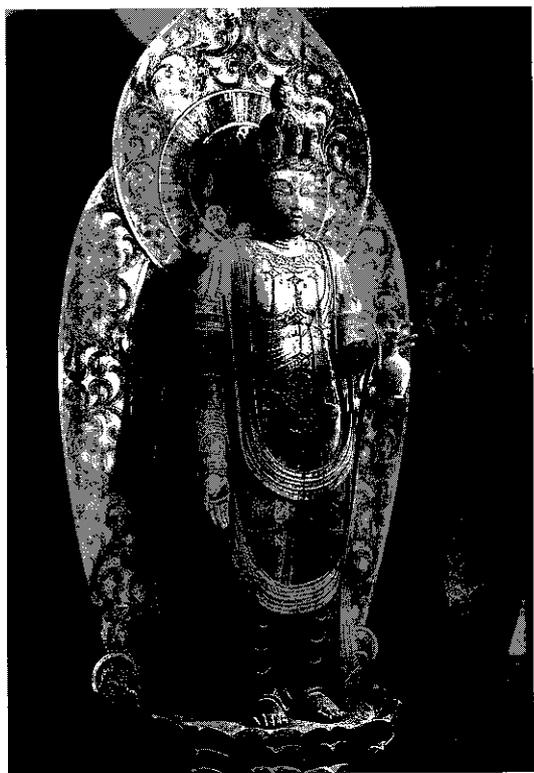
5 美と慈愛の化身—十一面観音菩薩

34. ●十一面観音菩薩立像 平安（9-10世紀） 1軀 通期



29. ◎十二神将立像のうち未神

29. ◎十二神将立像のうち午神



34. ●十一面観音菩薩立像



30. ●釈迦如来坐像

特別展

「樹木礼賛

—日本絵画に描かれた木と花の美—

- 会 期 平成26年 9月26日(金)～11月9日(日)
前期：9月26日(金)～10月19日(日)
後期：10月21日(火)～11月9日(日)
- 開催日数 40日間
- 観覧者数 16,005人(1日平均400人)
- 観 覧 料 一般900円、高校・大学生500円、
小・中学生200円
※10人以上の団体各100円引き
- 主 催 仙台市博物館、文化庁
- 共 催 河北新報社、NHK仙台放送局
- 後 援 毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、
産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙
台支局、仙台リビング新聞社、TBC東
北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KH
B東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3
FM76.2

藩政時代より樹木が多く植えられた仙台は、明治時代以降「杜(森)の都」と呼ばれるようになった。この呼び名は市民の精神的バックボーンであり、対外的にも仙台のイメージとして浸透している。また仙台市は都市づくりの理念の一つとして緑化を推し進めている。「杜の都」が魅力ある呼び名として浸透し、また都市のあるべき未来像として肯定される土壌には、日本人が古来樹木に親しんできた歴史がある。本展覧会は、日本人と樹木の深い関わりや、日本人が育ててきた樹木の文化を、絵画の方面から捉えようとするものである。

樹木を描いた絵画作品は数多い。宗教絵画においては、信仰の対象として樹木が描かれてきた。一方、樹木は絵画の画面を構築する主要なモチーフとして配されることが多く、豪壮な様式を求められた桃山時代をはじめ、近世を通じて大画面絵画の主役として描かれている。また、樹木は美しい花や果実をつけ、鑑賞画の題材によくとりあげられて、日本の絵画史を華やかに彩ってきた。その多種多様さは人々の樹木を愛でる視線の豊かさを感じさせる。さらに各地の古木、名木、奇木を描いた浮世絵などにも、樹木を尊重する人々の文化を垣間見ることができる。

以上のような樹木を描いた作品によって、日本人が樹木をどう捉え、どう表現してきたのかを紹介し、仙台市民をはじめとする観覧者が、樹木に関わる文化への理解を深めるとともに、美しい木々の絵に囲まれて憩いのひと時を過ごせる機会とすべく、本展覧会を開催した。

幸い、各所蔵者のご協力のもと、長谷川等伯筆「松林図屏風」(東京国立博物館蔵)、円山応挙筆「雪松図屏風」(三井記念美術館蔵)をはじめとする名品の数々を展示することができ、好評をいただいた。



会場風景

展示構成

- 第1章 松林図屏風と雪松図屏風
- 第2章 樹木への信仰と絵画
- 第3章 樹木を描いた障屏画
- 第4章 多種多様な樹木の絵画
- 第5章 古木・名木を描いた絵画
- 第6章 樹木の魅力を表現する画家たち



A4 チラシ

印刷物

- ポスター B 2判 1,300枚、B 3判 150枚
- チラシ A 4判 68,000枚
- 割引券 140,000枚
- 図録 A 4判 144ページ
- リーフレット「杜の都のむかしといま」
A 4判四つ折 10,000部

関連展示

「杜の都のむかしといま」

会場 博物館ギャラリー

杜の都の成り立ちと仙台の古木・名木、及び仙台市の百年の杜づくりなどについてパネルで紹介した。

関連行事

(1) 記念講演会

「木を描く風景

—「松林図屏風」と「雪松図屏風」を中心に—

10月11日（土）13：30～15：00

博物館ホール 参加129人

講師：田沢裕賀氏

（東京国立博物館絵画・彫刻室長）



記念講演会

(2) しろ・まち講座

「日本絵画と樹木」

10月25日（土）13：30～15：00

博物館ホール 参加137人

講師：樋口智之（当館学芸室長）

(3) イベント

「木のネームプレートをつくろう」

9月27日（土）10：00～12：00

館庭 屋外特設会場

参加 子供9人 大人5人 計14人

※51頁参照

(4) ミュージアムセミナー

10月1日（水）参加 10人

10月4日（土）参加 38人

(5) 友の会広報セミナー

9月29日（月）参加103人

(6) 各種団体・学校等への展示解説

12件 参加600人

展示資料目録

*●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品、

■は県指定文化財、□は市指定文化財

第1章 松林図屏風と雪松図屏風

1. ●松林図屏風 長谷川等伯筆 桃山（16世紀）

6曲1双

東京国立博物館

2. ●雪松図屏風 円山応挙筆 天明6年（1786）頃 6曲1双

三井記念美術館



2. ●雪松図屏風（左隻） 円山応挙筆 三井記念美術館

第2章 樹木への信仰と絵画

3. ◎戒壇院厨子屏絵図像 平安（12世紀） 1巻

奈良国立博物館

4. ◎春日宮曼荼羅 鎌倉（13世紀） 1幅

南市町自治会

5. 春日鹿曼荼羅 鎌倉（13～14世紀） 1幅

奈良国立博物館

6. 春日鹿曼荼羅 南北朝（14世紀） 1幅

西城戸町自治会

7. 鹿島立神影図 南北朝～室町（14～15世紀） 1幅

春日大社

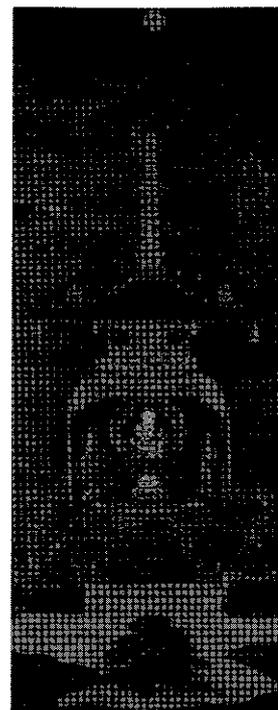
8. 春日若宮御祭礼絵巻 上巻 江戸（17世紀）

3巻のうち1巻

春日大社

9. 日吉山王宝塔曼荼羅 鎌倉（14世紀） 1幅

大谷大学博物館

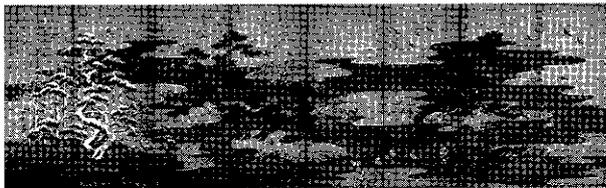


9. 日吉山王宝塔曼荼羅 大谷大学博物館

10. ◎日吉山王祭礼図屏風 桃山（16～17世紀）4曲1双
檀王法林寺
11. ■長谷寺縁起絵巻 第2巻・第3巻 大永3年（1523）
6巻のうち2巻 長谷寺
12. ◎桑実寺縁起絵巻 上巻 土佐光茂筆 享禄5年（1532）
2巻のうち1巻 桑実寺
13. 松下渡唐天神像 狩野元信筆 室町（16世紀）1幅
京都国立博物館
14. 渡唐天神像 石樵昌安筆 鉄山宗鈍賛 桃山（16世紀）
1幅 神奈川県立歴史博物館
15. ◎大道一以像 明兆筆 性海靈見賛 明德5年（1394）賛
1幅 奈良国立博物館
16. 洞水和尚福浦島長養図 荒川周良筆 天嶺性空賛
享保17年（1732）1幅 瑞巖寺
17. 松島塩竈図屏風 長谷川宗園筆 江戸（17世紀）
4曲・8曲1双 仙台市博物館

第3章 樹木を描いた障屏画

18. 秋冬花鳥図屏風 土佐派 室町（16世紀）4曲1双
サントリー美術館

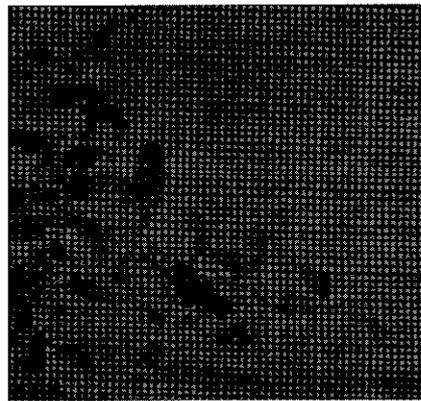


18. 秋冬花鳥図屏風 土佐派 サントリー美術館

19. ◎松図襖 伝狩野永徳筆 桃山（16世紀）4面 妙法院
20. ◎松に孔雀図襖 狩野左京筆 元和8年（1622）4面
瑞巖寺
21. 鳳凰青鸞図 江戸（17世紀）2幅 仙台市博物館
22. ◎松杉桜図襖のうち杉桜図 長谷川派 桃山（16～17世紀）
6面のうち2面 妙蓮寺
23. 四季花鳥図屏風 「州信」印 桃山（16～17世紀）
6曲1双 個人蔵
24. 山茶花図屏風 桃山（16～17世紀）6曲1隻
京都国立博物館
25. 柳橋水車図屏風 桃山（17世紀）6曲1双
京都国立博物館
26. □松に山鳥図襖（仙台城二の丸障壁画） 東東洋筆
文化6年（1809）4面 仙台市博物館

第4章 多種多様な樹木の絵画

27. 花鳥図 賢江祥啓筆 室町（15～16世紀）1幅
神奈川県立歴史博物館



27. 花鳥図 賢江祥啓筆 神奈川県立歴史博物館

28. 梔子に小禽図 狩野永徳筆 桃山（16世紀）1幅
京都国立博物館
29. 花木溪流図屏風 山本素軒筆 江戸（17～18世紀）
6曲1双 個人蔵
30. ○木連棕櫚図 渡辺始興筆 江戸（18世紀）双幅 文化庁
31. 桃花図 木村兼葭堂筆 宝暦7年（1757）1幅
神戸市立博物館
32. 仏手柑に綬帯鳥図 鶴洲筆 江戸（18世紀）1幅
神戸市立博物館



32. 仏手柑に綬帯鳥図 鶴洲筆 神戸市立博物館

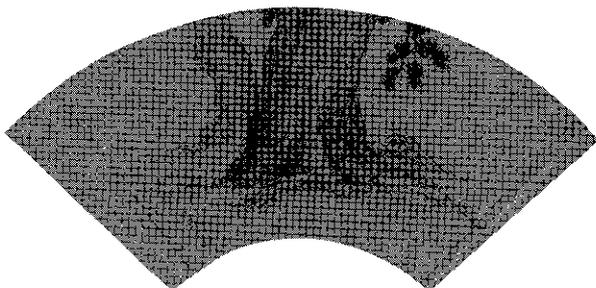
33. 枇杷金鳩図 董九如筆 天明4年（1784）1幅
神戸市立博物館
34. 松に綬帯鳥図 松林山人筆 江戸（18世紀）1幅
仙台市博物館
35. 海棠に白頭翁図 小池曲江筆 江戸（18～19世紀）1幅
甘柿舎コレクション
36. 孔雀図 小池曲江筆 寛政10年（1798）1幅
仙台市博物館

37. 柳に翡翠図 渡辺玄対筆 江戸(18~19世紀) 1幅
板橋区立美術館
38. 松にこぶし図 佐竹義躬筆 江戸(18世紀) 1幅
個人蔵(板橋区立美術館寄託)



38. 松にこぶし図 佐竹義躬筆 個人蔵
(板橋区立美術館寄託)

39. 老松図扇面 原在中筆 江戸(18~19世紀) 1幅 黄谷軒
40. 柏に鳩図 渡辺南岳筆 白井惟徳賛 江戸(19世紀) 1幅
黄谷軒
41. 雪中檜に小禽図 酒井抱一筆 江戸(19世紀) 1幅
細見美術館
42. 藤花図 鈴木其一筆 江戸(19世紀) 1幅 細見美術館
43. 朴に尾長鳥図 鈴木其一筆 江戸(19世紀) 1幅
細見美術館
44. 内裏雛図 狩野章信筆 文化6年(1809) 1幅
板橋区立美術館
45. 枇杷に小禽図 岡本秋暉筆 江戸(19世紀) 1幅
仙台市博物館
46. 木蓮図 海保青陵筆 江戸(18~19世紀) 1幅
黄谷軒



39. 老松図扇面 原在中筆 黄谷軒

第5章 古木・名木を描いた絵画

47. □櫛ヶ岡花見図屏風 江戸(18世紀頃) 6曲1隻
仙台市博物館
48. 松図 狩野岑信筆 江戸(17~18世紀) 1幅 個人蔵
49. 仙台領分名所手鑑 狩野典信筆 江戸(18世紀) 1帖
仙台市博物館
50. 居初郎天然図画亭真景図 明堂宗寛筆 享和元年(1801)
1巻 大津市歴史博物館
51. 西国名所紀行図 白雲筆 江戸(18世紀末~19世紀初め)
1帖 神戸市立博物館
52. 名所江戸百景 八景坂鎧掛松 歌川広重画
安政3年(1856)5月 1枚 神奈川県立歴史博物館
53. 名所江戸百景 浅草川首尾の松御殿河岸 歌川広重画
安政3年(1856)8月 1枚 神奈川県立歴史博物館
54. 名所江戸百景 綾瀬川鐘か淵 歌川広重画
安政4年(1857)7月 1枚 神奈川県立歴史博物館
55. 名所江戸百景 上野山内月のまつ 歌川広重画
安政4年(1857)8月 1枚 神奈川県立歴史博物館
56. 名所江戸百景 小奈木川五本まつ 歌川広重画
安政3年(1856)7月 1枚 神奈川県立歴史博物館
57. 名所江戸百景 王子装束系の木大晦日の狐火 歌川広重画
安政4年(1857)9月 1枚 神奈川県立歴史博物館
58. 富嶽三十六景 甲州三嵐越 葛飾北斎画
天保2~4年(1831~1833)頃 1枚
神奈川県立歴史博物館



58. 富嶽三十六景 甲州三嵐越 葛飾北斎画
神奈川県立歴史博物館

59. 東海道名所之内 田子浦蛇松 河鍋曉斎画
文久3年(1863)6月 1枚 神奈川県立歴史博物館
60. 木曾海道六拾九次之内 本山 歌川広重画
天保8年(1837)頃 1枚 神奈川県立歴史博物館
61. 木曾海道六拾九次之内 伏見 歌川広重画
天保8~10年(1837~1839)頃 1枚
神奈川県立歴史博物館
62. 近江八景 唐崎夜雨 土佐慶琢筆
江戸(18世紀) 1枚 大津市歴史博物館
63. 近江八景之内 唐崎夜雨 歌川広重画
天保5年(1834)頃 1枚 仙台市博物館
64. 近江八景 唐崎夜雨 歌川広重画
安政4年(1857)3月 1枚 大津市歴史博物館

65. 江州唐崎大明神一ツ松正面西向之図 長谷川等潤画
江戸（18世紀後半）1枚 大津市歴史博物館
66. 唐崎大明神一ツ松之図 福智白瑛画
江戸（19世紀前半）1枚 黄谷軒

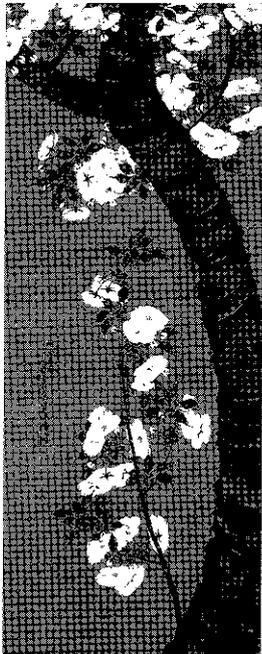
第6章 樹木の魅力を表現する画家たち

緑の画人—亜欧堂田善

67. 甲州猿橋之眺望 亜欧堂田善筆
文化年間（1804～1818）頃 1面 府中市美術館
68. 墨堤観桜図 亜欧堂田善筆 文化年間（1804～1818）頃
1面 個人蔵（府中市美術館寄託）
69. 三開雪景図 亜欧堂田善筆
寛政～文化年間（1789～1818）頃 1面
個人蔵（板橋区立美術館寄託）
70. 護持院ヶ原図 文化年間（1804～1818）頃 1面
東京国立博物館

「桜画」に生きる—三熊派の画人たち

71. 桜花蛙図 三熊思孝筆 江戸（18世紀）1幅
佐野コレクション
72. 八重桜図 三熊露香筆 石田俊泉賛 江戸（18世紀）1幅
佐野コレクション
73. 左近桜・廊間桜図 広瀬花隠筆 倉橋泰行・大原重成和歌詠
江戸（19世紀）双幅 佐野コレクション
74. 桐谷貞図 織田瑟々筆 文化4年（1807）1幅
佐野コレクション



74. 桐谷貞図 織田瑟々筆 佐野コレクション

75. 糸桜図 織田瑟々筆 文政4年（1821）1幅
佐野コレクション
76. 須磨桜貞図 織田瑟々筆 文政10年（1827）1幅
佐野コレクション

梅を愛した菅井梅関

77. 夜梅図 菅井梅関筆 江戸（19世紀）1幅 瑞巖寺



77. 夜梅図 菅井梅関筆 瑞巖寺

78. 古城朝鮮梅図 菅井梅関筆 江戸（19世紀）1幅
仙台市博物館
79. 雫城朝鮮古梅之図 菅井梅関筆 江戸（19世紀）1幅
仙台市博物館
80. 梅月図 菅井梅関筆 江戸（19世紀）1幅 仙台市博物館

住吉社の木々を描く—岡田半江

81. 住吉真景図巻 岡田半江筆 天保12年（1841）2巻 個人蔵

2. 資料の収集保管

受贈資料

平成26年度は12の個人及び団体から53件61点の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

鏡本智子／伊達政宗書状 土井利勝宛（軸装）／1件1幅

藤縄達夫／仙台城破損箇所見分絵図控／1件1綴

佐藤莊男／七ヶ宿絵図／1件1点

鈴木孚／後三年合戦絵詞 ほか／8件10点

近藤博則／切込焼／4件4点

猪苗代実／三浦乾也作徳利 ほか／3件4点

飯倉晴武／宝暦～安永年間仙台城下絵図 ほか／6件6点

佐々木誠勇／東国太平記 ほか／2件6冊

上杉幸雄／伊達政宗書状 某宛（額装）／1件1点

伊藤修平／伊達政宗書状 中島貞成宛 ほか／2件2点

熊耳重允／伊達政宗書状 保土原江南斎宛 ほか／2件2点

佐瀬昭亮／兎図 東東洋落款 ほか／22件23点

また上記のほか、仙台市建設局総務課より、覚範寺住職天野玄外書「河水千年の夢」1件1枚が移管された。

購入資料

本年度は1件1点の資料を購入した。

※資料名／数量の順に記載

厨子入准胝観音菩薩坐像／1軀

寄託資料

平成26年度、当館では111人8687件の寄託を受けた。

資料修理

平成26年度は40点の修理を行なった。

(1) 資料収納箱修理

青木木米「染付臥牛図香合」（伊達家寄贈文化財）

1合

(2) 裏打ち

宝暦～安永年間仙台城下絵図（飯倉晴武氏寄贈）

1鋪

(3) 太巻・桐箱製作

伊達政宗書状（笹氣光寿氏寄贈） 1幅

伊達政宗書状（高橋金之助氏寄贈） 1幅

伊達政宗書状（大石晃大氏寄贈） 1幅

伊達政宗書状（熊耳重允氏寄贈） 1幅

(4) 修理

木造十二神将立像のうち未神将像 室生寺蔵 1軀

(5) 浮世絵台紙貼り

歌川国芳画および月岡芳年画など 1枚物33点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害対策としては、以下のように(1)加害生物及び浮遊菌調査や(2)くん蒸による殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定

塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①平成26年8月19日～9月2日

②平成26年10月8日～22日

③平成26年12月17日～平成27年1月7日

④平成27年2月5日～19日

調査方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースAMPLERによる採集と培養による系統同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所に粘着トラップを設置。同じく25箇所においてエアースAMPLERを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等

のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

- 実施日：①平成26年5月23日～27日
②平成26年10月26日～30日
③平成26年12月9日～19日
④平成27年2月17日～20日
⑤平成27年3月24日～27日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

本年度は19館等に83件89点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

国立歴史民俗博物館／企画展示「歴史にみる震災」／江ノ島稚児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆等 2件2点／平成26年2月19日～5月20日

兵庫県立博物館・東京都江戸東京博物館・福岡市博物館／特別展「軍師官兵衛」／豊臣秀吉朱印状写（宣戦布告状）等 3件5点／平成26年2月26日～10月1日

東京都江戸東京博物館／特別展「大江戸と洛中～アジアの中の都市景観～」展／仙台城下図屏風 1件1点／平成26年2月26日～5月16日

サントリー美術館／特別展「のぞいてびっくり江戸絵画—科学の眼、視覚のふしぎ—」／夕陽人影長図 東東洋筆等 13件15点／平成26年3月14日～5月29日

渋谷区立松濤美術館／特別展「ねこ・猫・ネコ」／女三の宮図 小池曲江筆 1件1点／平成26年3月26日～5月21日

仙台市富沢遺跡保存館／企画展 仙台の遺跡③「焼きもの—の一大産地～古代の台原・小田原あたり」／堤人形 恵比寿等 5件5点／平成26年3月18日～6月24日

一関市博物館／テーマ展「郷土のかたな」／刀 安倫等 3件3点／平成26年4月4日～6月17日

宗鶴会／「故宗鶴先生十三回忌茶会」／丹頂舞九天

淡々斎筆等 17件17点／平成26年7月5日～7月6日

天童市美術館／企画展「天童城主 天童氏」展／貞山公治家記録巻十二 1件1点／平成26年8月3日～9月14日

一関市博物館／企画展「系譜—由緒を語る江戸時代—」展／伊達斉義画像等 14件14点／平成26年8月20日～11月5日

上越市立総合博物館／特別展「越後の都 高田と徳川家康の血族」／天麟院消息 伊達忠宗宛等 2件2点／平成26年9月9日～11月20日

神奈川県立歴史博物館／特別展「白絵—祈りと寿ぎのかたち—」／白絹地竹雀紋松竹梅鶴亀銀描絵小袖等 7件8点／平成26年9月16日～11月28日

大谷大学博物館／特別展「戦国武将と神仏」／毘沙門天像 伝濱田景隆所用等 7件8点／平成26年9月23日～12月4日

東京国立博物館／「日本国宝展」／支倉常長像等 2件2点／平成26年10月1日～12月11日

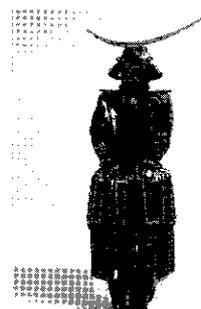
茨城県立歴史館／特別展「近世水戸の画人一奇人・十江と粹人・遷喬—」／鷲鳥図 菅井梅閑筆等 4件4点／平成26年10月3日～12月5日

福島県立博物館・東北歴史博物館／特別展「東日本大震災復興祈念 みちのくの観音さま 人に寄り添うみほとけ」／木造菩薩立像 十八夜観世音堂保存会蔵（寄託品） 1件1点／平成26年8月22日～平成27年3月21日

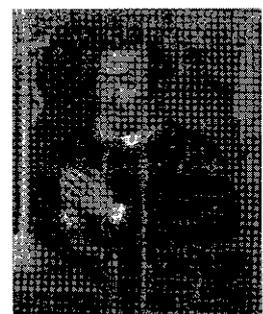
写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。申込は244件673点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ19回「国宝・ユネスコ記憶遺産 支倉常長像」はのべ37回の利用があった。



重要文化財 黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用



国宝・ユネスコ記憶遺産
支倉常長像

表2 収蔵資料一覧

平成27年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,077
石川治行コレクション	東北の陶磁器	17
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000 ◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537 ◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340 ◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥邃関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	255
小松家資料	仙台平等裂地	10
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079 ◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾、工芸	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343 ◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245 ◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	368
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,610
絵画	絵画	929
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	16,019

総計92,895点

(新規収蔵資料94点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)
 点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。
 ◇整理が完了した点数のみを記載。

表3 当館収蔵指定文化財一覧

国指定文化財(国宝)

平成27年3月31日現在

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産(平成25年6月19日登録)

国指定文化財(重要文化財)

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
考古資料	土偶/鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像 (狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図(東東洋筆)	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類(伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織(伊達重村所用)	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2箇 伊達忠宗作 2箇 伊達綱宗作 6箇 伊達綱村作 7箇 伊達吉村作 36箇 仙台藩主作 7箇 (以上茶杓箆筒入) 伊達忠宗作 1箇	61箇	昭和60年9月4日

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足 (伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱黻漆六枚胴具足 三宝荒形形兜付(伝上杉謙信所用)	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盃	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章(仙台藩歴代藩主所用)	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及統編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1口 糸巻太刀拵 1腰 黒漆葛蒔絵文箱 1合 青龍付文鎮(文箱内容品) 1点 墨(文箱内容品) 1挺 黒漆白梅蒔絵箱 1合 梨地菊蒔絵箱 1合 黒漆鉄線蒔絵香合 1合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1合 筆入(硯箱内容品) 1点 墨(硯箱内容品) 1挺 硯(硯箱内容品) 1面 水滴(硯箱内容品) 1点 梨地煙管箱 1合 煙管羅字(煙管箱内容品) 2点 梨地菊蒔絵印籠 1具 皮袋 1点 慶長1分金(皮袋内容品) 3枚 携帯用磁石(皮袋内容品) 1点 金製ブローチ(皮袋内容品) 1点 練玉(皮袋緒締) 1点 銀製服飾品 1点 円鏡 1点 毛拔 2点 雲母製菜板 5枚 葵紋金製菜板 1枚 金具 一括 残欠類 一括	一括	昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6~寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日

3. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 4月1日（火）～継続中
配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
H26	199人	18人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1人につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。



B2ポスター



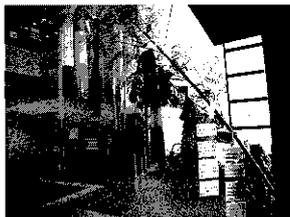
よろいシールの台紙

2. 博物館七夕祭り

平成26年7月8日（火）～8月17日（日）

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。短冊は、プレイミュージアムにて事前に来館者に願いを書いていたものを使用した。



七夕飾り展示

3. 仙台っ子歴史探検隊

仙台っ子歴史探検隊「伊達政宗を探検しよう！」

平成26年8月23日（土） 13:30～15:00

講習室・常設展示室 参加 14人

小学生4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。探検は、「展示室のクイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行った。

昨年度から、博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な研修として、館職員の指導のもと、博物館実習生に「クイズラリー」の運営を担わせている。

子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生をリーダーとしてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合ったり、実習生に相談にしたりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいを身に付けてみたり、気が付いたことをグループごとに発表したりするなど、楽しく活動する中でそれぞれの学びを深めていた。



クイズラリーの様子



よろい調べ

4. 親子体験イベント

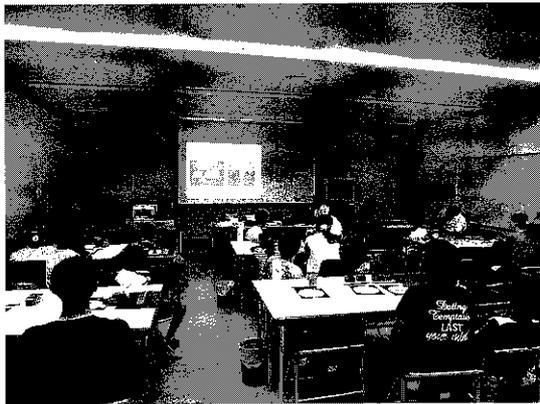
(1) 夏休み工作教室

「からくり玩具 おもしろゾートロープづくり」

平成26年7月26日(土) 10:00～12:00

講習室 参加30人(子供16人、大人14人)

小中学生を対象とした夏休みの工作教室を行った。今年度は「ゾートロープ」と呼ばれる、回転させると、絵柄がばらばらマンガのように動いて見えるからくり玩具を製作した。親子で協力しながら製作し、最後は皆で楽しく遊ぶ姿が見られた。



昔の玩具について学ぶ様子



親子でゾートロープを製作する様子

の後、子どもたちは保護者や学生サポーターと協力して樹木のネームプレートを作成し、それぞれの担当の樹木に結び付けた。

後半は、割りばし鉄砲をつくり、館庭に落ちている木の実やキノコなどの植物を的として活用し、的当てを楽しんだ。



館庭の樹木観察



ネームプレートを取り付ける様子

(2) 「木のネームプレートをつくろう」

平成26年9月27日(土) 10:00～12:00

館庭 屋外特設会場

参加 14人(子供9人、大人5人)

館庭(三の丸跡)の樹木名を書いた「ネームプレート」を製作し、樹木に結び付けることを通して、館周辺の自然に触れ、親しんでもらうことを目的に実施しているイベント。当日は学生サポーター3人(東北福祉大学2人、宮城学院女子大学1人)がイベントを補助した。

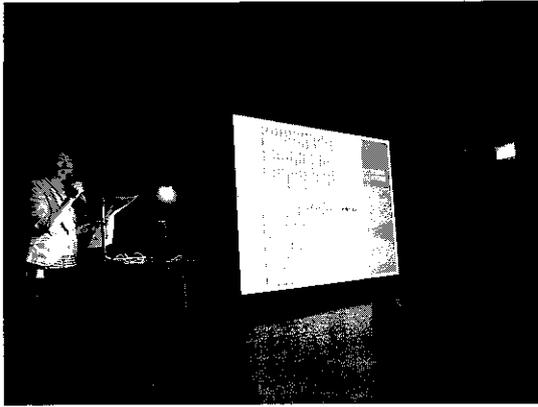
秋晴れの中、前半は館職員がプレートを取り付ける樹木について、散策しながら解説して周った。そ

5. しろ・まち講座20～22

仙台城や城下町仙台、仙台藩に関する話題や学芸員の研究成果を伝える「しろ・まち講座」を実施した。いずれも13:30～15:00、ホールで開催した。

表5 平成26年度 しろ・まち講座

No.	月日	講師・演題	参加者
20	6/14 (土)	水野沙織(当館学芸員) 「仙台藩の江戸屋敷～元禄時代の屋敷拝領事例を通して～」	193人
21	7/12 (土)	酒井昌一郎(当館学芸員) 「展覧会のみどころ 室生寺の仏たちを中心に」	190人
22	10/25 (土)	樋口智之(学芸室長) 「日本絵画と樹木」	137人



しろ・まち講座

6. 生涯学習推進（館内講師・館外講師派遣）

団体・機関などから依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書（館内・館外）」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況（館内・館外）については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表6 平成26年度館内外講師派遣状況

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説等	30件	1,155人
館外講師 ※市政出前講座も含む	23件	3,576人
合計	53件	4,731人

7. その他のイベント

平成26年11月9日（日）10：00～15：00

市役所前市民広場

生涯学習課より依頼を受け、「第11回仙台市PTAフェスティバル」に参加し、展示と体験コーナーのブースを設営した。展示はチラシやポスターによる館のイベントやSMMA、歴ネットの紹介を実施した。また、体験コーナーは「もんきり型で伊達家の家紋をつくろう」「政宗のかぶとをかぶってみよう」の2つを実施した。当日は学生サポーター3人（東北福祉大学2人、宮城学院女子大学1人）が体験活動を補助した。「もんきり遊び」体験コーナーは人気があり、子どもから大人まで製作を楽しんでいた。



PTA フェスティバル（かぶと着用体験）



PTA フェスティバル（もんきり遊び体験）

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（1人）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物の2種類がある。当室では前者を常設展示、後者をイベントと称している。



にぎわうプレイミュージアムの様子

1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・写し取る・はかる・織る・編む・変身する・考える・学ぶ」の10に分類している。

表7 平成26年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居	
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兔・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形	
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯰・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器	
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー
	量	枡（一升・五合・一合）／軽量カップ
	重さ	ヘルスマーター／台秤
織る	平織機（カラコ） 織りの組織見本	編む 百足編み花結び
	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖
変身する	その他	十二単着せ替え人形／草鞋（わらじ）／お面（仙台張子）／手拭
考える	からくりの復元	二挺天府式和時計
	アイ・トリック	ゆがみ絵／トロンプリュ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ

考える	パズル	組木パズル／大型パズル ／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチュアパズル日本地図
	学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

(1) 入場者数

平成26年度 27,493人

(2) 配布物

配布物(枚)	H26
①よろいのワークシート	2,121
②トレーシングペーパー	19
③折紙	34
④テキスト	69

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

(3) 破損、修理状況

状況(点)	H26
破損や汚れのための撤去	1
紛失	15
修理による復帰	52
修理不可能での廃棄	2
同種で交換や追加したもの	19
新規展示	3

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

(4) デジタルデータの活用

システム名	H26
来館者用情報提供システム	5,548

来館者用情報提供システムとは、Q&A形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置されている。

2. 変身タイム

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。以下の内容で例年、年3回実施している。平成26年度は、3回目が休館期間中であったため、年2回実施した。

(1) 館内での変身タイム

第1回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

平成26年6月7日（土）13：30～15：00



よろい着用体験を楽しむ参加者

第2回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成26年9月20日（土）13：30～15：00



よろいと陣羽織着用体験を楽しむ参加者



人気の高い政宗のよろい（複製）

3. 特別イベント

イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。



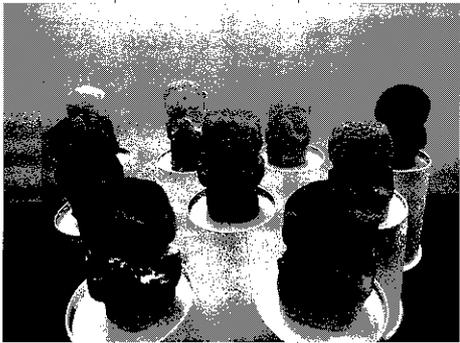
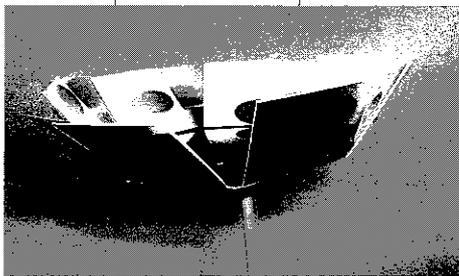
- 常設展示資料に焦点をあてたもの
- 年中行事や季節にあわせたもの
- ◎特別展や企画展にちなんだもの

表8 参加数（人）（子供は中学生以下）

	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	聴講者
H26	1	12	32	5	7	12	36
	2	8	8	7	1	8	10
	計	20	40	12	8	20	46

平成14年度から上記の内容で年3回実施している。戦国ブームやアニメキャラクターなどの影響もあって、子どもから高齢者まで幅広い世代の応募が見られる、人気の高いイベントである。平成26年度も政宗のよろいの着付け希望者が多く、定員の4倍を超える応募があった。

表9 平成26年度特別イベント一覧

期 間	参加人数	内 容
◎それぞれのミニ仏さま		
3/1(土) ～4/13(日)	大人 497人 子ども 419人 計 916人	特別展に展示されている仏像などをイメージし、小さな土人形を絵付けしてそれぞれのミニ仏さまに仕上げるイベント。展示資料に対する関心を高め、理解を深めてもらった。
		
◎おもしろゾートロープづくり		
4/26(土) ～6/1(日) 33日間	大人 196人 子ども 725人 計 921人	特別展でも登場する「ゾートロープ(回転式のぞき絵)」を製作して遊ぶイベント。 活動を通して、日本美術に対する理解を深めてもらった。
		
○短冊に願いを・・・		
7/8(火) ～8/3(日) 24日間	511枚	和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わうイベント。柳生和紙の短冊に願い事を書き、笹竹(造花)に結んでもらった。

◎白描画に挑戦		
7/4(金) ～8/24(日) 45日間	大人 1,542人 子ども 600人 計 2,142人	特別展に展示されている仏像や絵巻物に描かれている動物を、筆ペンでなぞり描きするイベント。日本美術の伝統的な技法である「白描」で、展示資料などを描く体験を通して、展示に興味を持ってもらい、地域の歴史や伝統について理解を深めてもらった。
		
◎木のぬくもりを感じよう 切り絵で秋の七草づくり		
9/26(金) ～11/9(日) 40日間	大人 415人 子ども 299人 計 714人	特別展では、樹木や植物を描いた多くの日本絵画が展示された。特別展と関連し、木や和紙などの材料を使って、切り絵で「秋の七草」をつくり、しおりやコースターなどに仕上げるイベント。活動を通して、特別展への関心を高めてもらった。
		

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため図書など二次資料のかたちで提供する場が必要となってくる。また、歴史的分野における市民の自主的な生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の重要な要素であり、情報資料センターはこの実践の場と位置付けている。

当センターは、利用者のニーズにも対応できるよう運営されている。ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表10参照）。

今年度取り組み作業として、館内改修工事の長期休館を利用し、年々増加していく図書の大幅な見直し・整理を行った。

提供資料

1. 図書資料

当センターでは自由閲覧を可能とした部屋になっている。自由閲覧以外の蔵書も要望により閲覧に供しているが、貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞書類、古典文学、などである。

今年度の受入図書は1,975冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は81,055冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は4,252冊である。

また、センター内の企画として特別展・企画展と関連した特設図書コーナーを随時設けている。

今年度は4回設置し、延べ設置冊数は68冊であった。

2. 映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

3. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心として、絵巻物・浮世絵等について写真を添付したカードを作成し、整冊して開架書架に配している。

4. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。コインベンダー式のマイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）でプリントが可能である（利用件数は表10参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室（5台）に設置された情報提供システムと同様のものが1台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室31,532件、プレイミュージアム5,548件、当センターでは1,096件であった。

表10 平成26年度情報資料センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数 (人)	651	823	439	765	1057	399	568	518	—	—	—	77	5,297	
相談質問 (件)	51	42	33	67	61	33	30	20	9	13	10	9	378	
外線問合せ (件)	420	355	511	835	752	249	418	259	207	212	228	362	4,808	
映像利用	利用 (件)	4	0	0	2	1	1	2	1	—	—	—	0	11
	利用者 (人)	4	0	0	2	1	1	2	1	—	—	—	0	11
図書複写利用	(件)	42	43	32	44	56	48	52	45	—	—	—	6	368
	(枚)	349	579	339	683	605	815	720	720	—	—	—	207	4,806
マイクロフィルム利用	利用 (件)	2	3	5	7	2	8	8	6	—	—	—	3	44
	複写 (枚)	9	32	321	611	664	571	606	410	—	—	—	19	3,243
画像提供装置利用者数 (情報資料センター調べ)	33	35	22	35	75	14	35	20	—	—	—	9	278	
収蔵資料検索アクセス数	145	170	101	132	264	75	90	91	—	—	—	28	1,096	

※ 平成26年12月1日～平成27年3月27日まで休館（外線問合せは継続）

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表12から分かるように、平成26年度の学校の博物館の総利用状況は442件・12,275人（前年度比件数51件減・2,664人減）であった。館内工事及び国連防災世界会議への対応による臨時休館（12月1日から翌年3月27日まで）のため、利用件数、来館人数ともに、平成26年度より減少しているものとする。

市内学校の利用状況は120件・4,920人（前年度比22件減・1,493人減）であった。市内の小学校の年間を通しての来館件数は57件であり、市内公立小学校（126校）の約45%にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して20件であり、市内公立中学校（65校）の約30%にとどまっている。平成27年の仙台市地下鉄東西線の開業により、博物館への交通手段を確保しやすい学校も出てくることが予想され、今後、市内の小・中学校の学習利用をさらに促進する必要がある。

市外学校の来館件数は322件・7,355人（前年度比29件減・1,171人減）であった。市外学校の利用件数は、4月から6月にかけて特に多く（小学校96件、中学校126件）、修学旅行や校外学習の訪問先に博物館を選択する学校が多いことがうかがえる。

博物館来館時の学習形態を見ると、市内外に関わらず、児童・生徒がグループごとに学習計画を立て、各施設を自主研修する学習形態が多く、今後もこの傾向は続くものと思われる。

表11 来館児童生徒数（人）

	H24	H25	H26
小学校	6,960	7,126	5,425
中学校	4,798	4,977	4,809
高校・大学等	2,492	2,836	2,041
合計者数	14,250	14,939	12,275

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムや館内の行事予定などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に行う、宮城県内の教員を対象としたセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。

教員対象のセミナーであるが、平成26年度から、博物館ボランティアの参加も可能とした。

・特別展

「サントリー美術館おもしろびじゅつワンダー

平成26年度 学校における博物館利用状況（上段：平成26年度 下段：平成25年度 単位：件・人）

表12 概況

利用数	内訳	件数		人数	
		件数	人数	件数	人数
市内		120	4,920		
		142	6,413		
		322	7,355		
市外		351	8,526		
	合計	442	12,275		
学習形態数	一斉	155			
	グループ	287			
利用目的数	常設展	286	7,329		
	企画展	214	6,432		
合計		442	12,275		
		499	14,939		

表13 月別状況

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
仙台市内	小	3	89	12	524	5	310	1	70	3	266	10	547	5	308	18	869	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	2,983
		4	165	9	408	3	113	2	76	2	169	14	983	13	838	11	432	9	492	3	244	4	96	3	127	77	4,143		
		0	0	2	39	1	33	3	69	0	0	2	45	6	131	6	214	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	531	
	中	2	9	2	84	0	0	3	74	0	0	1	6	0	0	6	244	1	19	1	7	1	6	0	0	0	0	17	449
		1	25	5	483	1	27	2	37	2	53	1	4	1	106	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	739
		5	421	1	218	3	26	2	18	0	0	0	0	2	104	3	68	1	7	4	359	0	0	2	94	23	1,315		
	高	2	86	6	160	2	27	6	119	3	58	1	33	3	81	6	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	667
		3	85	2	73	5	66	2	31	1	5	0	0	1	26	6	175	2	13	1	8	1	11	1	13	25	506		
		6	200	25	1,206	9	397	12	295	8	377	14	629	16	626	31	1,190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	4,920	
	小計	14	680	14	783	11	265	9	199	3	174	15	989	16	968	26	919	13	531	9	618	6	113	6	234	142	6,413		
		3	50	21	345	72	1,110	4	20	1	18	24	381	3	70	10	448	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	2,442	
		3	18	20	411	77	1,162	10	217	0	0	24	242	13	223	11	612	1	21	0	0	2	77	0	0	161	2,983		
中	50	1,373	88	1,759	8	261	10	228	4	46	16	422	5	91	5	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165	4,278	
	46	1,111	68	1,982	10	517	10	261	2	32	13	328	10	193	7	99	0	0	0	0	0	0	0	1	5	167	4,528		
	0	0	3	193	0	0	1	27	1	10	1	4	2	284	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	524	
高	3	305	1	170	2	32	3	74	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35	11	622	
	1	22	0	0	1	3	2	36	0	0	5	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	111	
	1	17	0	0	3	37	0	0	1	12	2	12	1	29	2	266	1	6	1	14	0	0	0	0	0	12	393		
小計	54	1,445	92	2,297	81	1,374	17	311	6	74	46	857	10	445	16	552	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	322	7,355	
	53	1,451	89	2,563	92	1,748	23	552	4	50	39	582	24	445	20	977	2	27	1	14	2	77	2	40	351	8,526			
	60	1,645	117	3,603	90	1,771	29	606	14	451	60	1,486	25	1,071	47	1,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	442	12,275		
合計		67	2,131	103	3,346	103	1,953	32	751	7	224	54	1,571	40	1,413	46	1,896	15	558	10	632	8	190	8	274	493	14,939		

※1 館内工事により平成26年12月1日～平成27年3月27日まで休館（平成27年3月14日～18日までの5日間、国連防災世界会議により特別閉館）。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。
 ※3 利用目的が複数あった学校があるため、目的件数と利用件数は一致しない。
 ※4 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※5 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
 ※6 他は、大学、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校、ろう学校、盲学校、杜のひろば等とした。

ランド in 東北」

4/26(土) 4/30(水) 参加39人

・特別展

「奈良・国宝 室生寺の仏たち」

7/5(土) 7/9(水) 参加83人

・特別展

「樹木礼賛—日本絵画に描かれた木と花の美」

10/1(水) 10/4(土) 参加48人

(2) 博物館活用研修会

8/1(金) 9:30~15:20 ホール・講習室

参加61人

市内小中学校の教員を対象に、博物館学習に関する研修会を実施した。社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習の具体例、仙台市史を活用した授業づくりのポイント、「ミニ屏風づくり」実習など、博物館活用のヒントとなるような研修の場を提供した。最後に学芸員が特別展の解説を行い、その後自由観覧とした。

(3) 各種教育機関と共催事業

① 仙台市中学校美術部会研修会

5/15(木) 15:00~16:45 ホール 参加70人

仙台市内中学校の美術担当教諭を対象に、特別展「サントリー美術館おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」の見どころ等について講話を行った。

② 仙台市小学校図画工作部会研修会

6/18(水) 13:00~16:45 ホール 参加100人

仙台市内の小学校教諭を対象に、「図画工作科における博物館の活用」について講話を行った。

③ 宮城県小学校社会科研修会

6/19(木) 10:00~15:20 講習室 参加17人

宮城県内の小学校教諭を対象に、博物館資料や自治体史を活用した授業づくりについて講話を行った。

④ 仙台市教育センター機関研修

8/5(火) 9:30~16:20 講習室等 参加7人

6月20日(金)に博物館講習室にて、ミュージアム施設で研修する際の心構えや注意事項等についてガイダンスを行った。

当日は、博物館の概要、学校と博物館の連携の実際について講話を行った後、博物館資料を

授業でどのように扱うことができるか、指導の流れを考える演習を行った。

⑤ その他の研修会

仙台市立東二番丁小学校研修会

7/31(木) 14:00~16:30 講習室 参加8人

こうした各研修会の事後アンケートから、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応した。特に、児童生徒がスタディーシートを利用しながら、分からないところをボランティアに質問するという利用の仕方が多く見られた。

見学の際にボランティアによる解説を希望する学校は多く、展示室で疑問を解決できることから、学校からは概ね好評を得ている。

5. 職場訪問（見学、体験も含む）

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場訪問17件・134人を受け入れた。1日のみの活動が8件・82人。2日間の活動が3件・16人、3日間の活動が6件・36人であった。活動内容として、館内学習プログラムの補助、展示解説の模擬体験、館内イベントのチラシづくりや広報活動等を行った。

6. 博物館教材の貸出

平成26年度の博物館教材の貸出件数は、13件（38点）であった。最も件数の多かった貸出教材は「楽山公行列図巻」（5件）で、他には縄文土器や石包丁の複製についての貸出があった。写真パネル等の貸出については、「支倉常長像」や「芭蕉の辻図」等があった。

7. 館内講師・館外講師派遣

充実した博物館学習を行うために、館職員と学校関係者による事前打合せを行ってきた。展示見学における解説ボランティアとの連携やスタディーシートの活用法、館職員による講話など学習活動に関する

る内容が主である。

学校からの依頼を受けて、児童生徒や学生、教職員向けに館職員が館内及び館外で講話を行った。表は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校には、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を含む。学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）。

表14 講師派遣一覧

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師（内訳）	85件	3,934人
○特別展・企画展の解説	9件	391人
○講話・講義	49件	2,502人
○講話・体験	27件	1,041人
館外講師（内訳）	8件	441人
○小学校（出前授業）	6件	238人
○中学校（出前授業）	2件	203人
合計	93件	4,375人

館内講師については、社会科プログラムの「伊達政宗と仙台（33件）」についての講話を希望する学校が最も多く、市内の学校からは修学旅行先（会津若松）の歴史や城下町についても触れてほしいという要望、地域の史跡や歴史についても触れてほしいという要望等、学校の要望に応じて内容を調整しながら実施した。

また、図工・美術科プログラムでは「もんきりがたで遊ぼう（12件）」、「土人形って何だろう（4件）」など、体験とともに展示を見る視点につながるものを希望する学校が多かった。また、特別展「サントリー美術館おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」の開催に合わせ、「ゾートロープづくり」を、学校の要望に応じて実施した（6件）。

館外講師については、休館期間を利用し市内の小・中学校を対象に出前授業を行った。社会科プログラムでは、「伊達政宗と仙台（2件）」、「支倉常長と慶長遣欧使節（1件）」、「伊達政宗のよろいを調べよう（3件）」等の利用があった。また、図工・美術科プログラムでは、中学校で「ようこそ屏風絵の世界へ（1件）」、小学校で「土人形って何だろう（1件）」の利用があった。いずれも児童・生徒の反応は良く、歴史や文化について楽しく学ぶ様子が見られた。

表15 学習プログラム一覧

	プログラム名	内容
社会科	くらべてみよう城下町仙台と会津若松	城や城下町を比較しながら修学旅行で役立つ内容を学ぶ
	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	行列の様子や持ち物を調べたり目的を考えたりする
	縄文のむらから古墳のくにへ①	狩猟・採集時代を展示資料を活用して学ぶ
	縄文のむらから古墳のくにへ②	農耕によりむらが大きくなっていく様子を学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	日本の美意識ーよろいの美しさを感じようー	具足を見ながら当時の職人の技術や美しさ味わう
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、7月30日から9月6日まで博物館実習を行い、21人の実習生を受け入れた。実習日程については2グループに分け、前期、後期それぞれ5日間の実習（合同実習1日、グループ別実習4日）を設定した。各講座の講師を、館の職員がそれぞれ分担して務めた。

9. キャンパスメンバーズ制度

大学や専門学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生や教職員が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的として、平成25年4月1日からキャンパスメンバーズ制度を開始した。

平成26年度は新たに2校が加わり、現在の加入校は15校となった。また、キャリア形成の場を提供する意味から、館内イベントへの学生サポーターの導入を試験的に開始した。

平成26年度 加入校一覧（五十音順）

- ・尚絅学院大学
 - ・聖和学園短期大学※
 - ・仙台白百合女子大学
 - ・東北学院大学
 - ・東北工業大学
 - ・東北生活文化大学
 - ・東北生活文化大学短期大学部
 - ・東北大学
 - ・東北福祉大学
 - ・東北文化学園専門学校
 - ・東北文化学園大学
 - ・東北薬科大学
 - ・宮城学院女子大学
 - ・宮城教育大学
 - ・宮城大学※
- ※は平成26年度新規加入校

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関

- ・せんだいメディアテーク
- ・仙台市博物館
- ・仙台市科学館
- ・仙台市縄文の森広場
- ・仙台市天文台
- ・仙台市富沢遺跡保存館
- ・仙台市八木山動物公園
- ・仙台文学館
- ・仙台市歴史民俗資料館
- ・宮城県美術館
- ・東北大学総合学術博物館
- ・東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- ・仙台市教育委員会（生涯学習部）

1. 12館大集合！SMMAミュージアムユニバース ～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催日時：平成26年12月19日（金）13：00～20：00、
20日（土）11：00～19：00

参加者数：1,768人（延べ）

会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、SMMA参加館が一堂

に集まり実施したイベント。参加館の職員によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などによって味わうことができる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が集まった「展示の広場」を展開した。

当館は、「トークとイベントの広場」において、2つのプログラムに参加した。

12月19日開催の「SMMA企画ミュージアムのふしぎ～学芸員のお仕事紹介～」では、酒井昌一郎学芸員が他館学芸員とともに学芸員の仕事を紹介しあい、参加者の質問等に答えた。12月20日開催の「仙台歴史探検クイズ～伊達政宗と支倉常長の秘密を探る～」では、佐々木徹学芸員、山澤一郎指導主事が伊達政宗と支倉常長の生涯についてクイズを織り交ぜながら紹介した。

また、「展示の広場」では博物館収蔵資料の紹介や、次回特別展の予告を掲示するとともに、体験用の兜をかぶるコーナーを設け、来場者に博物館のアピールを行った。



「仙台歴史探検クイズ」



「学芸員のお仕事紹介」



博物館パネル展示ブース

2. SMMA研修会事業への参加

SMMA参加館12館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成26年度は、12月11日、17日に国連防災世界会議の参加者対応のため、「外国人対応に係る接遇・ガイド研修会」が開催された。さらに、平成27年1月29日、2月6日にSMMAウェブサイト「見験楽学」を構成するデータベースソフトの操作方法を学ぶ「ウェブサイト投稿研修会」が開催された。いずれも各館のニーズに応えたもので、充実した研修会となった。

この他、年3回行われるSMMA運営委員会の際に、それぞれ会場となった館で、展示室やバックヤードの見学、館職員の話等があり、貴重な情報交換の機会となった。

仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。略称は歴ネット。事務局は当館に置かれている。

参加施設

- ・仙台市富沢遺跡保存館
- ・仙台市縄文の森広場
- ・仙台市博物館
- ・仙台城見聞館
- ・瑞鳳殿
- ・仙台市歴史民俗資料館
- ・仙台文学館
- ・仙台市戦災復興記念館

1 連携事業の実施

※ SMMA クロスイベントとして実施

(1) 歴ネットクイズラリー

平成26年9月1日から平成27年1月31日まで開催



答え合わせコーナー設置の様子（博物館）

した。各館の有料ゾーンにあるオリジナルクイズに答え各館を巡るという、参加者が各館を回遊しながら、仙台の歴史・文化を学ぶ企画。参加者にとって、クイズラリーは他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に、展示物を深く観察したり、親子で話し合ったり、クイズを楽しんでいる様子が見られた。（クイズラリー台紙配布枚数3,895枚、4館達成者96人、7館以上達成者41人）

(2) 歴ネットフェスタの開催

日時：1日目 平成26年11月22日（土）

10：00～17：00

2日目 平成26年11月23日（日）

10：00～17：00

会場：「仙台なびっく」青葉区一番町4-4-35

来場者数：1日目約40人 2日目約100人

仙台市の中心部の商店街でイベントを行うことで、歴ネットの活動について広く市民に知ってもらう良い機会となった。リレートークやパネル展示、体験コーナー等を通して、参加者には歴史系ミュージアムへの親しみを持ってもらうことができた。

<パネル展示>

- ・歴ネット各館の紹介パネル
- ・テーマ展示「移りゆく仙台の風景」

テーマ展示では、仙台文学館、瑞鳳殿、仙台市戦災復興記念館、仙台市博物館が、リレートークの内容に合わせて仙台の歴史的風景をパネルで紹介した。

<リレートーク～移りゆく仙台の風景～>

11月22日（土）11：30～12：50、14：00～15：20

題目	講師
富沢遺跡の調査風景	仙台市富沢遺跡保存館 篠原信彦氏
杜の都の移り変わり	仙台市博物館 菅野正道
戦後復興事業に見る 仙台の風景	仙台市戦災復興記念館 芦野昭夫氏
絵ハガキを通してみる 仙台の今と昔	仙台市歴史民俗資料館 西嶋茂雄氏

<伊達武将隊トークコーナー>

11月23日（日）13：00～13：30

伊達政宗と仙台藩まちづくりについてのトークショーを行った。

<体験・クイズコーナー> 11月23日（日）

展示コーナーにて、仙台市縄文の森広場による「縄文服を着てみよう!」、仙台市博物館による「もんきり遊びしよう!」、仙台城見聞館による「仙台城・

政宗クイズに挑戦！」を展開し、訪れた市民が楽しんでいた。



伊達武将隊と一緒に体験コーナーを楽しむ参加者

(3) 仙台の伝統門松復元事業

期間：平成26年12月25日(木)～平成27年2月11日(水)

※時期は館ごとに設定

実施館：仙台市縄文の森広場、瑞鳳殿、仙台文学館、
仙台市博物館（市役所市民ギャラリーに設置）、仙台市歴史民俗資料館、仙台市戦災復興記念館

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を、泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現した。伝統門松の展示は、市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。また、歴ネット担当職員の研修として「ケンダイづくり」等の実習を行った。

2 広報・その他

(1) 歴ネットシートの作成・配布

参加8館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

(2) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」で、情報発信を行った。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近では学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、特別展「奈良・国宝 室生寺の仏たち」は、全国的に大変注目されたこともあり、会期中の雑誌・新聞掲載などで多くの媒体に取り上げられた。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。平成19年からはじめたPDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

(1) 博物館だより（6.8.10.12.3月発行）

No.164～168

No.164～166 225×420mm 四つ折り 観音開き

No.167 225×210mm 二つ折り

No.168 225×525mm 経本三つ折り カラー版

(2) 展覧会案内（平成27年度版）

225×420mm 四つ折り 観音開き



広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

2. 広報資料発送

マスコミ等をはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのちらし、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など）約135社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、26年度は約230件となった。

3. ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件を検索できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

情報更新は、毎月5回を目安に随時行っており、平成26年度の当館ホームページへの総アクセス数は、1,690,351件であった。特に7～8月の特別展「奈良・国宝 室生寺の仏たち」期間や、3月再開館時期はアクセス数が増加した。22年度以降、アクセス数は急激に増加しており、ホームページによる情報提供の重要性が高まっていることがうかがえる。

4. 複製資料による館外での展示

当館の活動及び館蔵資料の普及のため、複製資料を用いて以下のように展示を行った。会場には、平成27年度特別展「国宝・吉祥天女が舞い降りた！」のポスターを掲示し、チラシを配布した。

「仙台市博物館 名品紹介」

会 期 平成27年3月10日（火）～5月10日（日）

開催日数 62日間（休館日含む）

会 場 東北電力グリーンプラザ（電力ビル内）

「とうほく文化情報コーナー」

主 催 仙台市博物館、東北電力株式会社

展示資料 1. ローマ市民権証書（複製）

2. 支倉常長像（複製）

3. ローマ教皇パウロ五世像（複製）

4. 山形文様陣羽織（複製）

5. 榴ヶ岡花見図屏風（複製）



会場風景



刊行物・グッズ等

平成26年度は、下記のとおり3種の刊行物を発行した。(市史編さん室の刊行物については、「5. 市史編さん事業」参照)

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、26年度は、A4クリアファイル(政宗具足)、ミニクリアファイル(水玉模様陣羽織、三沢初子の帯)、ハンカチ(水玉模様陣羽織デザイン)、一筆箋(秋草に鹿図屏風)を追加製作した。

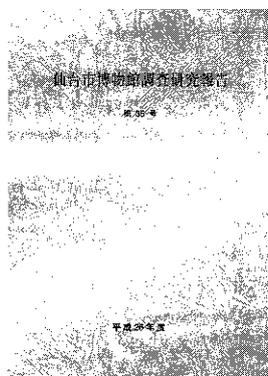
また、新たに、ハンカチ(公民権証書デザイン)を製作した。

1. 刊行物

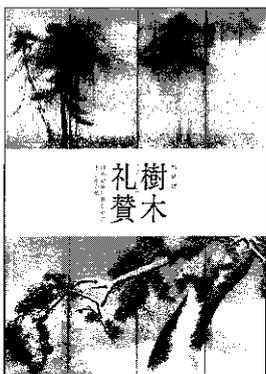
- (1) 「仙台市博物館年報」第41号
平成26年6月30日発行 A4判 96ページ
- (2) 「仙台市博物館調査研究報告」第35号
平成27年3月31日発行 B5判 78ページ
- (3) 特別展図録
「樹木礼賛—日本絵画に描かれた木と花の美—」
平成26年9月26日発行 A4判 144ページ



年報



調査研究報告

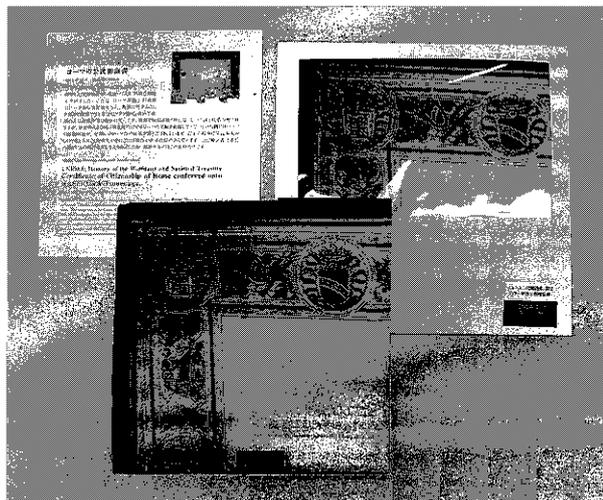


特別展図録

2. オリジナルグッズ

平成26年度製作・追加製作は以下のとおり。

- (1) 公民権証書デザインハンカチ (1,000円)
- (2) A4クリアファイル (350円)
- (3) ミニクリアファイル2種 (200円)
- (4) 秋草に鹿図屏風デザイン一筆箋 (300円)
- (5) 水玉模様陣羽織デザインハンカチ (800円)



公民権証書デザインハンカチ



A4クリアファイル(政宗具足)



一筆箋(秋草に鹿図屏風)

4. 調査・研究

平成26年度『仙台市博物館調査研究報告』第35号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について

寺澤 慎吾

「平泉諸寺参詣曼荼羅」(中尊寺蔵)は、盛時の平泉の様子を伝える絵画であるとともに、東北地方の寺院を描いた数少ない参詣曼荼羅の一つとして貴重な作例である。本稿では、先行研究に拠りながら、描かれた堂舎比定を改めて行い、描写表現を分析した。そして、「源義経公東下り絵巻」(中尊寺蔵)や「平泉諸寺祭礼曼荼羅」(中尊寺蔵)など、中尊寺に所蔵される他の絵画作例と本図とが密接に関わることを論じ、最後に本図の制作背景および制作契機について考察した。

登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」(一幅)について

一その成立事情と伝来の経緯一

佐藤 憲一

本資料は伊達政宗(1567～1636)が書いた古歌に、狩野探幽(1602～74)が清水道閑(1579～1648)の依頼により政宗の肖像を描き、最後に江月宗玩(1574～1643)が賛を加えた作品である。同時代を生き代表する武将、絵師、茶匠、僧侶の合作として、また相互の交わりを知ることのできる資料として貴重である。

本稿では、各人物の作品を吟味しつつ作品全体の成立事情を明らかにし、伝来の経緯についても検討を加えた。

史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察

星川 礼応

『成宗公御上洛之日記写』(館蔵、伊達家文書)は、文明15年(1483)10月に伊達成宗(12世)が上洛した際の記録として古来知られてきた。史料的制約により中世伊達の状況について不明な点が多い現状において、本記は貴重な史料といえる。

但し、江戸時代以来指摘されてきた錯簡範囲の問題や人物の比定など、本記には検討課題も残されていた。そこで本稿では伊達氏をとりまく畿内の人脈

とその動向を考察することで上記の課題に取り組み、伊達氏と室町幕府の関係をより鮮明に捉え直すと共に、史料活用の便をはかり全編を再翻刻した。

藤塚知明旧蔵の西洋奇図について(上)

松田 清

林子平の支援者であり同志であった塩竈神社祠官藤塚知明の収集した珍品奇物11点(仙台市博物館所蔵)を安永～寛政期の全国的な聚珍趣味流行の中で捉え、「名山蔵書目録」記載の洋学資料32点に書誌的考察を加えたあと、特に写本「西洋奇図」(同館所蔵)の典拠であるファレンティン『新旧東インド誌』とディリッヒ『戦争書』の同時期における受容史を考察し、さらに「西洋奇図」所収27図について『新旧東インド誌』中の典拠図を同定し、各図の意味を原書の本文に基づいて解明した。

◇ 平成27年度研究テーマ ◇

平成27年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

中世・近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究	寺澤 慎吾
近世・近代の都市仙台の研究	水野 沙織
図画工作科・美術科における博物館の活用について	山田 貴史
古代・中世仏教彫刻・工芸史の研究	酒井昌一郎
古代中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究	佐々木 徹
日本中近世絵画史の研究	樋口 智之
博物館を活用した社会科の学習について	山澤 一郎

表16 仙台市博物館調査研究報告書一覧

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 仙台北丸の障壁画をめぐって 大槻磐溪書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、 伊勢屋安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について (史料紹介) 宮城県自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の 分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告なら びに修理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10 年3月増刷) 1,210円
No.7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 仙台北関係の婚礼調度について 慈光明院蔵 種子華鬘について 柴田町金谷貝塚出土の權状木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P. コッラディーニ・ 芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋 二・村山斌夫・小 井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	東北地方における山伏筈 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 館蔵考古資料の紹介 I トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 1,870円
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 1,870円

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐって 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱鍍漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサー ラ・レージアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H. フィオーレ・ 小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」(伊達家旧蔵)などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理 について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R. フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・ 「玉日記」の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一面－ 仙台藩の小人について 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の 家紋およびその変遷－ 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料 から－ 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野拓 大・磯目隆夫・篠 遠喜彦	平成11年3月 2,280円
No.20	新取資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程(一) 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査お よびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 完売
No.21	百富士図をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 2,460円

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.22	<p>仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 佐藤家本について（補遺）</p>	<p>佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ</p>	平成14年3月 1,260円
No.23	<p>陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹藜梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－</p>	<p>酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一</p>	平成15年3月 1,330円
No.24	<p>仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」</p>	<p>内山淳一 小井川百合子</p>	平成16年3月 2,180円
No.25	<p>絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－</p>	<p>樋口智之 菅野正道 羽下徳彦</p>	平成17年3月 完売
No.26	<p>ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三糊について－ 黒糊（ベネチア東洋美術館蔵）・厨子糊（鍋島報効会蔵）・書糊（仙台市博物館蔵）－ 伊達家文書の形成過程（二） 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻</p>	<p>高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・齋藤潤 船渡崇</p>	平成18年3月 900円
No.27	<p>陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題</p>	<p>酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子</p>	平成19年3月 900円
No.28	<p>支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を兼ねて－ 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 資料紹介 御証文方御本様手控－仙台藩における資料管理の側面－</p>	<p>濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤</p>	平成20年3月 900円
No.29	<p>1. 失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐる－ 2. 伊達政宗公三百年祭について</p>	<p>内山 淳一 水野 沙織</p>	平成21年3月 900円
No.30	<p>1. 史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて</p>	<p>坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎</p>	平成22年3月 900円
No.31	<p>1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について</p>	<p>佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美</p>	平成23年3月 900円
No.32 ・ 33合 併号	<p>1. 「御奥方格式」について－美術工芸的アプローチ－ 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負戊辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」-特に著保内野遺跡出土国宝「土偶」との比較から－</p>	<p>高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍千春・西脇対名夫</p>	平成25年3月 1,200円
No.34	<p>1. 屏風のなかの動物たち－伊藤若冲とその周辺作品をめぐる－ 2. 資料紹介－「伊達の黒箱」文書について（二）－ 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題－大使支倉の名乗りと「震災復興派遣説」について－</p>	<p>内山淳一 菅原美咲 佐々木徹</p>	平成26年3月 900円
No.35	<p>※内容については、本年報66ページ参照</p>		平成27年3月 900円

（平成27年4月1日より No.26以降の調査研究報告書の頒布を開始。価格および内容については平成27年4月1日現在、以下続刊）

5. 市史編さん事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管してきた。館内に設置された市史編さん室が業務を担当し、平成25年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成26年度は、この市史編さん事業の最終年度に当たり、第32回配本として「年表・索引」を刊行した。この「年表・索引」は、通史編で取り上げた歴史事象を中心に仙台の歴史を年表化した「年表」と、通史編の総索引および特別編のうち「自然」「美術工芸」「市民生活」「民俗」「慶長遣欧使節」の索引と仙台市史全32巻の総目次を収録した「索引」の2分冊からなる。この「年表・索引」の刊行をもって、平成5年度以来続いてきた『仙台市史』の刊行はすべて完了したことになる。

このほか、市域に関する歴史資料の収集・調査・分析は継続して実施したほか、事業成果を市民に紹介する普及活動については、従来以上に拡充して実施した。

上記のように、本事業は平成26年度が最終事業年度となり、事業を担当してきた市史編さん室は、平成27年3月31日をもって廃止となった。



1. 委員

市史編さん事業においては、学識経験者、市職員など11人の委員で構成される仙台市史編さん委員会が設置され、事業全般に関する指導・助言を受けている。また編集や監修や専門的な内容については、大学研究者などを中心とする研究者15人からなる仙台市史編さん専門委員会による協議、検討に基づいた指導・助言を得ている。

このほか、市史各巻の調査分析や執筆、校正などについては、仙台市史刊行委員会に業務委託を行い、同委員会が関係する研究者を専門調査分析委員、調査分析委員、執筆委員に委嘱して作業を進めている。その数は、平成26年度においては、「年表・索引」の刊行のために、専門調査分析委員2人、調査分析委員7人となっている。

なお、仙台市史編さん委員会および仙台市史編さん専門委員会は、市史編さん事業の終了に伴い、平成27年3月31日をもって廃止となった。

2. 資料調査

資料調査は専門委員および各部会の要望、市民からの情報提供などに基づいて実施されている。

平成26年度は『仙台市史』に関わる調査を行い、「伊達政宗文書」の補足調査で県外の調査も行っている。

〔主な調査箇所〕

仙台市／NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク
県内／村田町龍島院

村田町歴史みらい館

東京都／東京大学史料編纂所

大阪府／正木美術館

京都府／井伊美術館

※このほかにも、多数の個人宅での調査および市内各所での調査を行った。

3. 資料レスキュー

(1) 活動内容

平成25年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動（救出・一時保管、整理など）を行い、個人が所蔵する資料の保全処置を実施したほか、個人宅の資料調査を行った。整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を開始している。

また、市内巡回による資料所蔵の有無や保管状態の聞き取り調査も、平成25年度までと同様、引き続き行っている。

〔活動状況〕

平成26年5月16日 借用中資料の状況確認

（中野小学校）

7月10日 資料調査（太白区秋保）

巡回調査（太白区秋保・青葉区栗生）

10月14日 借用中資料の状況確認（中野小学校）
10月28日 資料レスキュー（旧岩切支所関係資料）
10月31日 資料調査（泉区南光台）
巡回調査（宮城野区鶴ヶ谷）

11月21日 巡回調査（若林区種次・六丁の目）
11月27日 巡回調査（宮城野区岩切）

平成27年2月5日 資料調査（青葉区小松島）
なお、資料レスキュー活動については、NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークと緊密な連携をとっている。

また、平成25年に引き続き、宮城県被災文化財等保存連絡会議の幹事役としての役割も担った。

(2) 震災関連パネル貸し出し

平成25年度に引き続き、震災関連のパネル貸し出しを行った。本年度は、富士・沼津・三島3市博物館連絡協議会主催の文化財講座「災害を識る、文化財を守る 文化財レスキューの活動をとおして」で行われた巡回パネル展に、パネル24枚を貸し出した。詳細は、下記の通りである。

富士市立博物館 平成26年9月6日～9月15日
沼津市明治史料館 平成26年9月20日～10月2日
沼津市立図書館 平成26年10月3日
沼津市役所戸田庁舎
平成26年10月6日～10月10日
三島市郷土資料館 平成26年10月18日～10月26日

(3) 震災関連展示

平成25年度から引き続き、震災関連のパネルとレスキュー資料を市民に公開する展示を開催した。

また、第3回国連防災世界会議の開催にあわせ、国際会議参加者向けに東日本大震災における市域の文化財の被災状況とレスキュー活動に関する英文併記のパネルを作成し、館内で展示した。このパネル展示は、会議参加者向けの情報を市民にも共有してもらう目的から、再開館後も継続展示した。

各パネル展の内容は、下記の通りである。

・「震災の歴史をひもとく

～仙台平野の地震と津波～

会 期：平成26年3月11日（火）～5月11日（日）
場 所：東北電力グリーンプラザ

「とうほく文化情報コーナー」

主 催：仙台市博物館、東北電力グリーンプラザ

展示品：歴史地震・津波関係パネル6枚、遺跡面剥き取りパネル、地層標本、歴史地震の記録史料など計8点。

・「東日本大震災と資料レスキュー活動

The Great East Japan Earthquake and
Salvation of Historical Materials」

会 期：平成27年3月14日（土）～3月18日（水）
3月28日（土）～4月12日（日）

場 所：仙台市博物館

展示品：歴史地震・津波関係パネル12枚

4. 資料収集

資料調査を行った資料の一部については、所蔵者の同意を得て借用し、館内で調査・整理作業を行っている。こうした資料については随時くん蒸を実施して虫菌類による損傷を防ぐとともに、原則として目録を作成し、マイクロフィルムやデジタルカメラなどによる撮影を行っている。

また、仙台関係の歴史資料の購入も継続的に行っている。

(1) 購入資料

- ・伊達輝宗判物（天正4年霜月22日） 1幅
- ・安達郡上長折村伊東家資料 5通
（伊達政宗書状・留守政景書状など）
- ・小川一真『松島』 1冊

(2) 寄贈資料

※寄贈者（敬称略）／内容／数量
萱場道夫／八幡萱場家資料／一括
但木健／但木家資料（第二次受入）／一括
中田宿検断家文書／一括

(3) 整理作業を行った借用資料

境野村柴田家資料（第二次受入）
長町畑家文書（第二次受入）
多賀城吉田氏収集文書（第二次受入）
種次村肝入家資料
長町嶋原家資料
鳴子町遊佐家資料

5. 仙台市史セミナー

仙台市史セミナーは、市史編さん事業で得られた調査分析成果を市民へ発表することを目的に平成3年度から年1回実施しているイベントである。

平成26年度は「仙台藩の刑罰」と題して講演を行い、197人の参加があった。

第23回仙台市史セミナー

日 時：平成26年9月7日（日）13：30～15：30

場 所：当館ホール

参加者：197人（応募239人）

テーマおよび講師

「仙台藩の刑罰」

東北大学名誉教授 吉田正志氏



6. 仙台市史講座

仙台市史講座は、市内59カ所に設置されている市民センターとの共催によるイベントで、『仙台市史』編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に年2回程度実施している。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択している。平成26年度はそれぞれ以下の2カ所で講演を行った。

第29回仙台市史講座

日 時：平成26年7月12日（土）13：30～15：30

場 所：大沢市民センター

参加者：67人（応募80人）

テーマおよび講師

「広瀬川上流域の近世災害史

—村民たちは自然とどう向き合ったか—

宮城学院女子大学教授 菊池勇夫氏



第30回仙台市史講座

日 時：平成27年2月14日（土）13：30～16：00

場 所：青葉区中央市民センター

参加者：116人（応募219人）

内容『住まいと町並みの仙台近代史』

テーマおよび講師

「住まいと町並みの近代変容

—町家・和風住宅を中心に—

仙台市文化財課 川後のぞみ氏

「近代洋風建築にみる新しい風

—遺されしものを紡ぐ—

東北工業大学准教授 大沼正寛氏



7. 古文書講座

東北大学上廣歴史資料学研究部門との共催で、古文書講座「はじめての『くずし字』—江戸時代の仙台を読む」（全4回の連続講座）を開催した。

日 程：平成27年1月9日（金）／1月16日（金）

1月23日（金）／1月30日（金）

場 所：東北大学川内北キャンパス ほか
講 師：東北大学上廣歴史資料学研究部門教員及び
市史編さん室員
受講者：67人（受講申込者121人）

8. 講師派遣

市史編さん事業の成果の市民などへの普及を目的として、学校や各種の団体、機関などからの依頼を受けた場合、職員を派遣して仙台の歴史に関する講話を行っている。また、市政出前講座として広聴相談課を通して講話の依頼を受けて職員を派遣する場合もある。

- 平成26年度の実施状況
館内講師 2回
館外への講師派遣 37回

9. 学校教育との連携事業

- 小中学校向け研修会で『仙台市史』の利活用に関する講演を4回実施。
- 小中学校を対象とした館内授業、出前授業の実施。
館内授業：生出中学校、東向陽台中学校
出前授業：五城中学校、柵江小学校
- 『「仙台市史」活用資料集vol.1 授業で使える仙台の歴史余話』発行。
平成27年3月31日 オールカラー 16ページ

10. 広報・展示活動

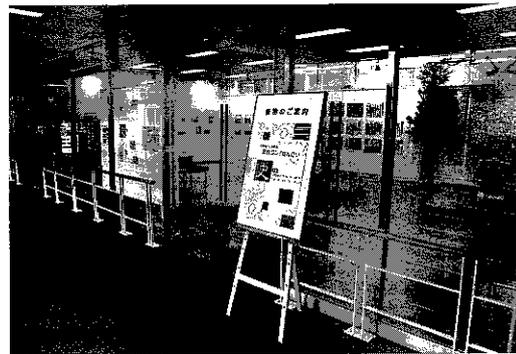
刊行された『仙台市史』や事業の広報を目的に、年間を通じて広報・展示活動を行っている。市史刊行の広報はチラシやポスター等の広報物作成のほか、博物館ホームページへの情報掲載、市史講座や市史セミナーなどの普及イベント会場における『仙台市史』『市史せんだい』の見本展示を実施している。

これらに加え、平成26年度は「通史編」全9巻、「資料編 伊達政宗文書」全4巻のセット販売を7月と10月の2回実施し、販促活動にも力を入れた。

他団体との連携事業として、せんだいメディアテーク主催「どこコレ？—おしえてください昭和のセンダイ—」(会期:第1期 平成26年4月29日(火)～5月6日(火)、第2期 平成26年5月7日(水)～5月25日(日))に事業成果の提示と観覧者から写真の情報を得るため、当館所蔵写真61点のデジタルデータを提供した。また、東北福祉大学鉄道交流

ステーションで開催された企画展「むかし、秋保まで鉄道が走っていた。」(会期:平成26年12月5日(金)～平成27年3月7日(土))に関して「特別協力」をし、展示資料の調査や選別、解説文作成などに関係した。

市史編さん事業最終年度および最終巻刊行を機とし、市役所ギャラリーホールにて平成26年12月18日(木)～平成27年1月8日(木)の間に「仙台市史編さん事業展 あれコレ?せんだい」を実施した。市史編さん事業の歴史や成果についての資料パネルを作成したほか、「仙台の伝統的な門松」のレプリカの展示、「ミニ市史講座」を開催した。



ミニ市史講座 テーマおよび講師
平成26年12月22日(月)

「歴史秘話“あれコレせんだい”」 菅野正道
平成26年12月24日(水)

「仙台の歴史入門」 明石治郎
平成26年12月25日(木)

「地域誌散歩」 村岡淳子
平成26年12月26日(金)

「仙台の伝統的な門松」 倉橋真紀
平成27年1月6日(火)

「仙台の伝統的な門松」 倉橋真紀
平成27年1月7日(水)

「こども市史講座」 田中元昭



11. 刊行物

(1) 『市史せんだい Vol.24』

平成26年9月30日発行 A5判 128ページ
論文「一琴邦言和歌営業願書と盲巫女始祖伝承」
中川正人

研究ノート「見出された仙台の郷土玩具
—戦前のガイドブックにみる仙台張子—」

加藤幸治

研究ノート「陸軍特別大演習と宮城郡」中武敏彦

研究ノート「仙台藩の在郷屋敷」 倉橋真紀

史料紹介『入生田家之故実』

史料紹介 伊達政宗文書・補遺（八）

(2) 『せんだい市史通信 第33号』

平成26年7月発行 A4判 4ページ

(3) 『せんだい市史通信 第34号』

平成26年10月発行 A4判 4ページ

(4) 『せんだい市史通信 第35号（最終号）』

平成27年3月発行 A4判 4ページ

(5) 『「仙台市史」活用資料集 vol. 1 授業で使える 仙台の歴史余話』

平成27年3月発行 A4判 16ページ

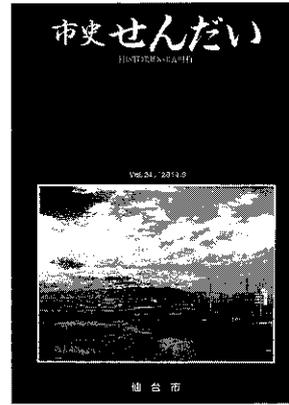


表17 「仙台市史」刊行状況

刊行年度	通史編	資料編	特別編
平成5（1993）年度		⑩ 伊達政宗文書1	① 自然
平成6（1994）年度		① 古代中世	② 考古資料
平成7（1995）年度		② 近世1	③ 美術工芸
平成8（1996）年度		③ 近世2	④ 市民生活
平成9（1997）年度			⑤ 板碑・⑥ 民俗
平成10（1998）年度	① 原始	⑤ 近代現代1	
平成11（1999）年度	② 古代中世	④ 近世3	
平成12（2000）年度			
平成13（2001）年度	③ 近世1	⑥ 近代現代2	
平成14（2002）年度	④ 近世2	⑪ 伊達政宗文書2	
平成15（2003）年度	⑤ 近世3	⑦ 近代現代3	
平成16（2004）年度		⑫ 伊達政宗文書3	
平成17（2005）年度	① 原始〔改訂版〕		⑦ 城館
平成18（2006）年度		⑧ 近代現代4 ⑬ 伊達政宗文書4	
平成19（2007）年度	⑥ 近代1	⑨ 仙台藩の文学芸能	
平成20（2008）年度			
平成21（2009）年度	⑦ 近代2		⑧ 慶長遣欧使節
平成22（2010）年度	⑧ 現代1		
平成23（2011）年度			
平成24（2012）年度	⑨ 現代2		
平成25（2013）年度			⑩ 地域誌
平成26（2014）年度		年表・索引	

6. 国連防災世界会議における博物館の対応

1 国連防災世界会議について

平成27年3月14日から18日にかけて、国際センターをメイン会場として行われた第3回国連防災世界会議は、国際的に防災戦略について議論する国連主催の会議である。本体会議には187の国連加盟国から6,500人以上が参加し、関連イベント参加者は推定40,000人であった。当館では下記の関連事業が行われた。

2 仙台市博物館主催の事業

(1) 国連防災世界会議開催記念 特別展示

「DAIMYO—仙台藩と伊達家の名品」

会議参加者のために常設展示室エリアに当館所蔵の優品を多く展示した。資料リストは22～29ページ参照。特に海外からの会議参加者のために英文キャプションや音声ガイド・案内表示の増設など、外国語対応に力をいれた。またボランティア三の丸会に協力を仰ぎ、特に英語部のボランティアには英語での展示解説を行ってもらった。東日本大震災に関する展示は、津波被害を受け修復された文化財を展示したほか、英文入りの震災に関するパネルをミュージアムストリートに掲示した。会期中の観覧者数636人。

3 仙台市博物館内で行われた関連事業

- (1) 1階エントランスにおいて仙台市主催の「東北おもてなしセンター」が開設された。
- (2) 1階ギャラリーにおいて国連主催の「タンジブルアース」(触れる地球)の展示が行われた。
- (3) 1階ホールにおいて国連主催のフィルムフェスティバルが行われた。
- (4) 2階企画展示室において国連等が主催する都市防災に関する展示が行われた。

7. 博物館施設改修工事について

空気熱交換機改修工事（第1期）

平成26年12月～平成27年2月の休館期間に、空調機の熱の放散（夏季）と吸収（冬季）を担う空気熱交換機の改修工事（第1期）を行った。第1期分の費用（設計委託・工事費含む）は、38,286千円。第2期工事は平成27年度中に行う予定。



「DAIMYO—仙台藩と伊達家の名品」会場バナー



展示風景

8. 文化庁補助事業 について

被災ミュージアム再興事業

東日本大震災で被災した博物館施設の復興、修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した被災資料を収蔵する場所の確保等に要する経費を国が補助する事業である。平成26年度、仙台市博物館では、以下の事業を行った。

(1) 修理した資料の整理・データベース化を行う事業（事業金額9,497,490円）

東日本大震災で被災し、当館の活動で保存、修理などの処置を行った資料について、前年度に引き続き、整理やデータベース化を進めた。

(2) 応急処置を施した資料を収蔵する場所を確保する事業（事業費9,857,301円）

東日本大震災で被害をこうむった博物館施設の修繕や、被災した資料を収蔵する場所を整備する事業。震災の影響で悪化した環境のチェック、改修やくん蒸作業などを行ったほか、館外の収蔵施設として確保していた原町市街地住宅が取り壊しになることを受けて、同施設に収蔵していた被災資料や市史編さん資料などを当面の保管場所として確保した文化財課野村収蔵庫に移送した。

9. ボランティア

仙台市博物館では、「仙台市博物館ボランティア三の丸会」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は、平成26年で18年目を迎えた。

平成19年度より5年任期制を導入し、26年度の登録者は122人であった。

ボランティア活動は活動班（各班10人～11人の12班編成）ごとに行っており、2週間に1回の活動となる。常設展示室での資料解説やプレイミュージアムでのアシスタント補助が主な活動で、平成22年度からは新たに館庭<仙台城三の丸跡>案内を始めた。

会の運営や情報交換は、月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当館職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は、年1回の総会で決定している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に22人の応募があり、募集定員にほぼ同数であったため、応募者全員を会員候補とし、以下のボランティア養成講座（4日間12講座）を受講することによって会員として登録された。

- ・第1回：博物館の展示概要／博物館案内・ボランティア活動の実際／三の丸会の活動
- ・第2回：歴史展示の解説①②③
- ・第3回：教育普及・他館連携・市史編さん／プレイミュージアム研修／美術展示の解説①②
- ・第4回：接遇実習（外部講師）／美術展示の解説③④
- ・その他に接遇研修1回（外部講師）

※生涯学習課と共催で2回行った接遇研修では、仙台市内の他施設のボランティアも参加した。

※6月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

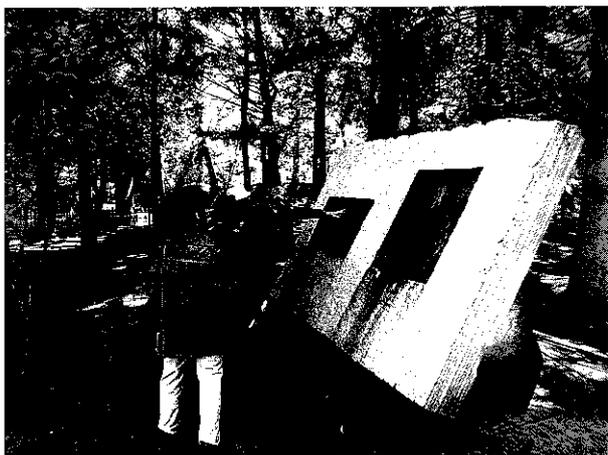
2. 解説活動

活動日数は184日（12月1日から3月27日まで工事による休館のため、前年度比116日減）で、のべ活動人数が1,543人であった。展示解説は10,246件で観覧者22,442人に対応した。特に、小・中学校の

校外学習や市民センター、老荘大学など、団体向けの解説依頼に多数対応した。

博物館における仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的でスタートした館庭案内では、1日1回、4月から11月末日まで行い、実施日数が138日（中止46日）、651人の観覧者を案内した。県外の方々だけではなく市内の方々からも好評を得ている。

また、予約による英語解説も受け付けており、留学生や市内ALTに向けた展示解説を行った。特に平成27年3月14日（土）～18日（水）に行われた国連防災世界会議では、英語部員21人と、英語部以外の部員39人が10時から19時までの特別会館の展示解説を行った。世界各国からの来館者に対し、積極的に展示解説を行うことができた。



3. 部会活動

ボランティアは、活動班の他に、5つの部会のいづれかに属し活動している。

表18 ボランティアの5つの部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの来館者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月1回ずつ実施。

4. 主な研修

○ギャラリートーク（夏の展示）

日時：5月28日（水）9：15～9：45

会場：博物館展示室

講師：高橋あけみ主幹、菅原美咲学芸員

○ギャラリートーク（秋の展示）

日時：9月3日（水）9：15～9：45

会場：博物館展示室

講師：水野沙織学芸員、鈴木かおる学芸員

○接遇研修（第1回）

講師：フリーアナウンサー・朗読家 渡辺祥子氏

事例紹介：博物館三の丸会 齋藤貞夫氏

地底の森ミュージアム 江口真理氏

科学館せかぼクラブ 石川重紘氏

○接遇研修（第2回）

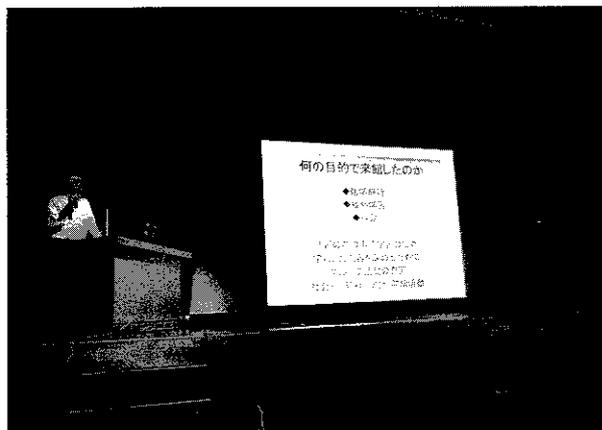
講師：宮城県美術館

齋 正弘氏

教育委員会生涯学習課

相澤文典氏

博物館 担当職員



第2回接遇研修（博物館ホール）

○研究発表会（第1回）

日時：7月13日（日）13：30～14：30

発表者：大山正敏氏

題目：「奇人？変人？岡 潔」

○研究発表会（第2回）

日時：11月15日（土）13：30～14：30

発表者：中嶋久壽氏

題目：「仙台藩学者思想家番付」

○館外研修

日時：平成26年10月19日（日）8：30～17：00

内容『伊達政宗生誕の地「米沢」を訪ねて』

参加者：ボランティア38人、館職員1人

講師（館山城跡案内）：米沢市教育委員会 文化課長 村野隆男氏

主な訪問先：館山城跡、館山寺、米沢市立関小学校、成島八幡神社等



支倉常長生誕の地（関小学校・資料館にて）

○講演会

日時：平成26年11月6日（木）13：30～15：00

会場：博物館ホール

内容：「伊達家の家紋と政宗の陣羽織」

講師：高橋あけみ主幹

仙台市観光部ボランティアガイドネットワーク加盟の団体向けに、瑞鳳殿ガイドの会が主催したもので、三の丸会からも講演会に多数参加した。

その他、特別展に合わせ開催される教員向けのミュージアムセミナーに参加した。



講演会「伊達家の家紋と政宗の陣羽織」

5. ボランティアと博物館との懇談会

日時：平成26年11月26日（水）13：30～14：40

場所：博物館講習室

参加者：ボランティア42人、博物館職員12人

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を11月に行った。ボランティアからは、来館者により気軽にガイドを利用してもらえるよう、ガイドコースを新設し、メニューを表示するという新たな提案があり、平成27年度から試行的に始めることになった。その他、日頃の活動を通して気づいたこと等について、意見を交換することができた。

6. 博物館ボランティア新規募集説明会

6月から新しくボランティアを希望する方を対象とした説明会を実施した。

日時：平成27年3月21日（土）10：30～11：30

場所：仙台市生涯学習支援センター・会議室

内容：講話「仙台市のボランティア事情」

講師仙台市生涯学習支援センター

及川卓也氏

「ボランティア活動について」担当職員

「ボランティア活動の実際」

18期生 原田暢夫氏

参加者：21人

始めに仙台市生涯学習支援センターの及川氏より仙台市のボランティア事情やボランティアをする者の心構えについての話や、現会員の原田氏より失敗談も含めた具体的な話があり、新年度の活動に向けて有意義な説明会となった。

10. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費 1 口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）からなる。平成26年度の普通会員数は641人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、様々な職業・年齢層の役員9人から構成される役員会において決定され、本年度の役員会は11回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、積極的な活動を行った。

会の事業実績は、別記のとおりである。平成26年12月1日～平成27年3月27日まで博物館が休館していたため、活動に制約があったものの、特別展広報セミナー3回、日帰り研修会2回、古文書講読会1回、館外研修会1回を実施し、いずれも多くの会員の参加を得ることができた。

表19 平成26年度会員内訳

	性別	年代	人数	
賛助会員			25	
普通会員	男 性	10代	0	343
		20代	2	
		30代	6	
		40代	15	
		50代	45	
		60代	113	
		70代	90	
		80代～ その他	29	
	女 性	10代	0	298
		20代	6	
		30代	18	
		40代	24	
		50代	43	
		60代	89	
		70代	63	
		80代～ その他	21	
学生会員			6	
計			672	

1. 総会 5日12日 博物館ホール 参加84人

2. 事業

(1) 会報発行

6 / 1 167号、9 / 1 168号、12 / 1 169号、
3 / 1 170号

(2) 行事

5 / 12 広報セミナー「おもしろびじゅつワン
ダーランド in 東北」

講師 鈴木かおる学芸員 参加84人

5 / 28 日帰り研修会 宮床・吉岡方面
参加40人

講師 水野沙織学芸員
寺澤慎吾学芸員

7 / 7 広報セミナー「室生寺の仏たち」
講師 酒井昌一郎学芸員 参加158人

9 / 29 広報セミナー「樹木礼賛」
講師 樋口智之学芸員 参加103人

10 / 29 日帰り研修会 一関方面 参加41人
講師 水野沙織学芸員
寺澤慎吾学芸員

11 / 22 古文書講読会 参加137人

①「伊達宗教の書状を読む」

講師 水野沙織学芸員

②「『成宗公御上洛之日記写』を読む

—政宗以前の伊達氏と京都—

講師 星川礼応学芸員

2 / 15 館外研修会 東北歴史博物館 参加61人
特別展「みちのくの観音さま

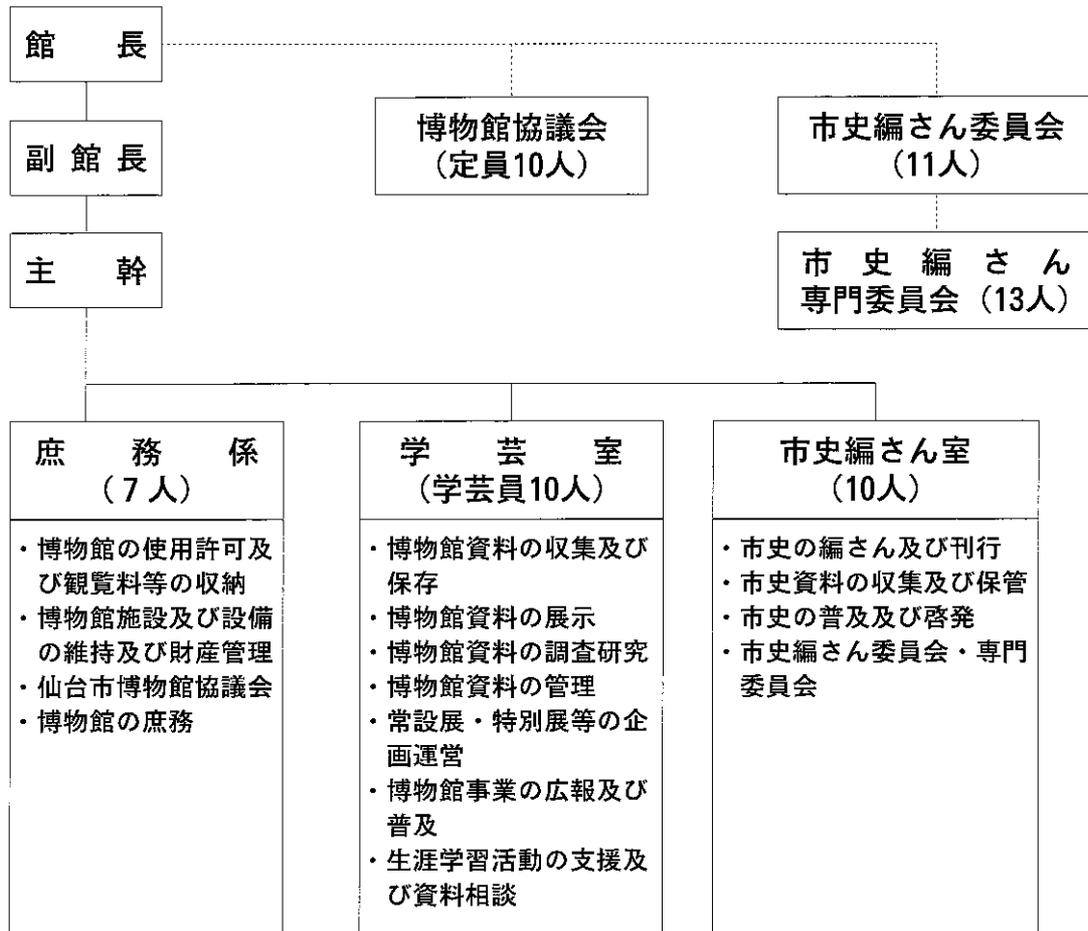
一人に寄り添う みほとけ—」講話と観覧

講師 政次 浩氏

(東北歴史博物館学芸員)

11. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成26年4月1日現在）



予算概要

表20 平成26年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1)光熱水費	54,631 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2)管理運営委託費	100,180 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3)施設修繕費	5,000 機械設備等修繕費
	(4)資料修繕費	1,363 収蔵資料修繕費
	(5)その他管理運営費	17,451 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	178,625
2 資料購入費	1,620	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	53,922	特別展覧会開催に要する経費
4 市史編さん費	33,492	「仙台市史」編さん・刊行に要する経費
5 維持修繕費	60,508	空気熱交換機改修工事設計
合計	328,167	

職 員 (平成26年 4 月 1 日現在)

館 副 主 館 長 長 幹 遠 内 高 藤 山 橋 俊 淳 あ け み 行 一

室 ・ 係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	守 勝 行
	主 任	稗 貫 信
	主 事	川 名 厚 子
	主 事	木 村 公 一
	臨 時 職 員	山 野 辺 典 之
	非常勤嘱託職員	鈴 木 友 希 恵
	非常勤嘱託職員	阿 部 さ や か
学 芸 室	室 長	樋 口 智 之
	指 導 主 事	山 澤 一 郎
	指 導 主 事	山 田 貴 史
	主 任	酒 井 昌 一 郎
	主 事	佐 々 木 徹
	主 事	水 野 沙 織
	主 事	菅 原 美 咲
	主 事	寺 澤 慎 吾
	非常勤嘱託職員	氏 家 文 枝
	非常勤嘱託職員	鈴 木 か お る
	市 史 編 さ ん 室	室 長
指 導 主 事		田 中 元 昭
主 任		南 部 英 湖
非常勤嘱託職員		明 石 治 郎
非常勤嘱託職員		村 岡 淳 子
非常勤嘱託職員		二 上 玲 子
非常勤嘱託職員		倉 橋 真 紀
非常勤嘱託職員		菅 原 友 子
非常勤嘱託職員		三 好 俊 文
非常勤嘱託職員		中 武 敏 彦

仙台市博物館協議会

平成26年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- ◎泉 武夫 東北大学大学院教授
- 尾崎 彰宏 東北大学大学院教授
- 菊池 勇夫 宮城学院大女子大学教授
- 佐川 正敏 東北学院大学教授
- 佐藤 憲子 元仙台市社会学級研究会会長
- 須藤 由子 仙台市立上杉山中学校長
- 伊達 泰宗 伊達家伯記念會取締役会長
- 濱田 淑子 東北福祉大学美術工芸館参与
- 森 美智子 東北学院大学教授
- 渡辺 公一 仙台市議会議員

平成26年度 協議内容

第1回 平成26年5月20日(火)

1 報告事項

- (1) 平成26年4月の観覧者数について
- (2) 特別展「法隆寺一祈りとかたち」について
- (3) 特別展「サントリー美術館おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業について
- (5) 資料レスキュー事業について
- (6) 学校・その他の連携事業等について
- (7) 平成26年度文化庁補助事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「樹木礼賛—日本絵画に描かれた木と花の美—」について

第2回 平成26年7月15日(火)

1 報告事項

- (1) 平成26年5～6月の観覧者数について
- (2) 特別展「サントリー美術館おもしろびじゅつワンダーランド in 東北」の結果報告について
- (3) 特別展「奈良・国宝 室生寺の仏たち」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業について
- (5) 学校・その他の連携事業等について

2 協議事項

- (1) 東日本大震災復興祈念特別展「国宝 吉祥天女が舞い降りた！—奈良 薬師寺 未来への祈り—」について

第3回 平成26年10月14日(火)

1 報告事項

- (1) 平成26年7～9月の観覧者数について
- (2) 特別展「奈良・国宝 室生寺の仏たち」の結果報告について
- (3) 特別展「樹木礼賛—日本絵画に描かれた木と花の美—」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業について
- (5) 学校・その他の連携事業について

第4回 平成27年2月24日(火)

1 報告事項

- (1) 平成26年10～11月の観覧者数について
- (2) 特別展「樹木礼賛—日本絵画に描かれた木と花の美—」の結果報告について
- (3) 市史編さん事業について
- (4) 学校・その他の連携事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「ご覧あれ 浮世絵の華—歌麿・北斎・広重 平木コレクションの名品—」について

仙台市史編さん委員会

仙台市史編さん事業の遂行に当たっては、仙台市史編さん委員会設置要綱により、幅広い視野からの指導・助言を得ることを目的として仙台市史編さん委員会を設置して、学識経験者・市職員などに委員を委嘱している。また、市史編さんに必要な編集や監修などを行うために専門委員会を設置して、随時協議を行っている。

仙台市史編さん委員

- 順不同敬称略 ○=委員長
- 跡部 薫 仙台市議会市民教育委員会委員長
(平成25年9月3日～)
- 飯淵 由美 健康プランニングI(アイ)主宰
- 岡崎 修子 柏木市民センター館長
- 岡田 健治 前仙台商工会議所副会頭
- 小野寺 健 仙台市議会市民教育委員会委員長
(～平成25年9月2日)
- 立花 鶴憲 東北福祉大学特任教授
- 平川 新 宮城学院女子大学学長
- 朴澤 泰治 朴沢学園理事長・仙台大学学長
- 吉田 正志 東北大学名誉教授
- 稲葉 信義 仙台市副市長
- 高橋 一典 仙台市総務企画局長
- 上田 昌孝 仙台市教育委員会教育長

仙台市史編さん専門委員

- 順不同敬称略 ○=委員長
- 入間田宣夫 一関市博物館館長
- 岩本 由輝 東北学院大学名誉教授
- 鶴飼 幸子 前仙台市博物館市史編さん室長
- 大石 直正 東北学院大学名誉教授
- 小井川百合子 元仙台市博物館副館長
- 斎藤 誠 東北学院大学副学長・教授
- 佐藤 憲一 元仙台市博物館館長
- 須藤 隆 東北大学名誉教授
- 難波 信雄 東北学院大学名誉教授
- 仁昌寺正一 東北学院大学教授
- 羽下 徳彦 東北大学名誉教授
- 濱田 直嗣 宮城県慶長使節船ミュージアム館長
- 平川 新 宮城学院女子大学学長
- 松本 秀明 東北学院大学教授
- 樋口 智之 仙台市博物館学芸室長

協議内容

仙台市史編さん委員会

- 第54回 平成26年12月2日
- (1) 新委員紹介
 - (2) 平成26年度市史編さん事業の進捗状況
 - (3) 平成27年度市史関連事業計画
- 第55回 平成27年3月23日
- (1) 平成26年度市史編さん事業報告
 - (2) 平成27年度以降の市史関連事業計画

仙台市史編さん専門委員会

- 第129回 平成26年11月27日
- (1) 平成26年度市史編さん事業の進捗状況
 - (2) 平成27年度市史関連事業計画
- 第130回 平成27年3月22日
- (1) 平成26年度市史編さん事業報告
 - (2) 平成27年度以降の市史関連事業計画

12. 利用状況

月別観覧者数

表21 月別観覧者数

(人)

月	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	14,259	145	931	15,335	3,483	64	573	4,120	3,178	22,633
5	6,668	68	0	6,736	3,460	212	0	3,672	6,142	16,550
6	2,476	19	946	3,441	1,259	2	278	1,539	1,814	6,794
7	21,870	207	358	22,435	5,940	175	174	6,289	4,310	33,034
8	30,445	655	947	32,047	11,022	408	318	11,748	9,461	53,256
9	3,112	42	492	3,646	1,446	9	287	1,742	1,697	7,085
10	7,635	313	272	8,220	3,156	150	27	3,333	2,469	14,022
11	4,482	91	103	4,676	1,928	56	11	1,995	3,282	9,953
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	879	22	137	1,038	205	9	26	240	350	1,628
計	91,826	1,562	4,186	97,574	31,899	1,085	1,694	34,678	32,703	164,955

展示開館日数：214日

※このほか第3回国連防災世界会議参加者向け展示のため平成27年3月14日～3月18日まで開館し、計636人入場。

施設利用状況

表22 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
一般財団法人 日本臨床工学会	5. 9～5. 11	3	パネル展
教育局教育指導課	11. 17～11. 25	9	中学校生徒地図作品展
第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会	3. 11～3. 18	8	国連防災世界会議参加者向け展示
博物館		175	特別展、資料整理等
計		195	一般貸出利用者計 1,900人

表23 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
一般財団法人 日本臨床工学会	5. 9～5. 11	3	講演会
表千家宮城県教授者会	9. 15	1	講演会
教育局教育指導課	11. 17～11. 18	2	中学校生徒地図作品展
第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会	3. 11～3. 18	8	講演会・映像放映
博物館		79	講演会、ビデオガイダンス等
計		93	一般貸出利用者計 1,564人

展示開館日数：214日

※このほか第3回国連防災世界会議参加者向け展示等のため平成27年3月14日～3月18日までの5日間を開館。

講師等利用状況

表24 講師利用件数表

内訳 年度	件数（件）				人数（人）					
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成26年度	85	30	8	23	146	3,934	1,155	441	3,576	9,106

※学校には、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を含む。

表25 レファレンス対応等表（件）

内訳 年度	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
平成26年度	191	330	27	257	805

視察対応状況

表26 平成26年度 視察対応状況

日 時	視 察 者	人 数
4 / 11	大仙市（秋田県）	5人
5 / 1	佐賀県	2人
5 / 8	舞鶴引揚記念館	1人
5 / 8	（市）交流政策課	5人
6 / 13	（市）UN 防災会議準備室	3人
6 / 17	（市）UN 防災会議準備室	2人
7 / 1	熊本県	3人
7 / 4	朝鮮通信使縁地連絡協議会（長崎県対馬市）	1人
7 / 8	（市）議会事務局	5人
7 / 8	神戸市立博物館	1人
8 / 6	（市）UN 防災会議準備室	5人
8 / 20	復興庁宮城復興局	4人
8 / 22	岡山県立美術館	1人
8 / 24	室生寺	4人
11 / 9	宮城教育大学	11人

13. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設 置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観 覧 料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使 用 料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれか

に該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人とする。

3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委 任）

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭63、12・改正）抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則（平 3、12・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平 9、3・改正）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
（経過措置の原則）
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則（平15、7・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平16、3・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一（第三条関係）

区 分		金額（1人につき）	
常 設 展	個人 利用	一 般	400円
		高 校 生	200円
		小学生・中学生	100円
	団体 利用	一 般	320円
		高 校 生	160円
		小学生・中学生	80円
特 別 展		1,500円の範囲内で教育委員会が定める額	

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

使用時間 使用区分		午前 （9:00～12:00）	午後 （13:00～16:30）
ホ ー ル	入場料を徴収しない場合	4,200円	6,500円
	入場料を徴収する場合	12,600円	19,500円
ギ ャ ラ リ ー	入場料を徴収しない場合	3,000円	4,400円
	入場料を徴収する場合	9,100円	13,200円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日に使用する場合は、本表に定める使用料の2割増しとする。
- 六 付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 七 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館年報 第42号 正誤表

訂正箇所 87頁 仙台市博物館条例第10条

誤	正
<p>第十条 博物館法(昭和26年法律第二百八十五号)第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。 2 協議会の委員の定数は、10人とする。 3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>	<p>第十条 博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。 2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則(昭和三十年文部省令第二十四号)第十八条に規定する基準とする。 3 協議会の委員の定数は、十人とする。 4 協議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>
<p>お詫びして訂正いたします。</p>	

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休 館 日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（休日又は日曜日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二 でい酔者

三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者

四 係員の指示に従わない者

五 その他管理上支障があると認められる者（観覧券）

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零

二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零

三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額

3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと

二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと

三 入場人員は収容定員を超えないこと

四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること

五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと

六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと

七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市史編さん委員会設置要綱

（平成2年9月13日市長決裁）

（設 置）

第1条 仙台市市政百周年を記念して実施される“仙台市史”（以下「市史」という。）編さん事業を行うにあたり、広い視野から検討するため、仙台市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第2条 委員会の所管事項を次のとおり定める。

- (1) 市史編さんの基本的事項に関すること。
- (2) その他市史編さんに関して必要な指導・助言に関すること。

（組 織）

第3条 委員会は15名以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は学識経験者、市職員、その他必要と認める者の中から市長が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

（委 員 長）

第4条 委員会に委員の互選により、委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会の会議を招集し、これを総務する。
- 3 委員長に事故ある時は、委員長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

（会 議）

第5条 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところとする。

（専門委員会）

第6条 委員会に、市史編さんに必要な編集、監修等を行うため、専門委員会を置く。

- 2 専門委員会は、15名以内の専門委員をもって組織する。
- 3 専門委員は、学識経験者の中から市長が委嘱する。
- 4 専門委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任務の終了した時点までとし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

第7条 第4条及び第5条の規定は、専門委員会に準用する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育局博物館において処理する。

(委任)

第9条 委員会の運営に関しこの要綱に定めるもののほか必要な事項は教育長が定める。

附則

(施行期日)

- 1 この要綱は平成2年9月13日から実施する。
(委員の任期に関する特例)
- 2 平成26年3月5日において現に委嘱し、又は任命している委員会の委員に係る第3条第3項の規定の適用については、同項中「2年」とあるのは、「委嘱又は任命の日から平成27年3月31日まで」とする。
- 3 平成26年3月5日において現に委嘱している専門委員会の委員に係る第6条第4項の規定の適用については、同項中「2年」とあるのは、「委嘱の日から平成27年3月31日まで」とする。
- 4 この要綱およびこの要綱に基づいて設置されている委員会は、平成27年3月31日をもって廃止する。

附則

この要綱は平成4年4月1日から実施する。

附則

- 1 この改正は、平成4年12月1日から実施する。
- 2 平成6年9月12日に委嘱する委員の任期は、平成8年3月31日まで、平成4年12月4日に委嘱する専門委員の任期は、平成6年3月31日までとする。

附則

この改正は、平成26年3月5日から実施する。

この改正は、平成27年3月31日に実施する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度(以下「制度」という。)の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 仙台市博物館(以下「博物館」という。)は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」(以下「メンバー」という。)と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」(以下「申込書」という。)により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会 費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退 会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事 務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(そ の 他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。

2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

14. 仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
～47年 3月	
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
24年 7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定